

山形県「人々のつながりに関する基礎調査」 調査報告書



令和7年12月
山形県健康福祉部

目 次

第1	調査の概要	1
第2	結果の概要	4
1	孤独の状況	4
2	孤立の状況	5 1
第3	単純集計結果付き調査票	7 7

第1 調査の概要

1 調査の目的

孤独・孤立の実態を把握し、効果的な事業を実施するため、山形県における世代毎の孤独・孤立の状況を把握し施策検討の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の対象

- (1) 調査の対象 : 山形県全域、県内在住の満16歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 : 2,500人（住民基本台帳を母集団とした無作為抽出法により選定）

3 調査事項

- [孤独に関する事項] 孤独感（UCLA孤独感尺度・直接質問）、孤独感の継続期間、これまでに経験したライフイベント（孤独感に強く影響を与えたと思われる出来事）
- [孤立に関する事項] 家族・友人とのコミュニケーション手段や頻度、社会活動への参加状況、行政機関・NPO等からの支援の状況、他者へのサポート意識
- [その他関連事項] 外出頻度、外出目的、行動範囲、日常生活における不安や悩みの有無・内容、困った時に頼れる人の有無・頼る相手、不安や悩みの相談相手の有無・相談相手、気軽に話せる相手の有無、不安や悩みを相談することへの感情、心身の健康状態、現在の生活の満足度、スマートフォンの使用時間・必要性
- [属性事項] 年齢、性別、配偶者の有無、こどもの有無、世帯構成・世代、同居の末子の年齢、居住人数、教育・就業状態、家族の介助や看病の有無、居住形態（住宅の種類）、世帯の年間収入、経済的な暮らし向き

4 調査の方法等

- (1) 調査基準日 : 令和7年6月1日
- (2) 調査の方法
 - ①令和7年6月下旬に調査対象者あてに調査書類を郵送
 - ②調査対象者は「オンラインにより回答」又は「調査票に回答を記入の上、郵送により回答」のいずれかの方法を選択し、令和7年7月16日までに回答

5 調査回収結果

- (1) 有効回答数 : 1,271票（回収率50.8%）（オンライン19.7%、郵送80.3%）
- (2) 規正標本数 : 2,361票（各地区の抽出率の差を調整した後の標本数）

(3) 調査結果の集計表示法

- ① 地域別に統計的な信頼度が確保される標本数となるよう、次のとおりの標本数と抽出ウェイト、集計ウェイトとしている。

地 域	抽出ウェイト	標本数	回収数	集計ウェイト	規正標本数
村山地域	1/2	1,157	581	2	1,162
最上地域	1	316	154	1	154
置賜地域	1/2	445	215	2	430
庄内地域	1/2	582	294	2	588
不 明	－	－	27	1	27
計	－	2,500	1,271	－	2,361

- ② 地域別の抽出率が異なるため、回収数に集計ウェイトを加重し規正した。調査結果はこの規正標本数を100%として算出した。ただし、端数処理の関係で各項目の合計が必ずしも100%とならないことがある。

6 利用上の注意

- (1) 本文、表、グラフなどに使われている(n)は、各質問に対する標本数である。回答不詳等がある場合、全体の数とは一致しない。
- (2) 結果は、百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入している。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とすることを原則とした。

7 調査対象者属性

◇性 別

	全 体	男 性	女 性	いい ・え の 答 え い た く わ ち な ら な い （ ど ち ら と も い え な い ）	無 回 答
令和7年	2,361 [100.0]	1,130 [47.9]	1,217 [51.5]	9 [0.4]	5 [0.2]

※「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」は、男性・女性と比較して回答者が少なく、偏りが生じるため、本書内の性別の集計からは除外している。

[]内の数値は構成比(%)

◇年 齢

	全 体	16 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上	(再掲)			無 回 答
										20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	
令和7年	2,361 [100.0]	53 [2.2]	114 [4.8]	190 [8.0]	297 [12.6]	343 [14.5]	603 [25.5]	643 [27.2]	93 [3.9]	1,193 [50.5]	728 [30.8]	362 [15.3]	25 [1.1]

[]内の数値は構成比(%)

◇性別・年齢階級別

	全 体	男 性 全 体	男性								無 回 答
			16 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上	
令和7年	2,361 [100.0]	1,130 [47.9]	22 [1.9]	45 [4.0]	80 [7.1]	124 [11.0]	151 [13.4]	316 [28.0]	335 [29.6]	49 [4.3]	8 [0.7]

	女 性 全 体	女性								無 回 答	そ の 他 ・ 無 回 答
		16 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上		
令和7年	1,217 [51.5]	31 [2.5]	69 [5.7]	108 [8.9]	172 [14.1]	186 [15.3]	286 [23.5]	308 [25.3]	44 [3.6]	13 [1.1]	14 [0.6]

[]内の数値は構成比(%)

第2 結果の概要

1 孤独の状況

(1) 本調査における孤独感の把握方法

孤独という主観的な感情をよりの確に把握するため、この調査では、以下の2種類の質問により孤独感を把握した。

①直接質問

以下のとおり「孤独」について、直接的に質問する内容となっている。

あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

- | | |
|----------|---------------|
| 1 決してない | 4 時々ある |
| 2 ほとんどない | 5 しばしばある・常にある |
| 3 たまにある | |

②間接質問

間接質問は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のラッセルが、孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定するために考案した「UCLA 孤独感尺度」¹の日本語版²の3項目短縮版³に基づくもので、以下の3つの設問への回答をスコア化し、その合計スコアが高いほど孤独感が高いと評価する内容となっている。設問に「孤独」という言葉を使用せずに孤独感を把握することから、この調査ではこれを間接質問と呼んでいる。

今回の調査結果の取りまとめに当たっては、3つの設問それぞれへの回答について、「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点としてスコア化し、その合計スコアについて、便宜的に「10～12点」（常にある）、「7～9点」（時々ある）、「4～6点」（ほとんどない）、「3点」（決してない）の4区分に整理した。

あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることはありませんか。

- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。

- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。

- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

¹ Russell DW. UCLA loneliness scale (version 3): reliability, validity, and factor structure. JPers Assess. 1996;66(1):20-40.

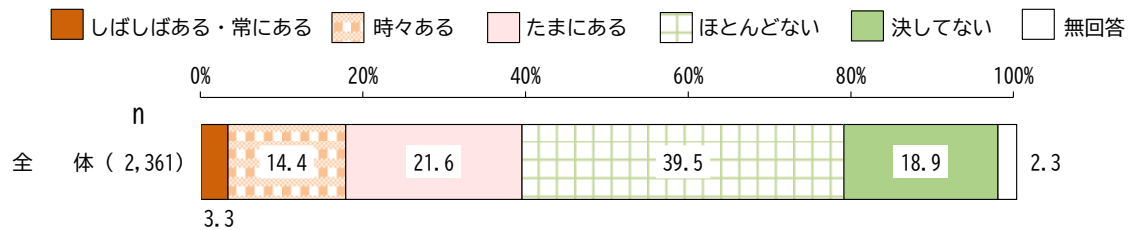
² 舩田ゆづり, 田高悦子, 他: 高齢者における日本語版 UCLA 孤独感尺度 (第3版) の開発とその信頼性・妥当性の検討, 日本地域看護学会誌. 15(1): 25-32, 2012.

³ Arimoto A & Tadaka E: Reliability and validity of Japanese versions of the UCLA loneliness scale version 3 for use among mothers with infants and toddlers. BMC Women's Health. 2019;19:105.

(2) 孤独の状況（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は3.3%、「時々ある」が14.4%、「たまにある」が21.6%となっている。一方、孤独感が「ほとんどない」と回答した人の割合は39.5%、「決してない」が18.9%となっている。

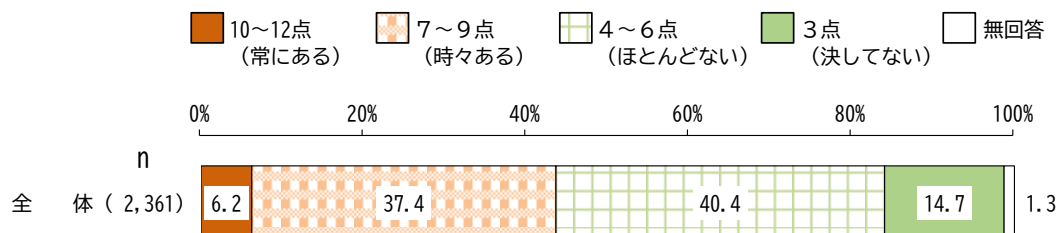
【図 1－1】孤独の状況（直接質問）



(3) 孤独の状況（間接質問）

「UCLA 孤独感尺度」に基づく孤独感スコアでは、「10～12点（常にある）」という人の割合は6.2%、「7～9点（時々ある）」が37.4%、「4～6点（ほとんどない）」が40.4%、「3点（決してない）」が14.7%となっている。

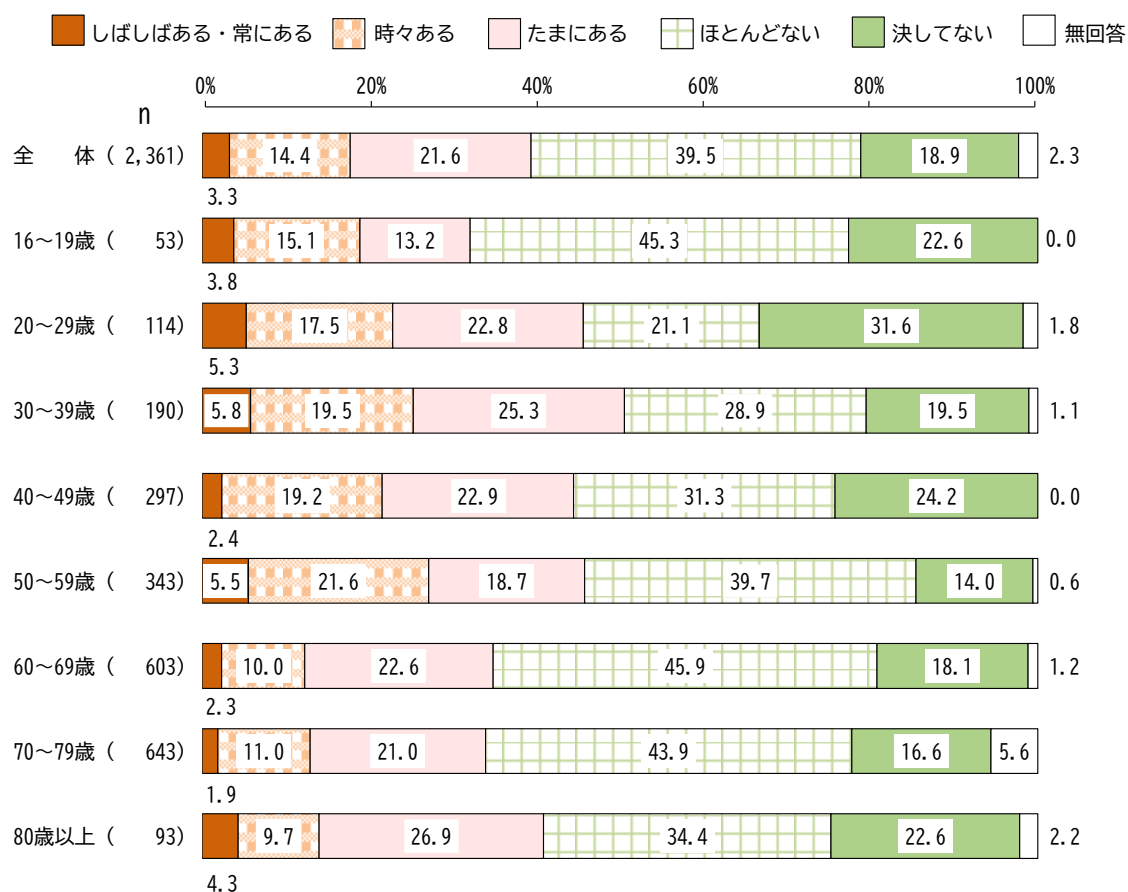
【図 1－2】孤独の状況（間接質問）



(4) 年齢階級別孤独感（直接質問）

孤独感を年齢階級別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、20歳代、30歳代及び50歳代で高くなっている。

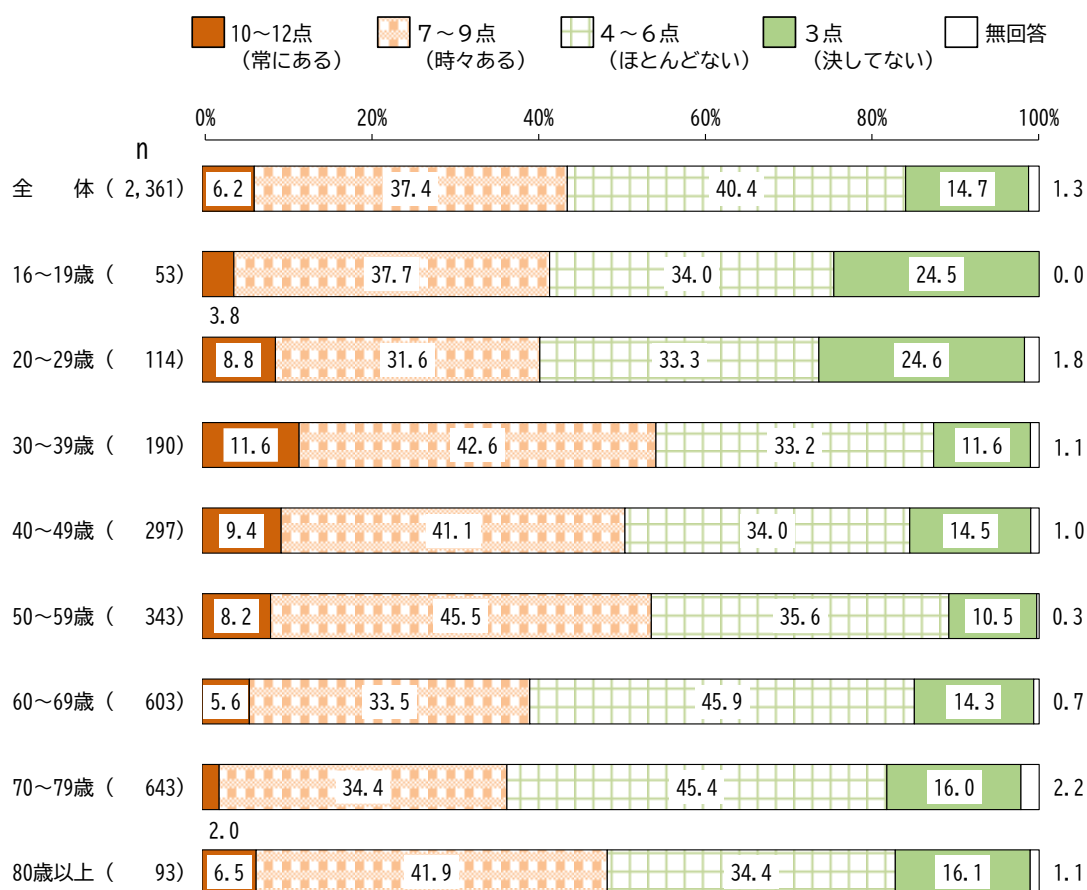
【図1－3】年齢階級別孤独感（直接質問）



(5) 年齢階級別孤独感（間接質問）

孤独感スコアを年齢階級別にみると、スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、20歳代から50歳代で高くなっている。

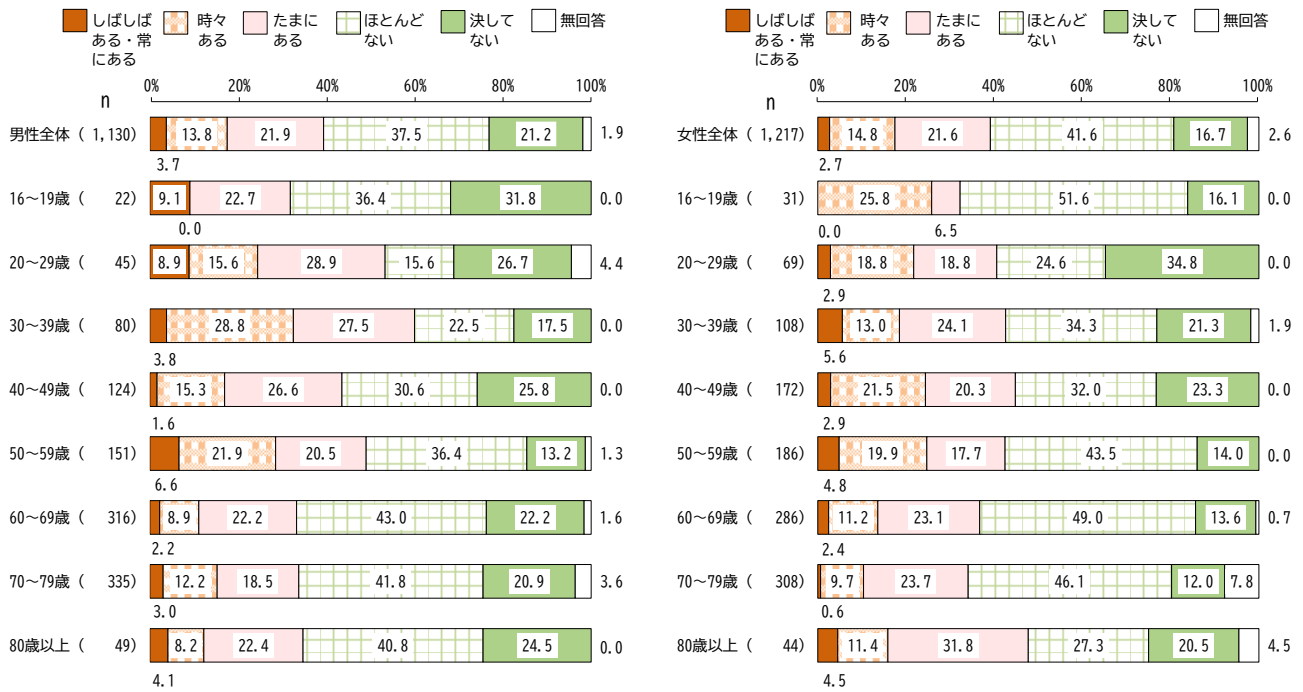
【図 1－4】年齢階級別孤独感（間接質問）



(6) 男女、年齢階級別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性が3.7%、女性が2.7%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男性では16～19歳、20歳代及び50歳代で、女性では30歳代、50歳代及び80歳以上で高くなっている。

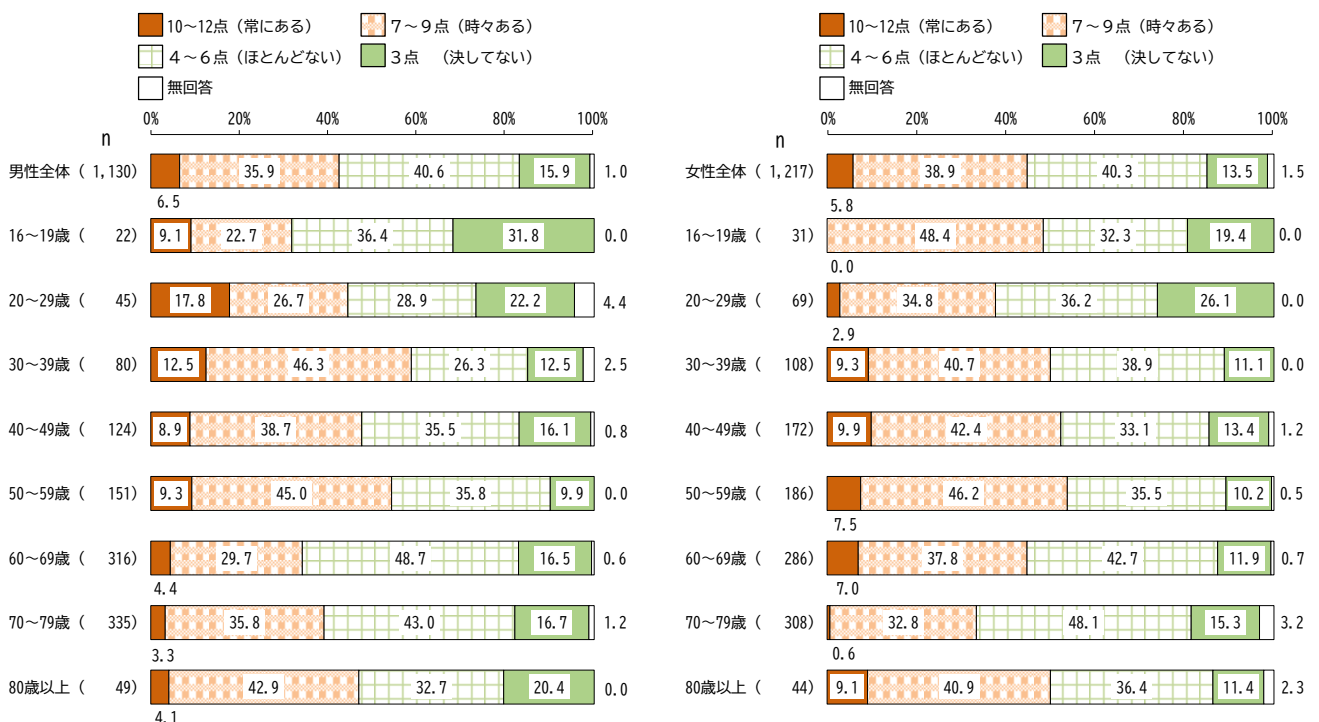
【図1-5】男女、年齢階級別孤独感（直接質問）



(7) 男女、年齢階級別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、男性が6.5%、女性が5.8%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男性では16～19歳から50歳代で、女性では30歳代、40歳代及び80歳以上で高くなっている。

【図1-6】男女、年齢階級別孤独感（間接質問）

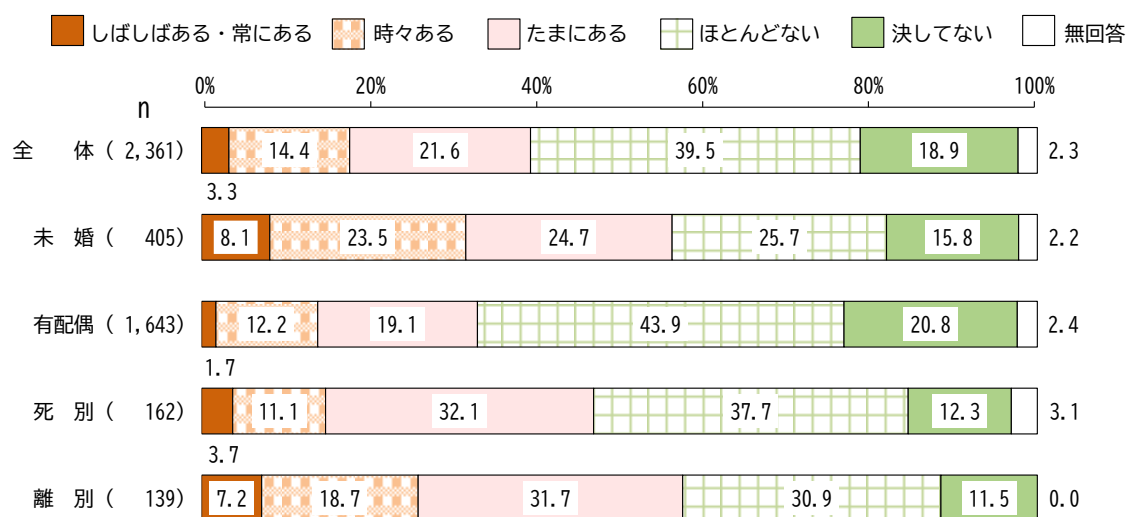


(8) 配偶者の有無別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「未婚」及び「離別」で高くなっている。

なお、本調査では、配偶者には事実上、夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含めている。

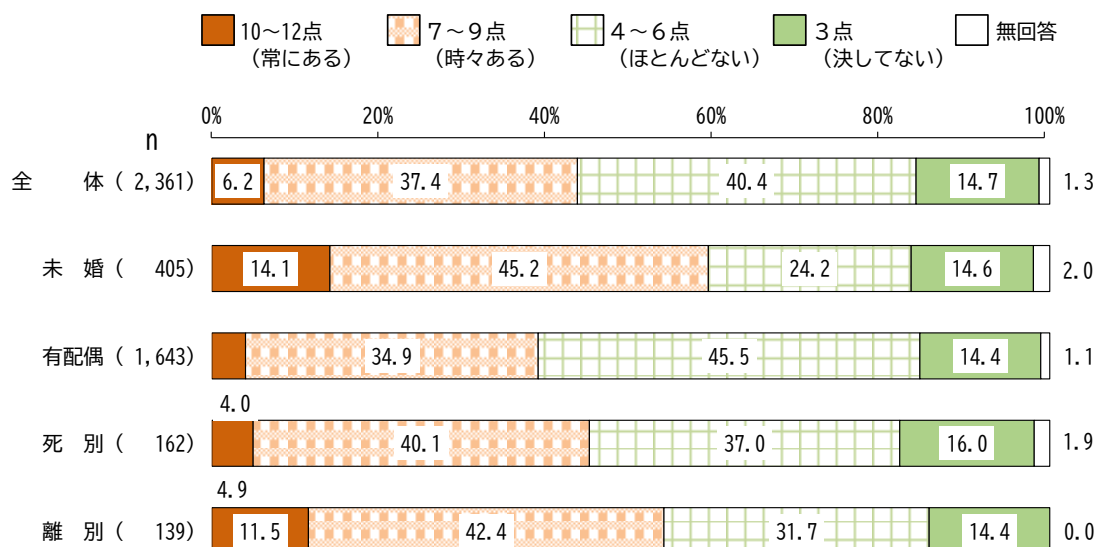
【図 1－7】配偶者の有無別孤独感（直接質問）



(9) 配偶者の有無別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「未婚」及び「離別」で高くなっている。

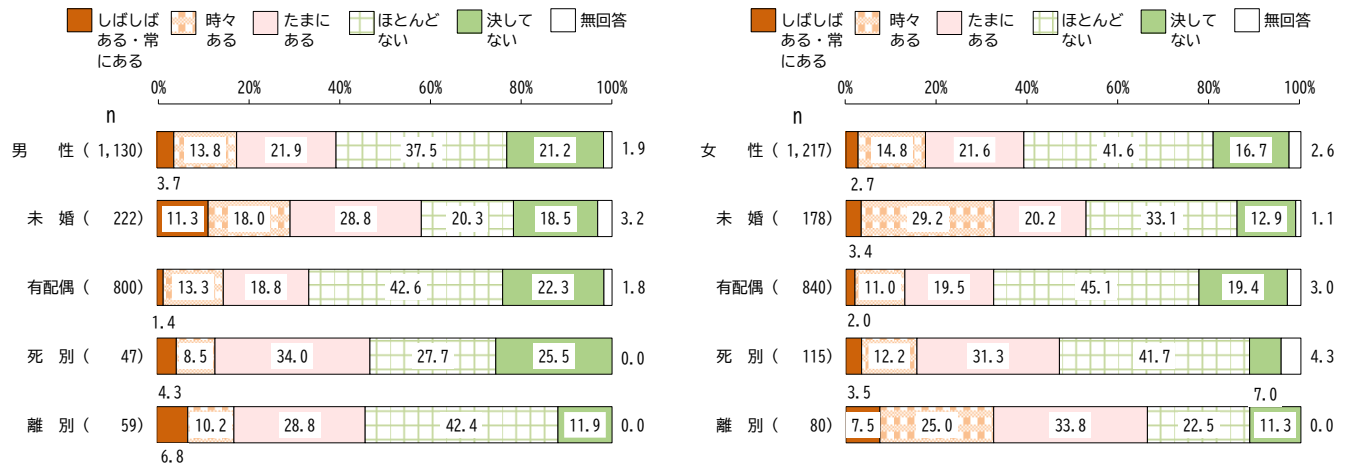
【図 1－8】配偶者の有無別孤独感（間接質問）



(10) 男女、配偶者の有無別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性では「未婚」、女性では「離別」で高くなっている。

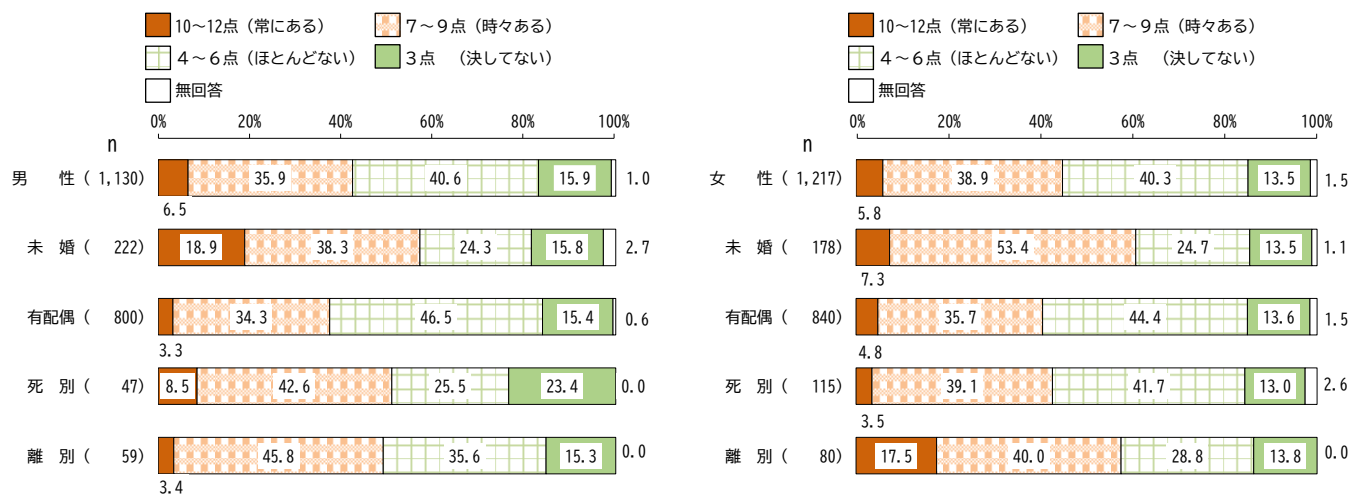
【図 1－9】男女、配偶者の有無別孤独感（直接質問）



(11) 男女、配偶者の有無別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、男性では「未婚」、女性では「離別」で高くなっている。

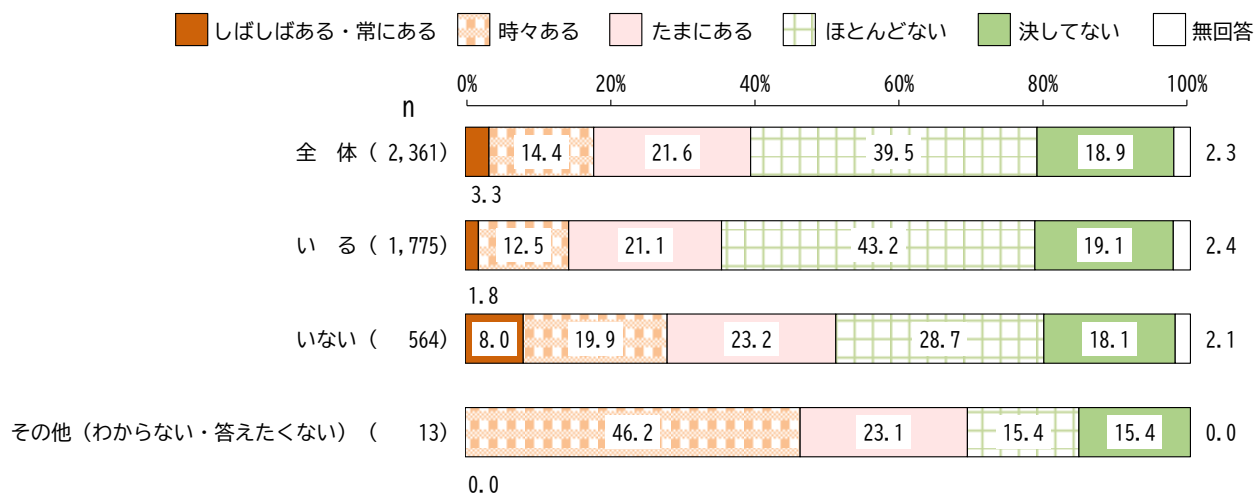
【図 1－10】男女、配偶者の有無別孤独感（間接質問）



(12) こどもの有無別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、こどもが「いる」で1.8%、「いない」で8.0%である。

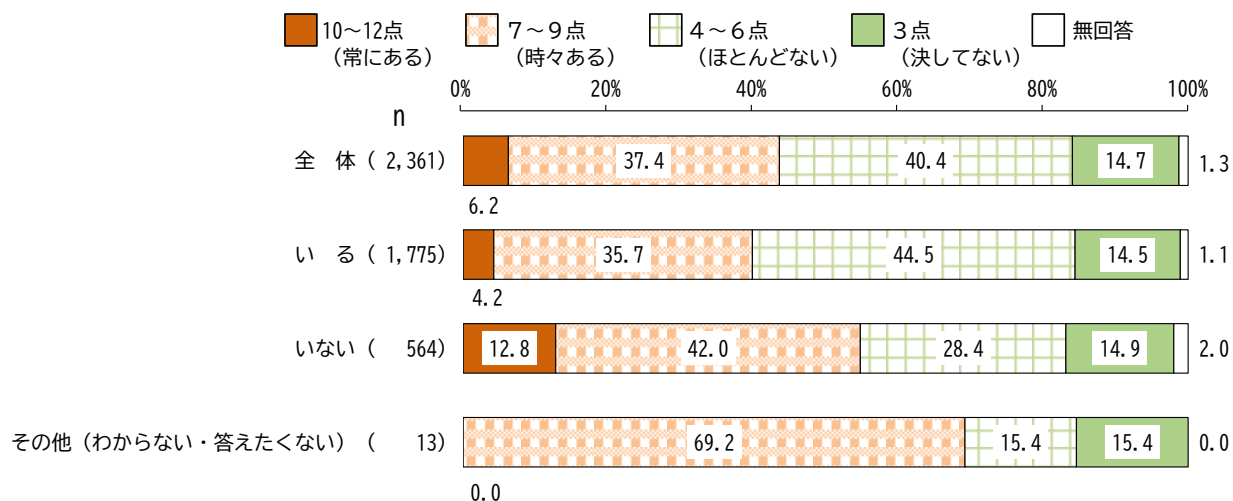
【図 1－11】 こどもの有無別孤独感（直接質問）



(13) こどもの有無別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、こどもが「いる」で4.2%、「いない」では12.8%である。

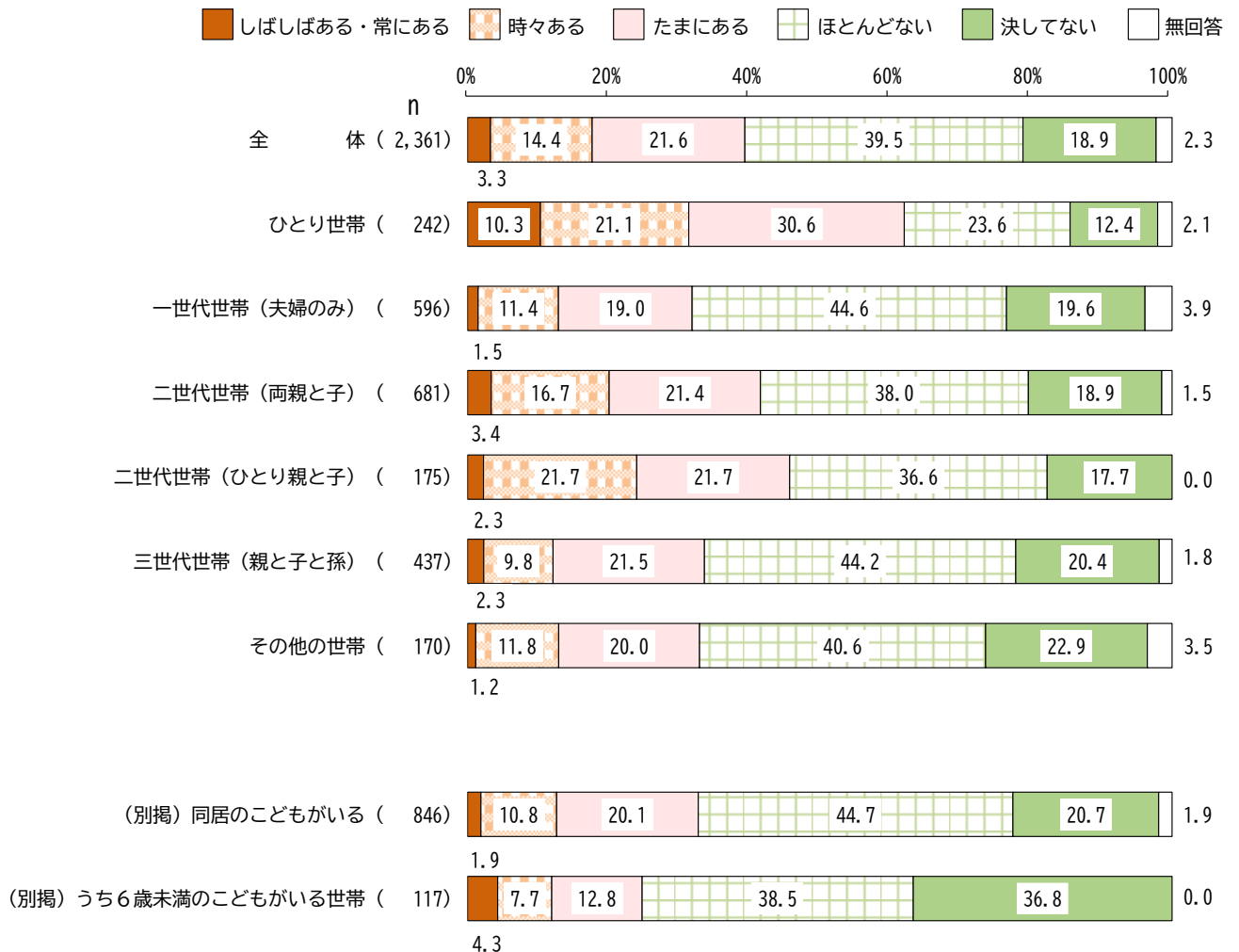
【図 1－12】 こどもの有無別孤独感（間接質問）



(14) 世帯構成別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「ひとり世帯」で高くなっている。

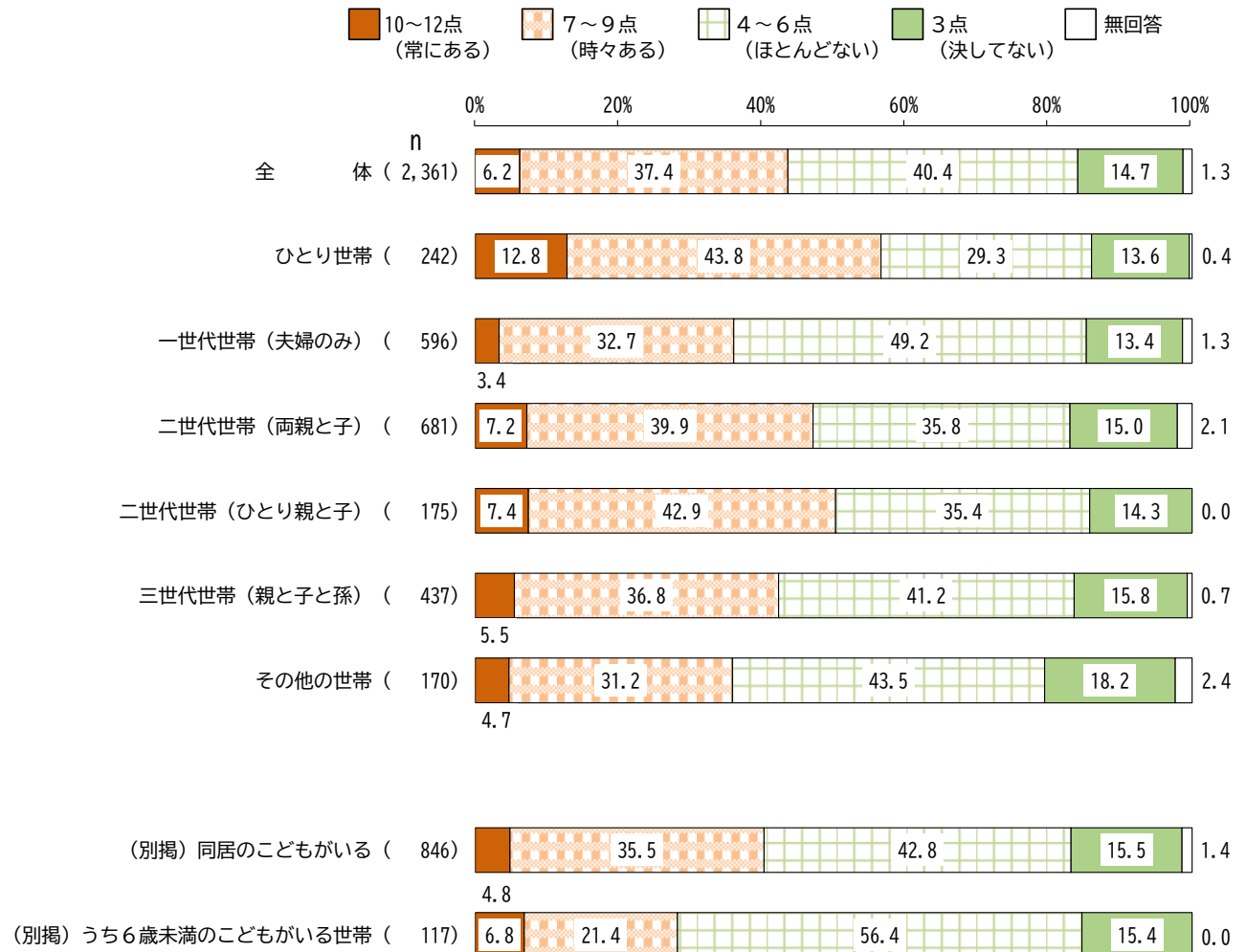
【図 1－13】世帯構成別孤独感（直接質問）



(15) 世帯構成別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「ひとり世帯」、「二世帯世帯（両親と子）」及び「二世帯世帯（ひとり親と子）」で高くなっている。

【図 1－14】 世帯構成別孤独感（間接質問）

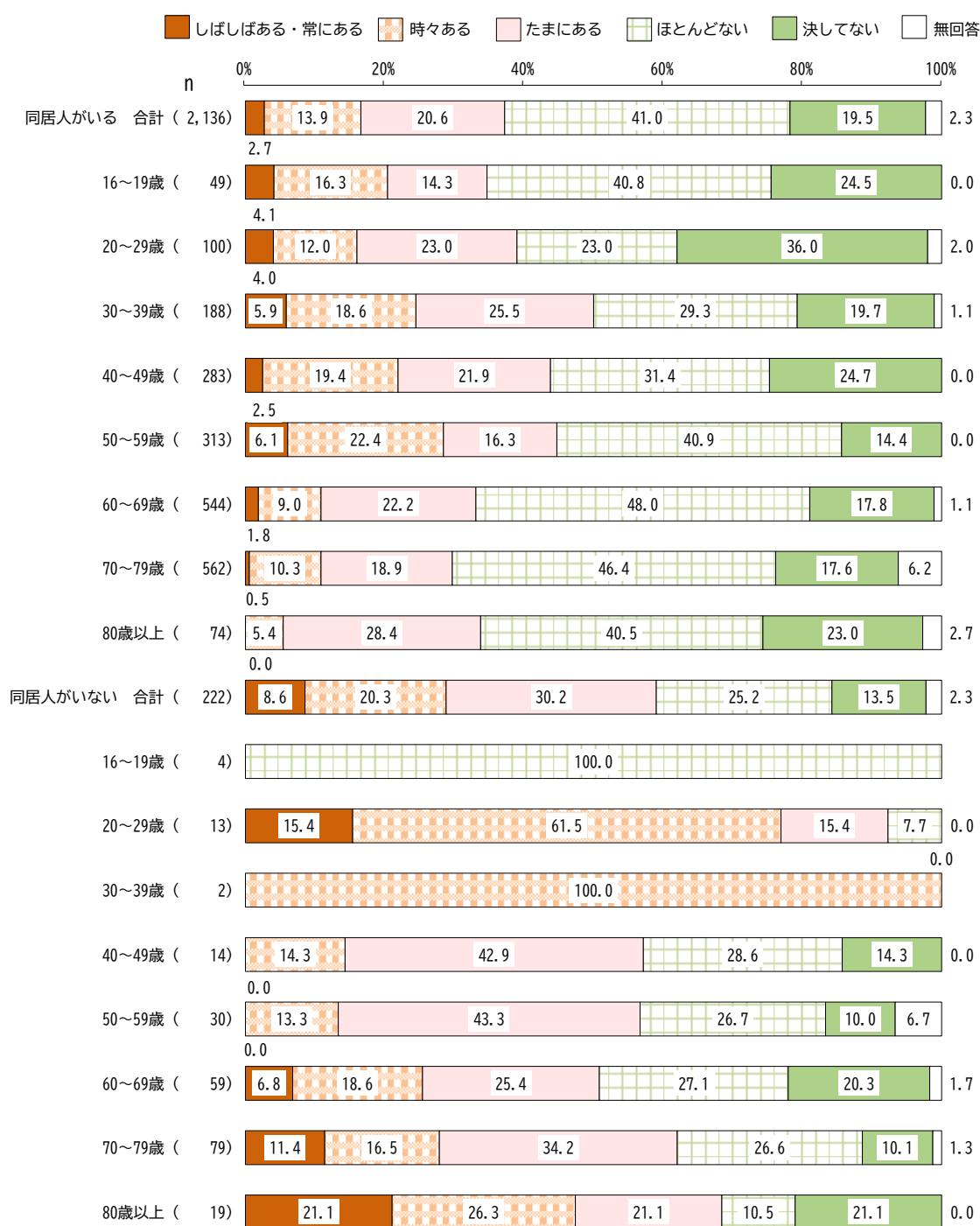


(16) 同居人の有無、年齢階級別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「同居人がいる」で2.7%、「同居人がいない」で8.6%となっている。

これを同居人の有無、年齢階級別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、同居人がいる人では30歳代及び50歳代で、同居人がいない人では20歳代、70歳代及び80歳以上で高くなっている。

【図1-15】同居人の有無、年齢階級別孤独感（直接質問）



(注1) 同居人の有無は、居住人数（調査票 問6）への回答を基準に判定している（調査票はP77以降に掲載）。

なお、居住人数（問6）が無回答、かつ同居している人たちとの直接会話によるコミュニケーション頻度（問16(2)）に回答がある場合は、「同居人がいる」と判定している。

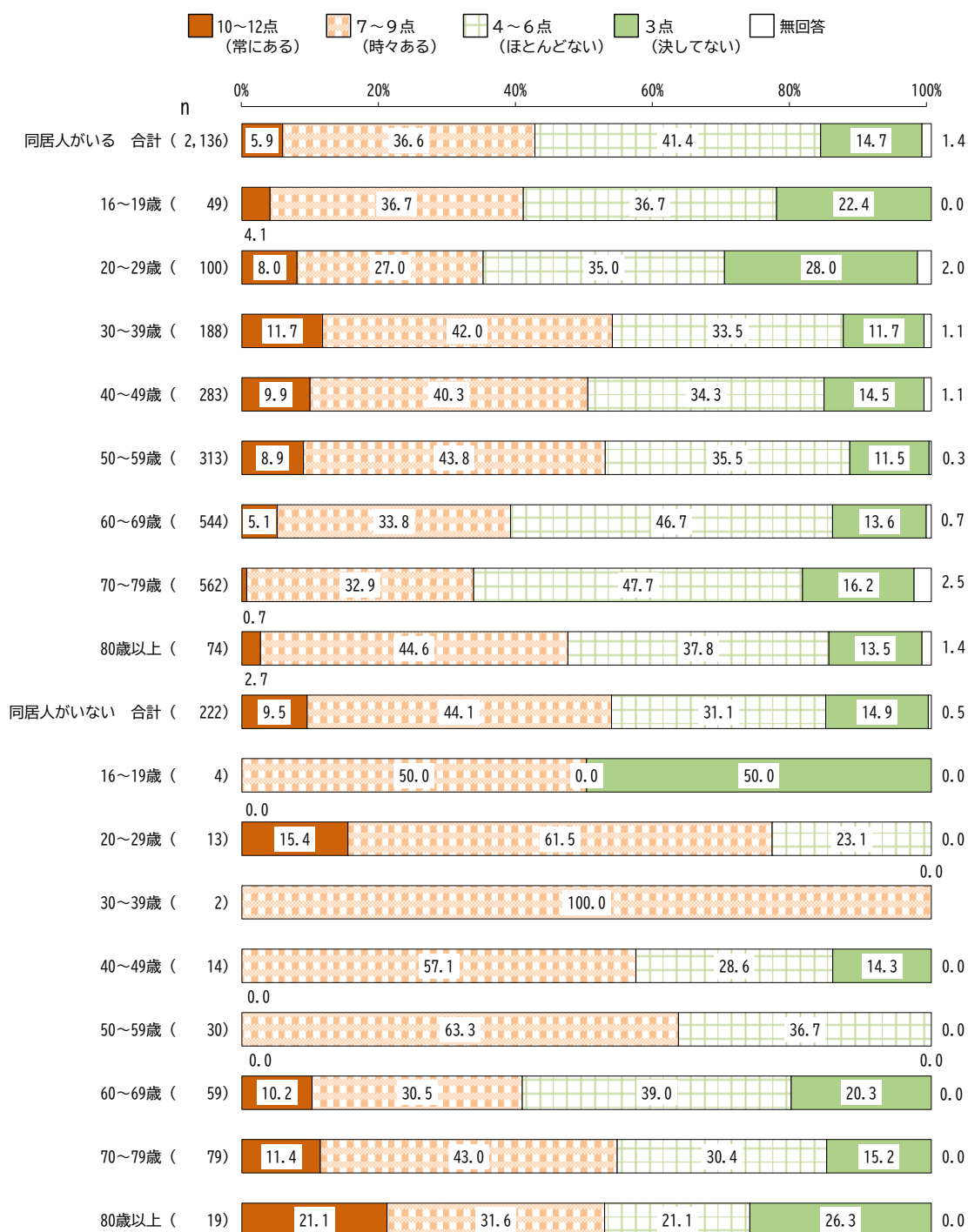
(注2) 「16～19歳」及び「30～39歳」の「同居人がいない」は、回答者数が些少のため、参考値。

(17) 同居人の有無、年齢階級別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「同居人がいる」で5.9%、「同居人がいない」で9.5%となっている。

これを同居人の有無、年齢階級別にみると、孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、同居人がいる人では20歳代から50歳代で、同居人がいない人では20歳代及び60歳代から80歳以上で高くなっている。

【図1-16】同居人の有無、年齢階級別孤独感（間接質問）



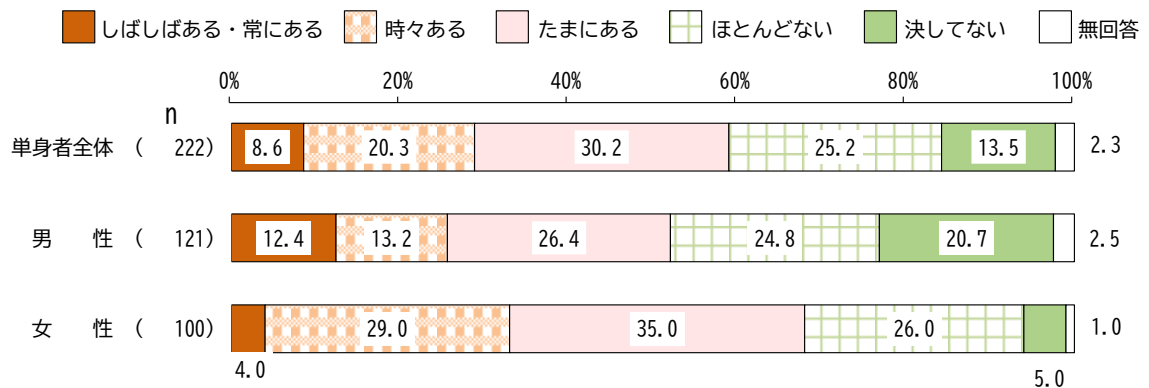
（注1）同居人の有無は、図1-15と同様に判定している。

（注2）「16～19歳」及び「30～39歳」の「同居人がいない」は、回答者数が些少のため、参考値。

(18) 男女別単身者の孤独感（直接質問）

単身者の孤独感を男女別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性で12.4%、女性で4.0%となっている。

【図1-17】男女別単身者の孤独感（直接質問）

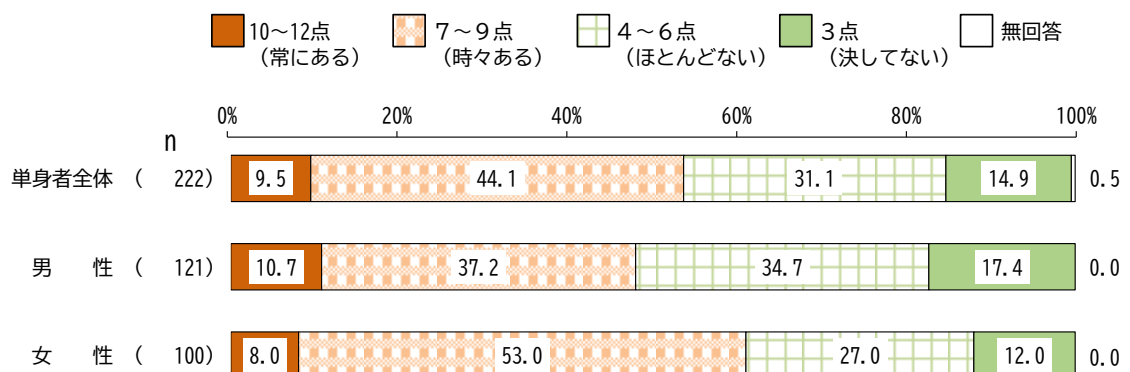


(注)「単身者」は「同居人がいない」と判定されたものとしており、性別（調査票 問2）への回答によって「男性単身者」と「女性単身者」に区分している。同居人の有無は、居住人数（問6）への回答を基準に判断している。なお、居住人数（問6）が無回答、かつ同居している人たちとの直接会話によるコミュニケーション頻度（問16(2)）に回答がある場合は、「同居人がいる」と判定している。

(19) 男女別単身者の孤独感（間接質問）

単身者の孤独感スコアを男女別にみると、スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、男性で10.7%、女性で8.0%となっている。

【図1-18】男女別単身者の孤独感（間接質問）

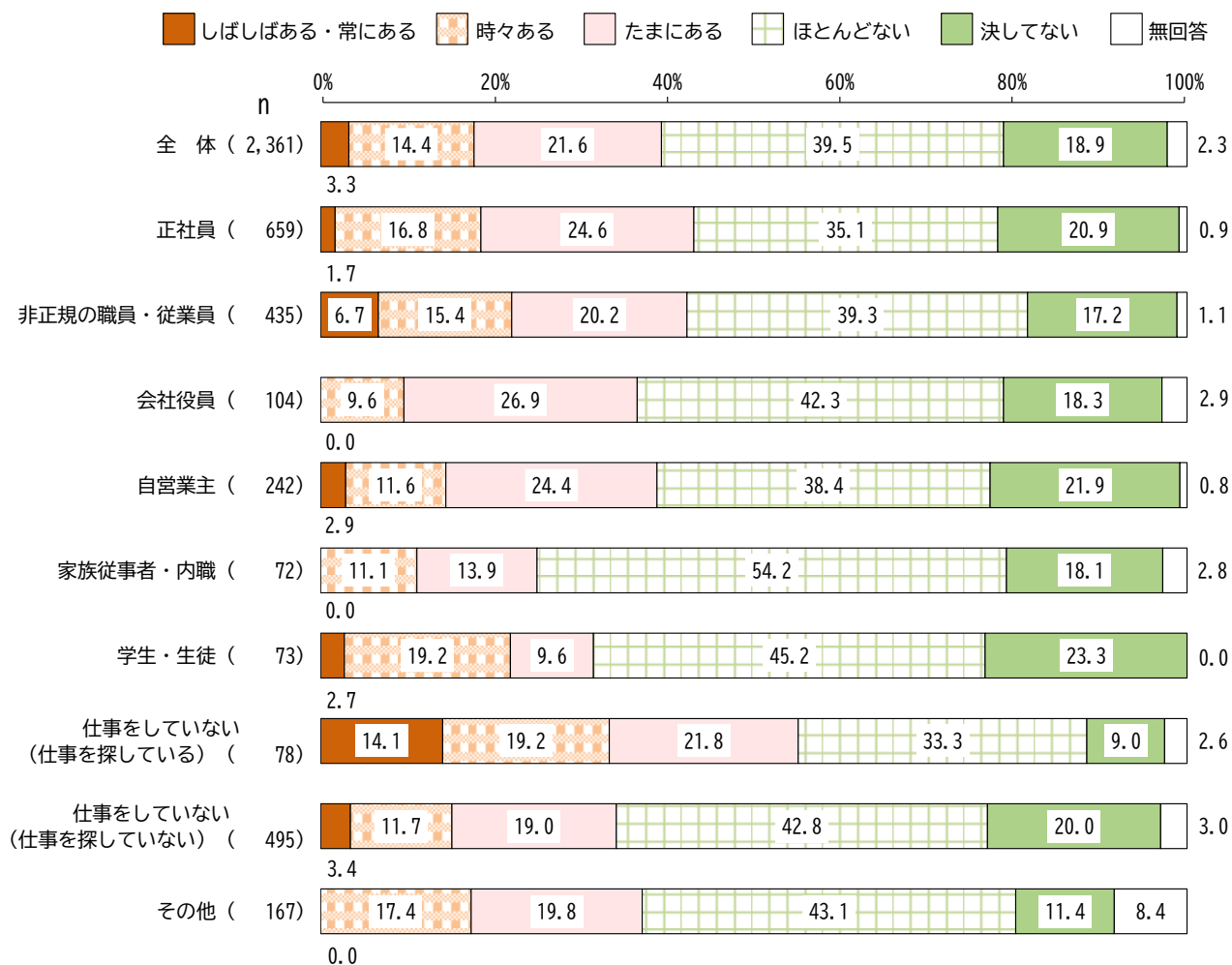


(注)「単身者」は、図1-17と同様に判定している。

(20) 現在の仕事別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「仕事をしていない（仕事を探している）」及び「非正規の職員・従業員」で高くなっている。

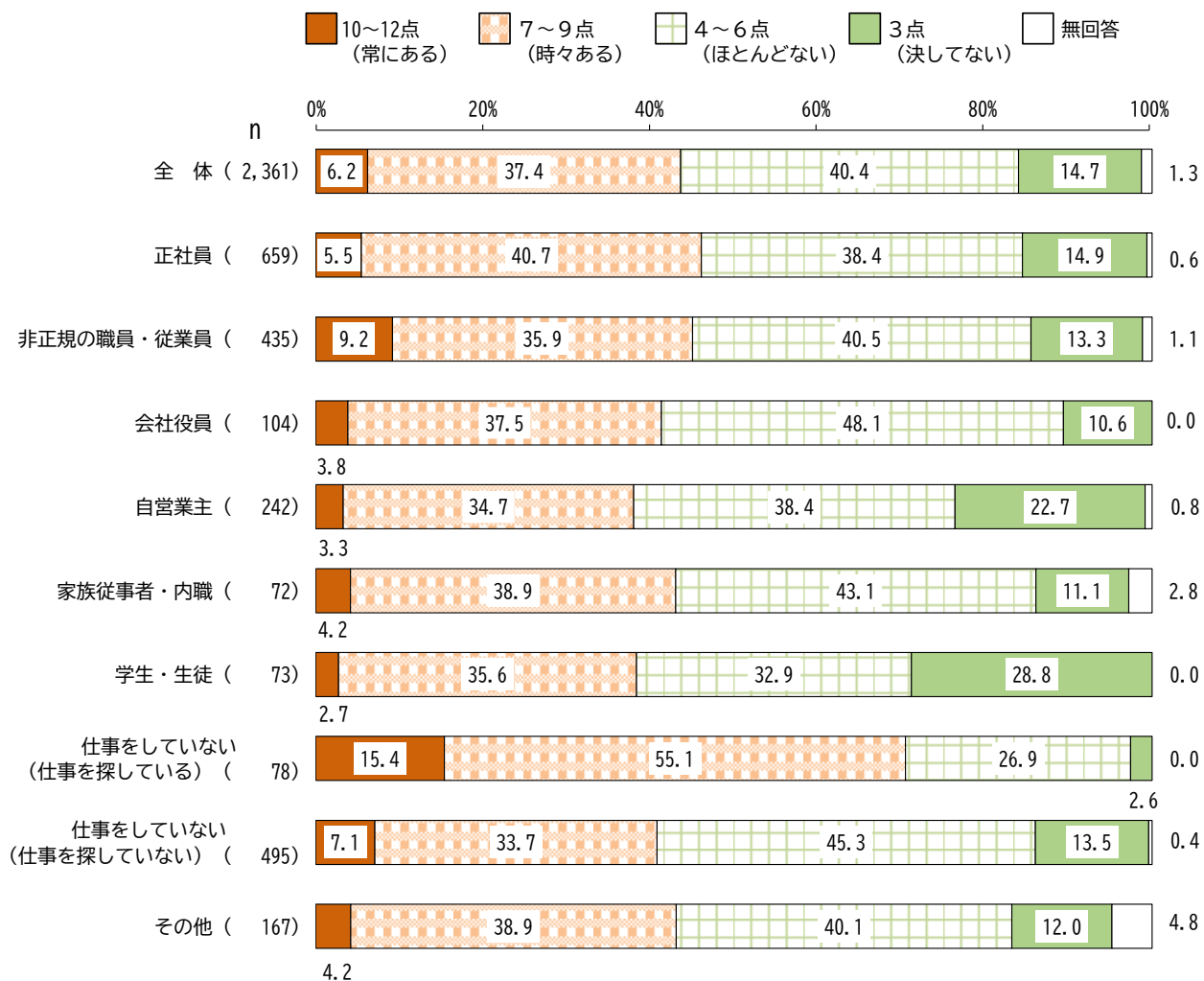
【図 1－19】現在の仕事別孤独感（直接質問）



(21) 現在の仕事別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「仕事をしていない（仕事を探している）」、「非正規の職員・従業員」及び「仕事をしていない（仕事を探していない）」で高くなっている。

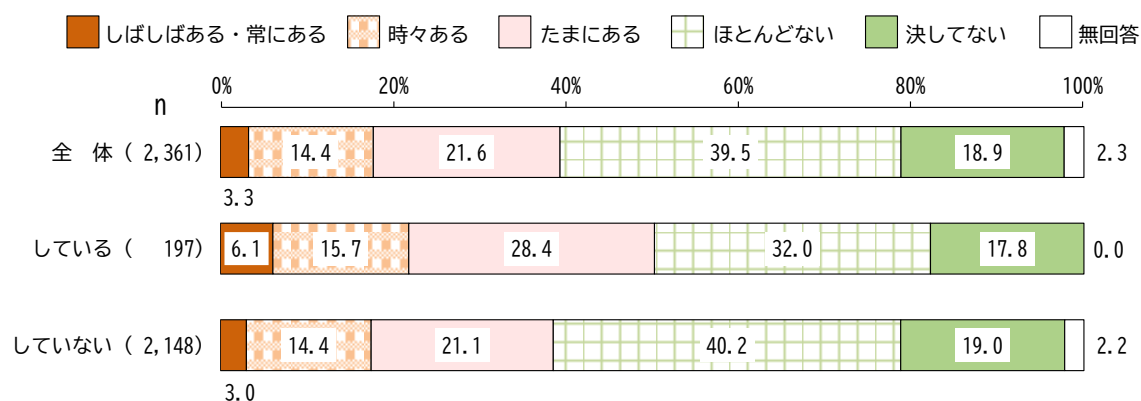
【図 1－20】現在の仕事別孤独感（間接質問）



(22) 家族の介助や看病の有無別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、家族の介助や看病を「している」で6.1%、「していない」で3.0%となっている。

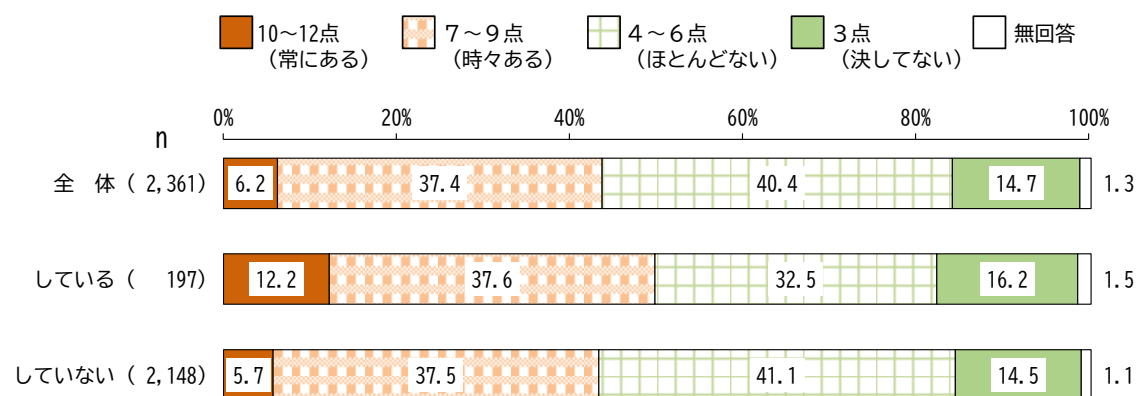
【図 1－21】 家族の介助や看病の有無別孤独感（直接質問）



(23) 家族の介助や看病の有無別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「している」で12.2%、「していない」で5.7%となっている。

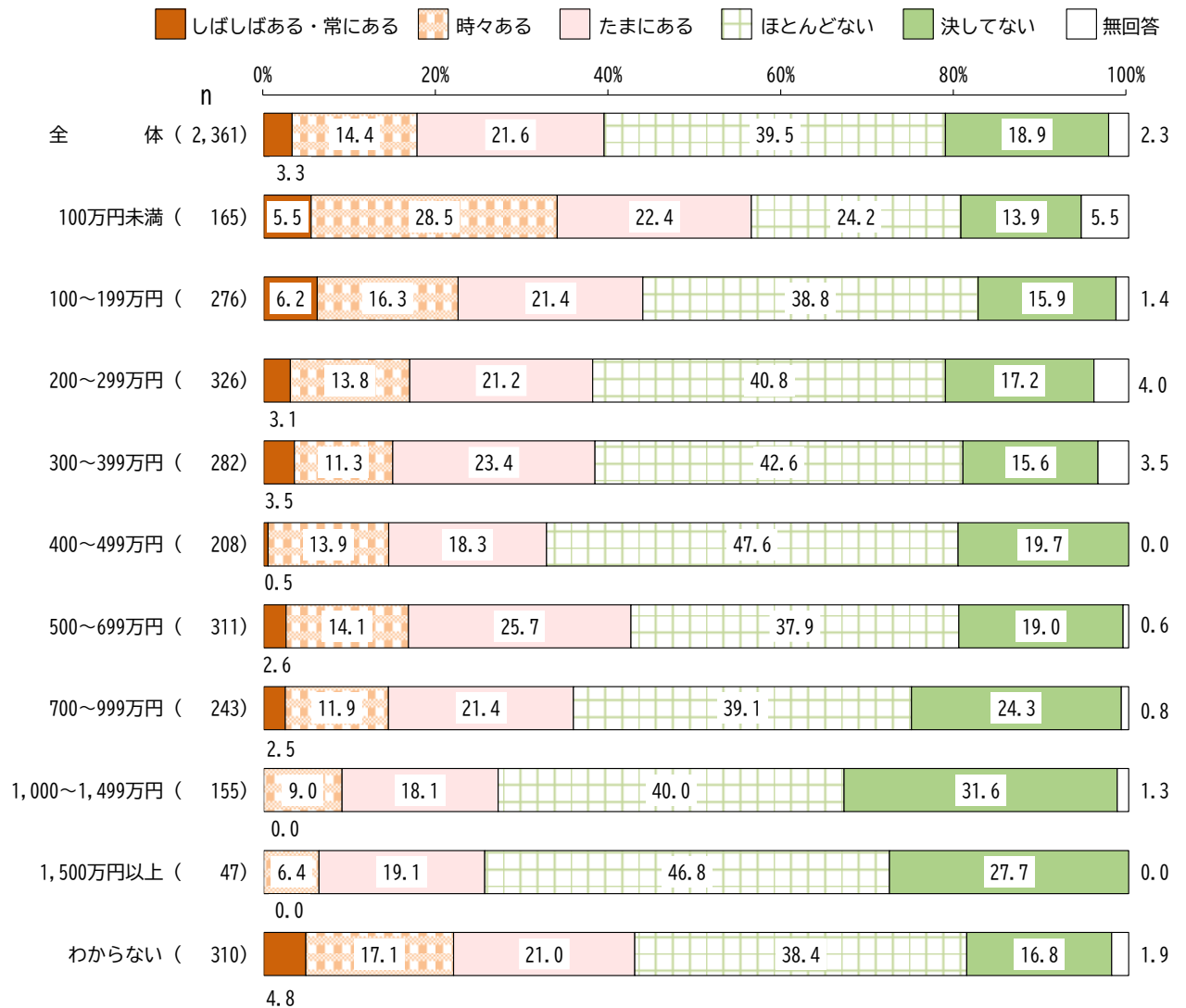
【図 1－22】 家族の介助や看病の有無別孤独感（間接質問）



(24) 世帯の年間収入別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、年収が「100 万円未満」、「100～199 万円」及び「わからない」で高くなっている。

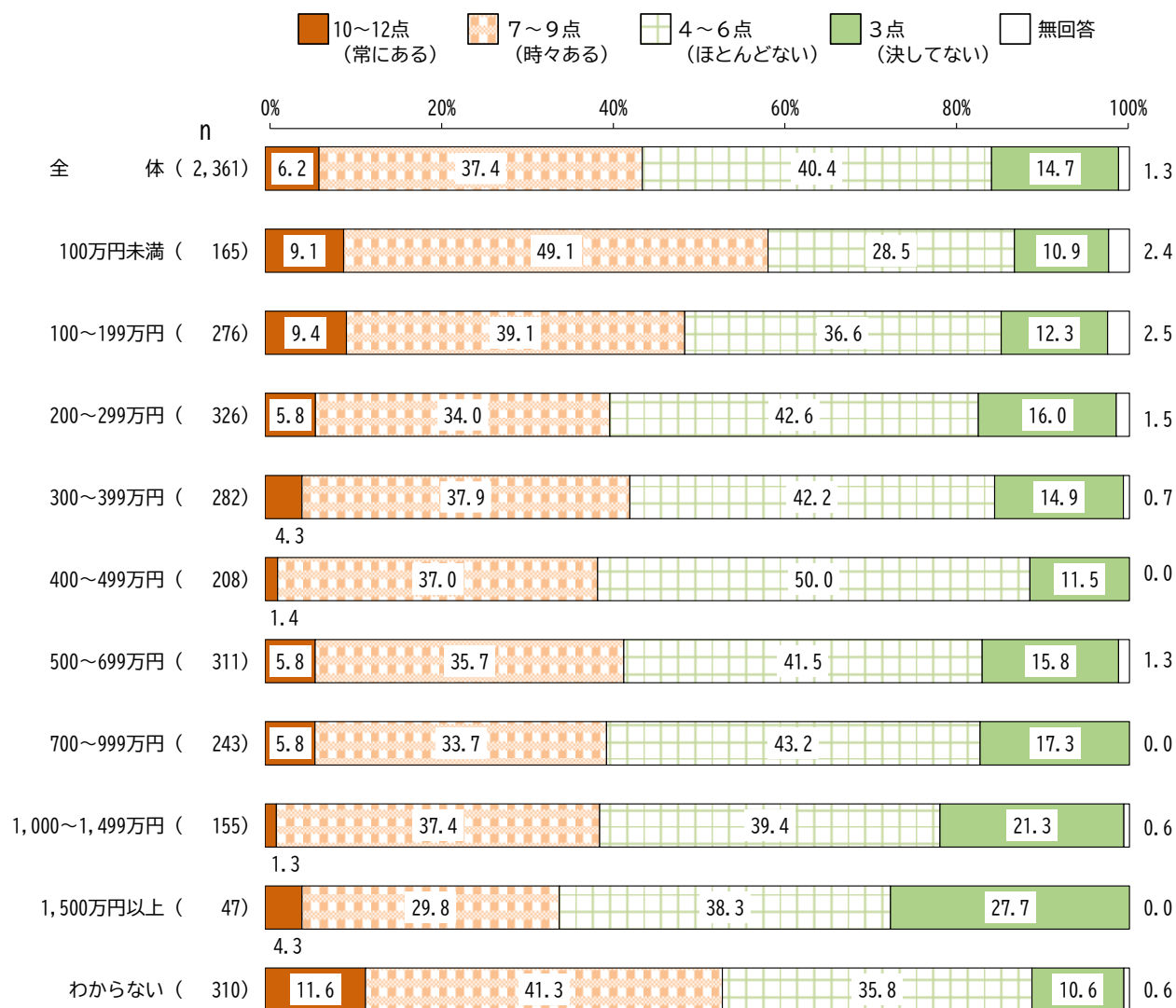
【図 1－23】世帯の年間収入別孤独感（直接質問）



(25) 世帯の年間収入別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、年収が「100万円未満」、「100～199万円」及び「わからない」で高くなっている。

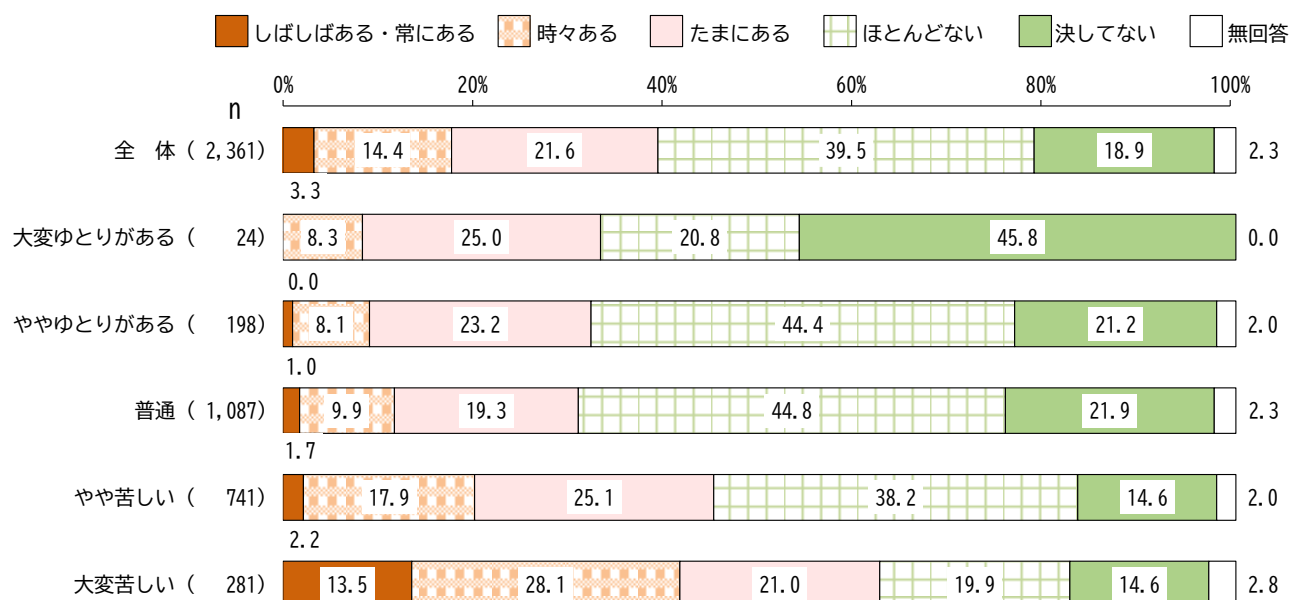
【図 1－24】 世帯の年間収入別孤独感（間接質問）



(26) 経済的な暮らし向き別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「大変苦しい」で高くなっている。

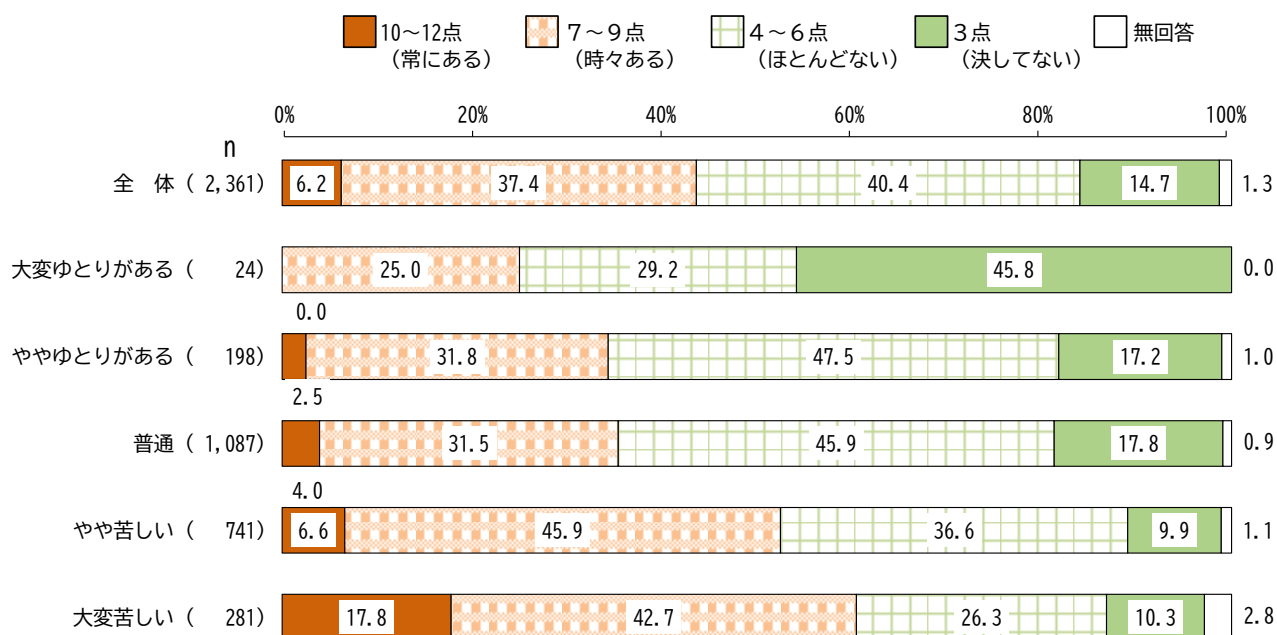
【図 1－25】 経済的な暮らし向き別孤独感（直接質問）



(27) 経済的な暮らし向き別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「大変苦しい」で高くなっている。

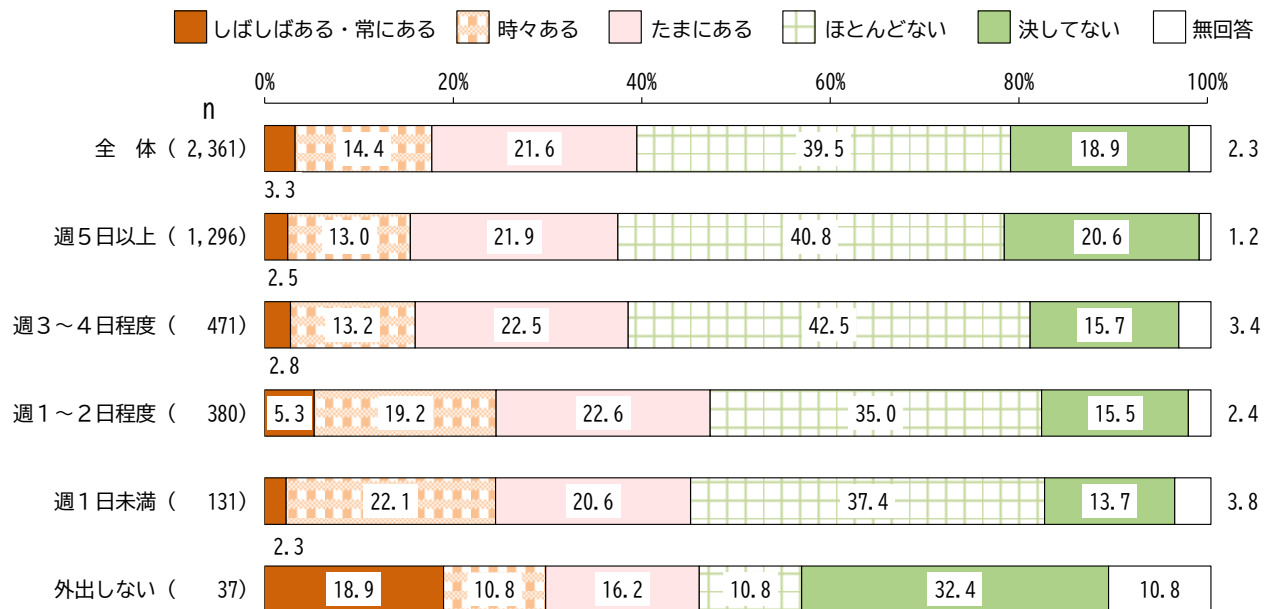
【図 1－26】 経済的な暮らし向き別孤独感（間接質問）



(28) 外出頻度別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「外出しない」で高くなっている。

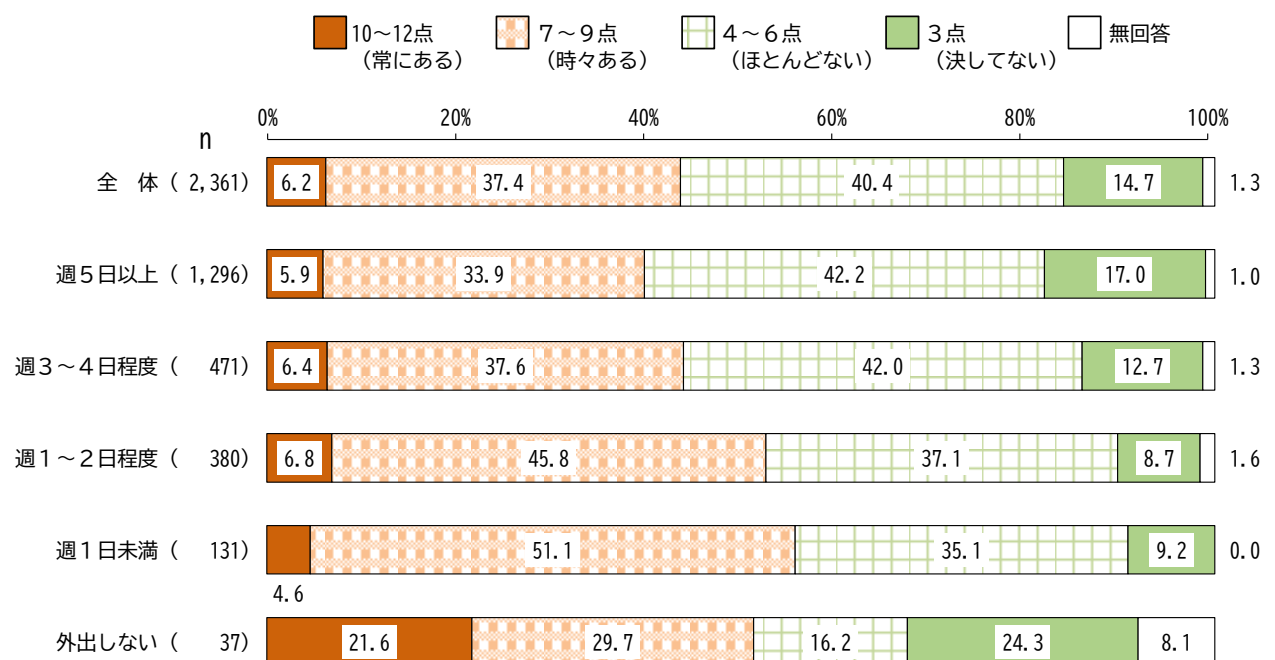
【図 1－27】 外出頻度別孤独感（直接質問）



(29) 外出頻度別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「外出しない」で高くなっている。

【図 1－28】 外出頻度別孤独感（間接質問）



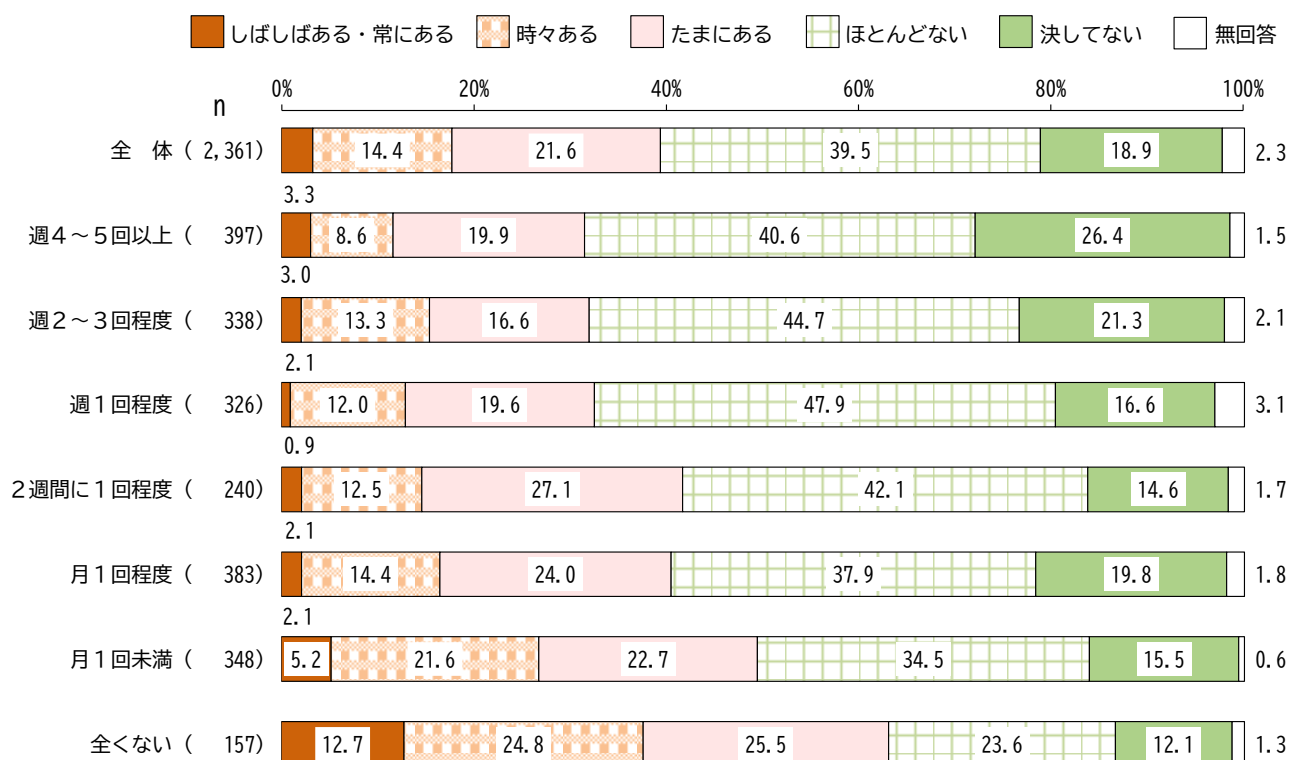
(30) 同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度別孤独感

(直接質問、間接質問)

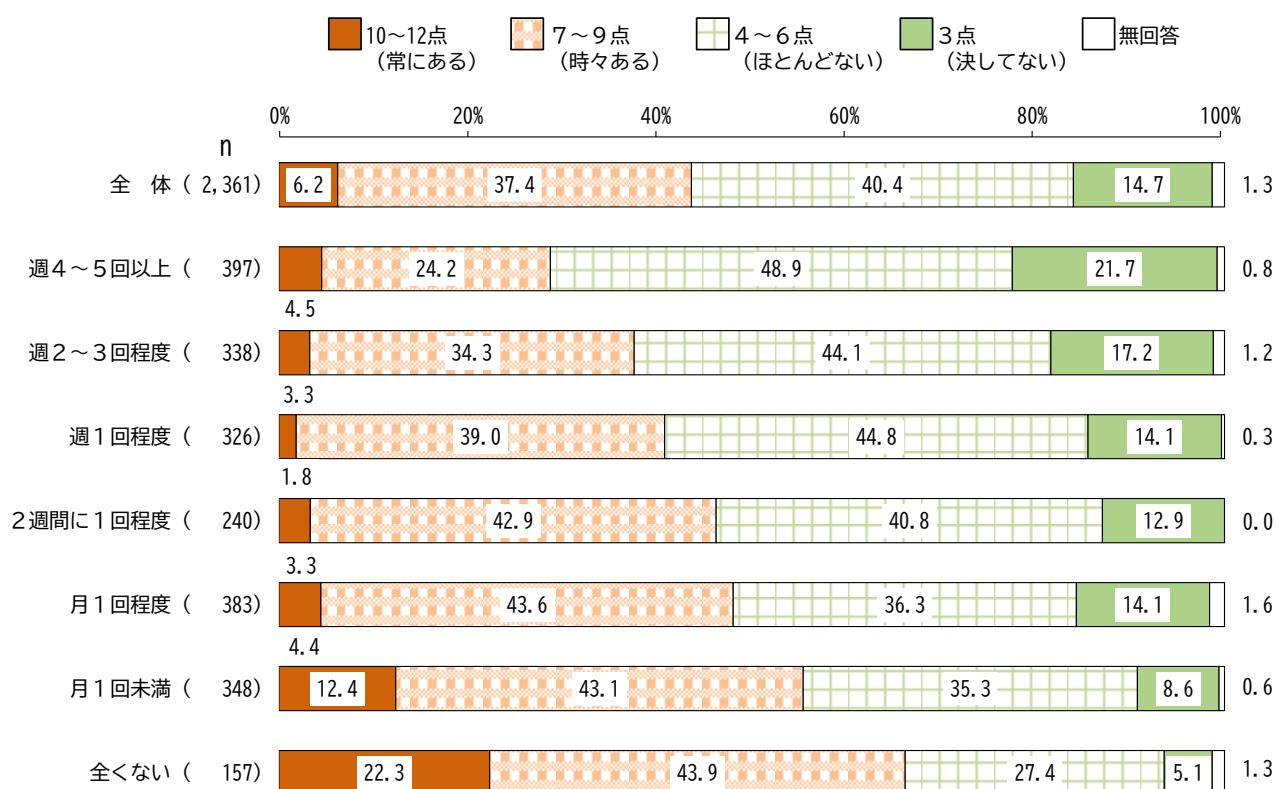
「図1-29」から「図1-34」までは、同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション手段ごとに、その頻度別孤独感を示している。

直接質問による孤独感で「しばしばある・常にある」と回答した人の割合と間接質問による孤独感スコアで「10～12点（常にある）」という人の割合は、「直接会って話す」及び「電話（ビデオ通話含む）」では、「月1回未満」及び「全くない」で高くなっている。一方、「SNSや電子メールなどをする」では、直接質問による孤独感で「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「2週間に1回程度」、「月に1回未満」及び「全くない」で高く、間接質問による孤独感スコアで「10～12点（常にある）」という人の割合は、「2週間に1回程度」、「月に1回程度」、「月1回未満」及び「全くない」で高くなっている。

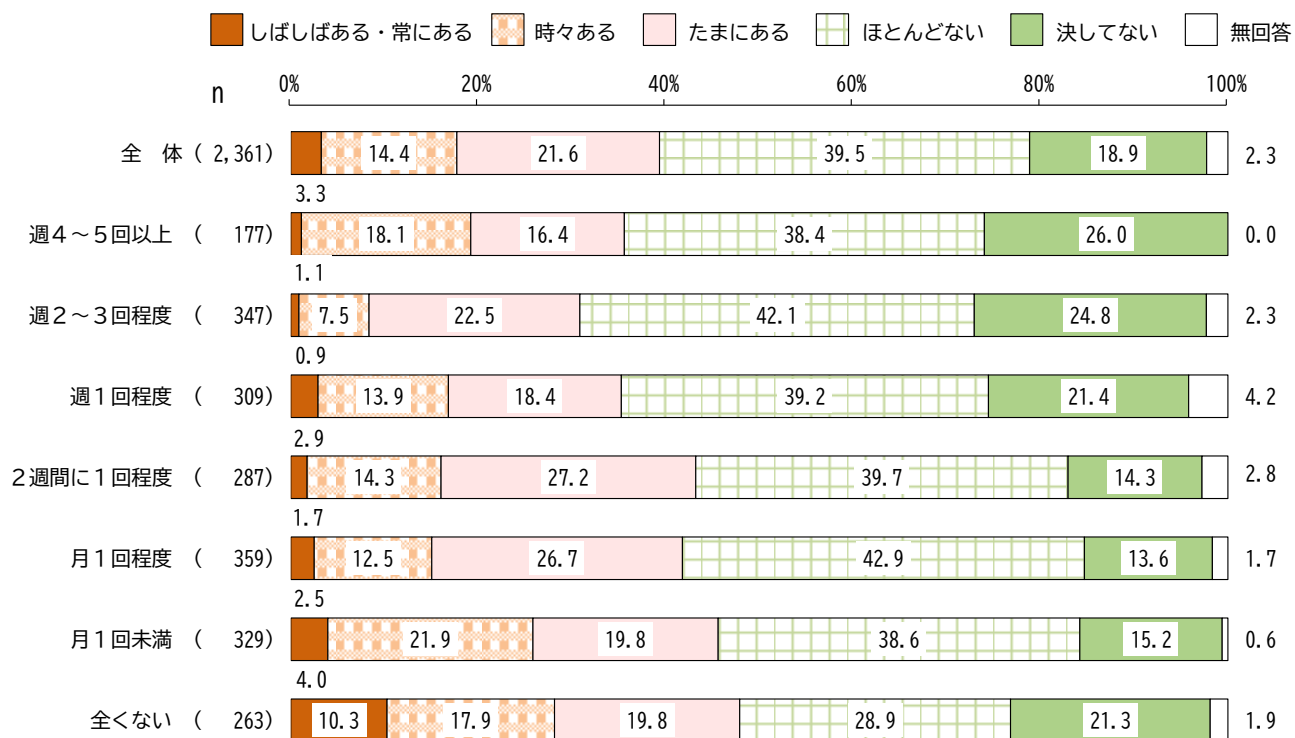
【図1-29】「直接会って話す」頻度別孤独感（直接質問）



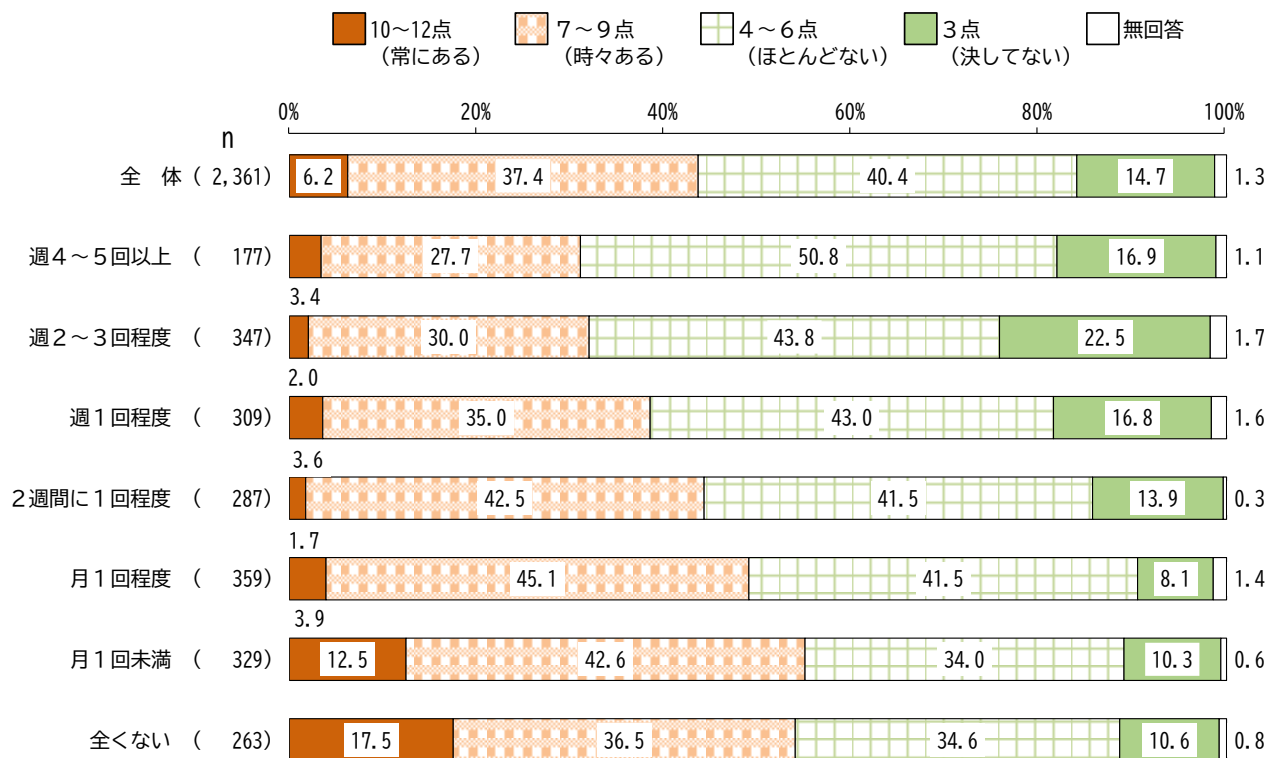
【図 1－30】「直接会って話す」頻度別孤独感（間接質問）



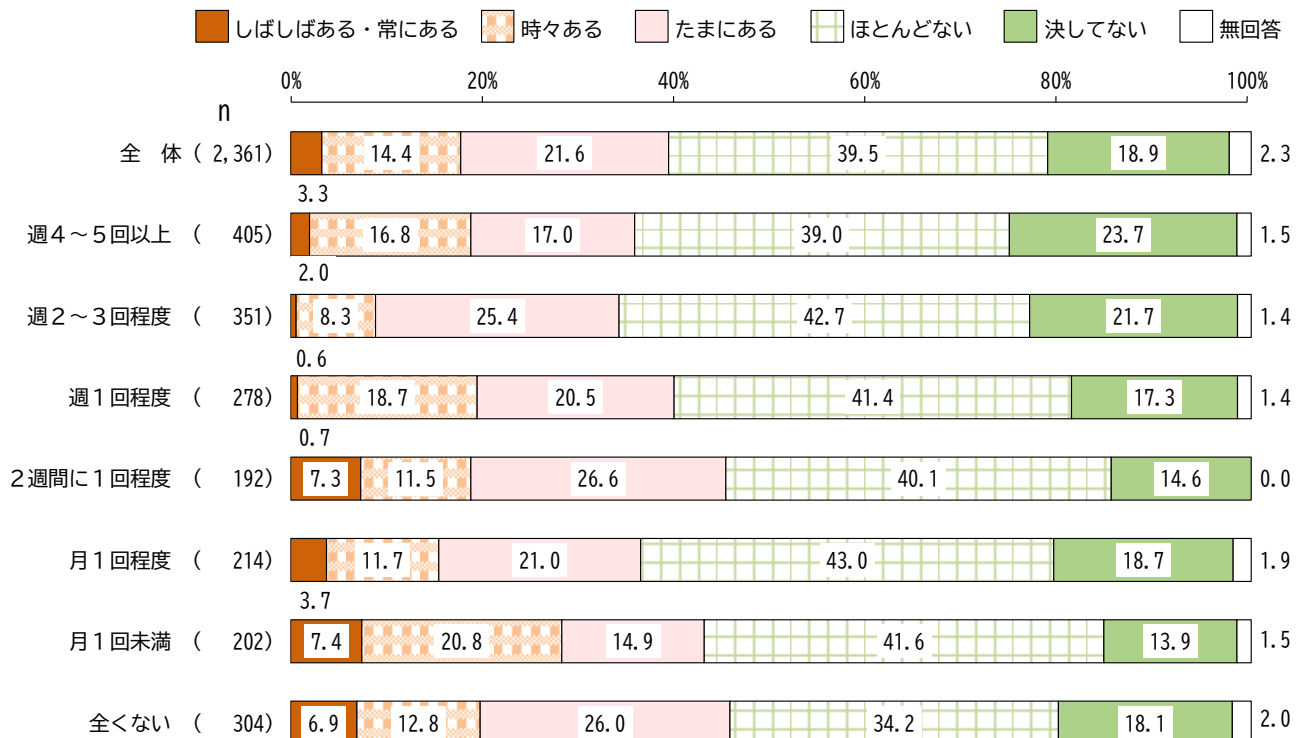
【図 1－31】「電話（ビデオ通話含む）する」頻度別孤独感（直接質問）



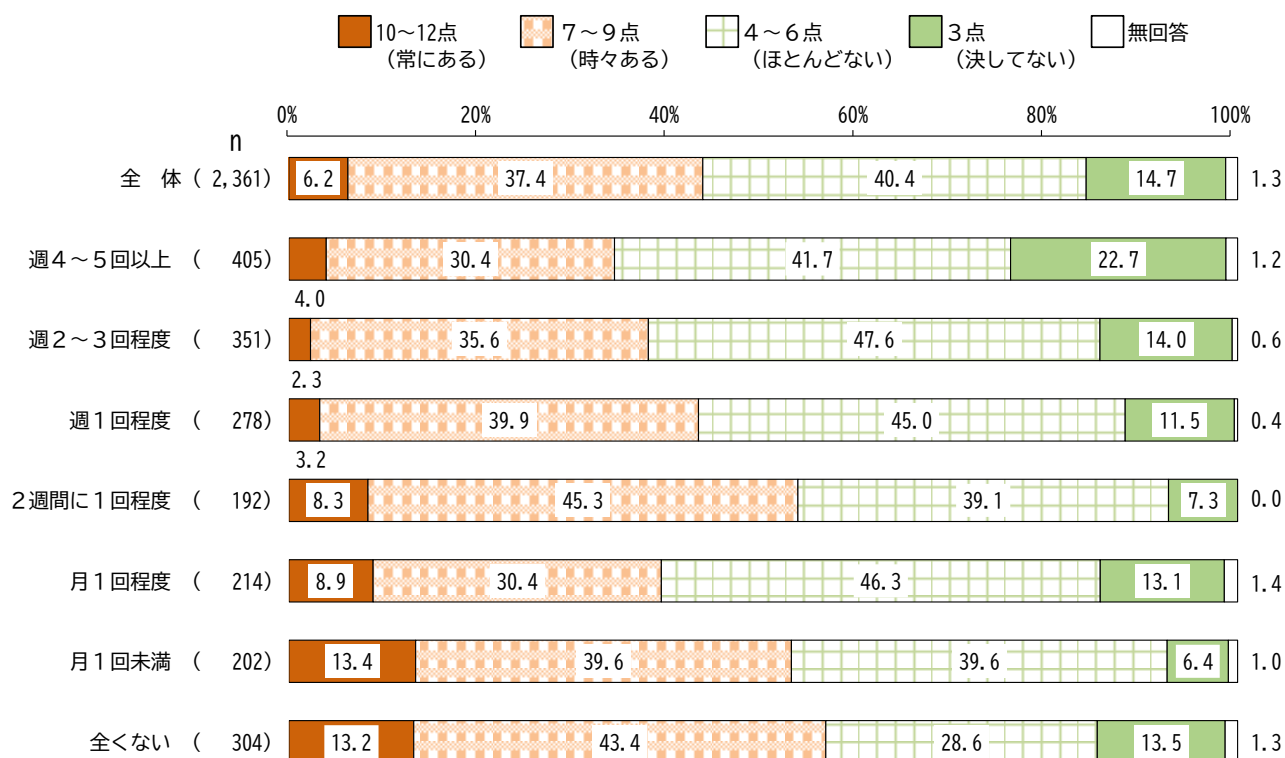
【図 1－32】「電話（ビデオ通話含む）する」頻度別孤独感（間接質問）



【図 1－33】「SNS や電子メールなどをする」頻度別孤独感（直接質問）



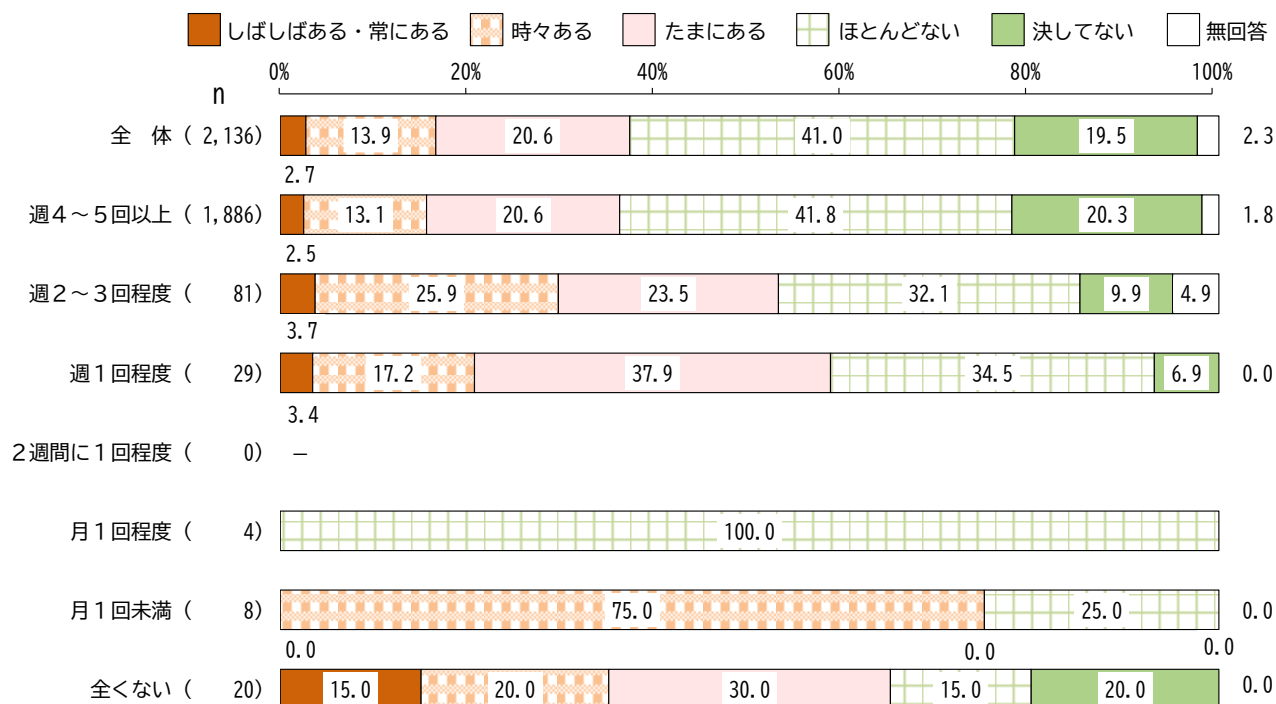
【図 1－34】「SNS や電子メールなどをする」頻度別孤独感（間接質問）



(31) 同居している人たちと直接会って話す頻度別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、頻度が「全くない」で高くなっている。

【図 1－35】同居している人たちと「直接会って話す」頻度別孤独感（直接質問）



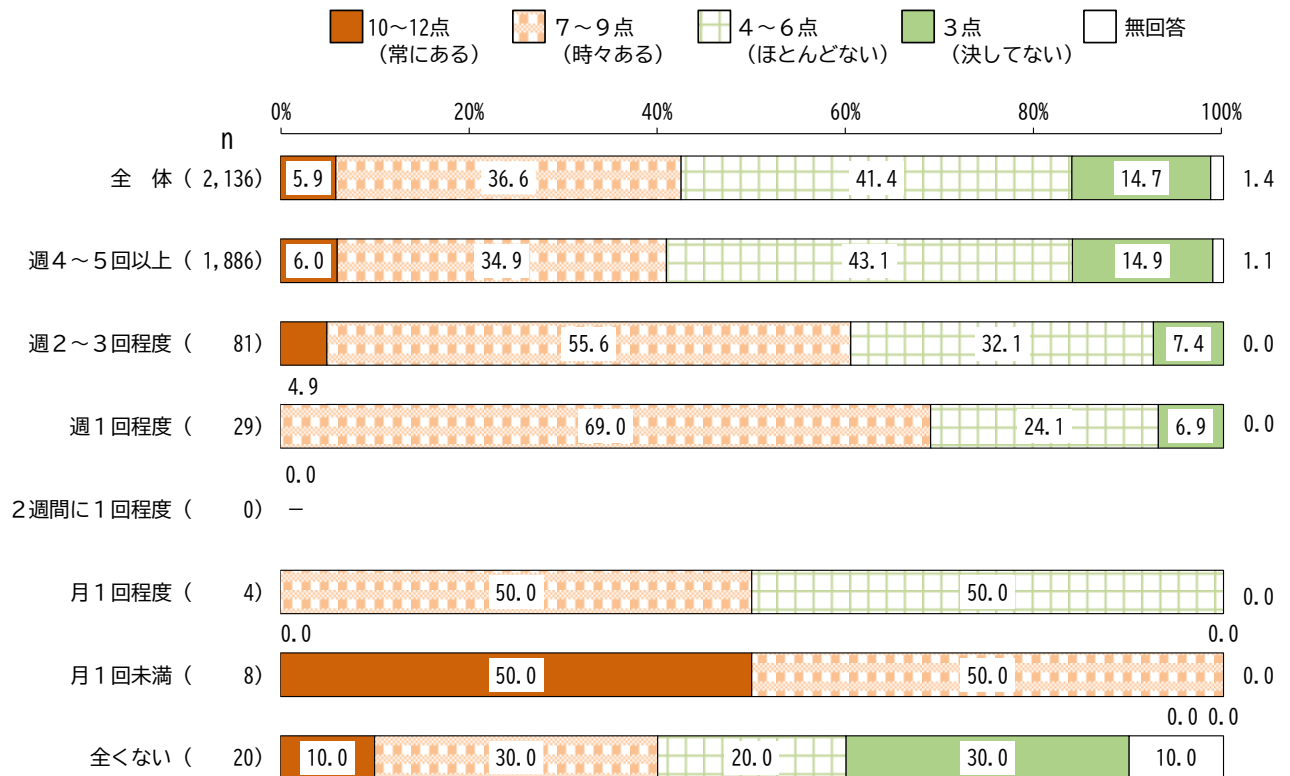
(注 1) 集計対象：同居人がいると判定したもの n=2,136 (P14 参照)。

(注 2) 同居している人たちと「直接会って話す」頻度が「月1回程度」及び「月1回未満」については、回答者数が些少のため、参考値。

(32) 同居している人たちと直接会って話す頻度別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、頻度が「全くない」で高くなっている。

【図 1－36】同居している人たちと「直接会って話す」頻度別孤独感（間接質問）



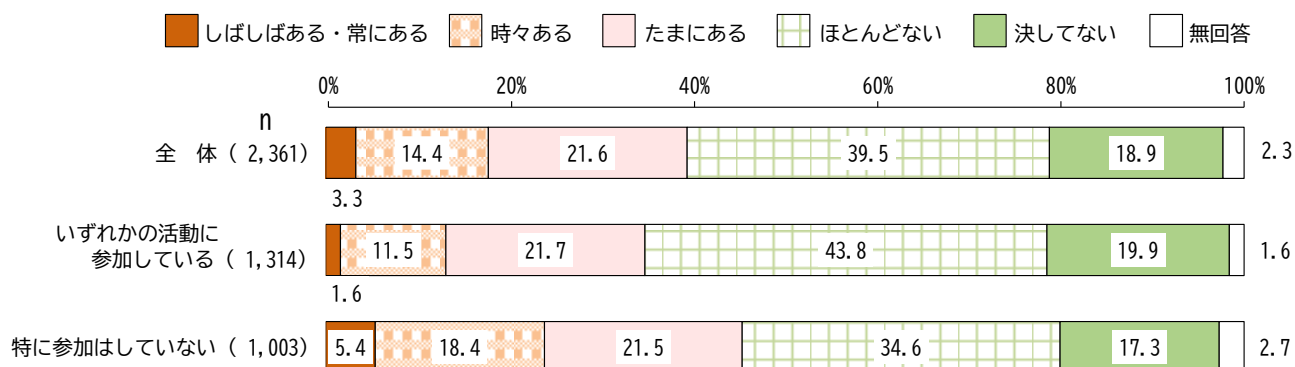
（注 1）集計対象：同居人がいると判定したもの n=2,136（P15 参照）。

（注 2）同居している人たちと「直接会って話す」頻度が「月 1 回程度」及び「月 1 回未満」については、回答者数が些少のため、参考値。

(33) 社会活動への参加状況別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「いずれかの活動に参加している」で1.6%、「特に参加はしていない」で5.4%となっている。

【図 1－37】社会活動への参加状況別孤独感（直接質問）

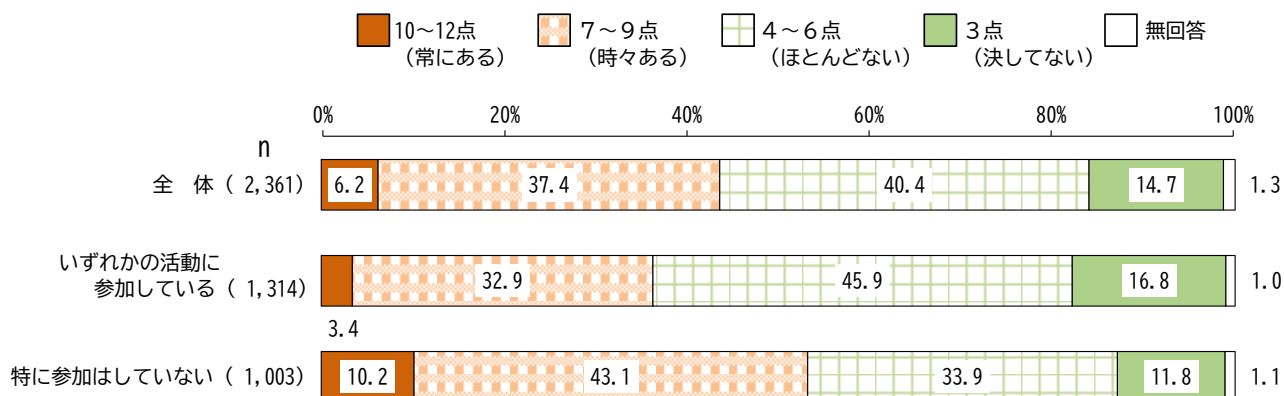


(注) 調査票 問 17 の回答選択肢「1 PTA・自治会・町内会などの活動」から「5 その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）」のいずれかに回答があったものを「いずれかの活動に参加している」として集計。

(34) 社会活動への参加状況別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「いずれかの活動に参加している」で3.4%、「特に参加はしていない」で10.2%となっている。

【図 1－38】社会活動への参加状況別孤独感（間接質問）

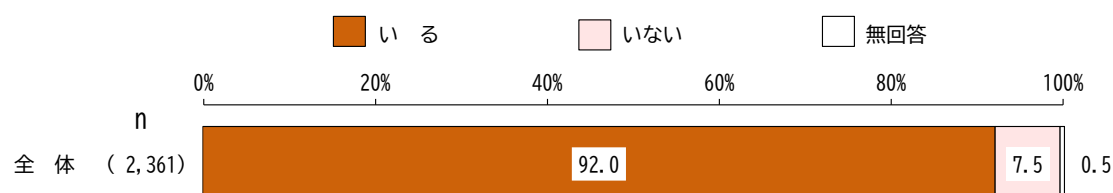


(注) 調査票 問 17 の回答選択肢「1 PTA・自治会・町内会などの活動」から「5 その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）」のいずれかに回答があったものを「いずれかの活動に参加している」として集計。

(35) 困った時に頼れる人の有無

困った時に頼れる人が「いる」と回答した人の割合は92.0%、「いない」は7.5%となっている。

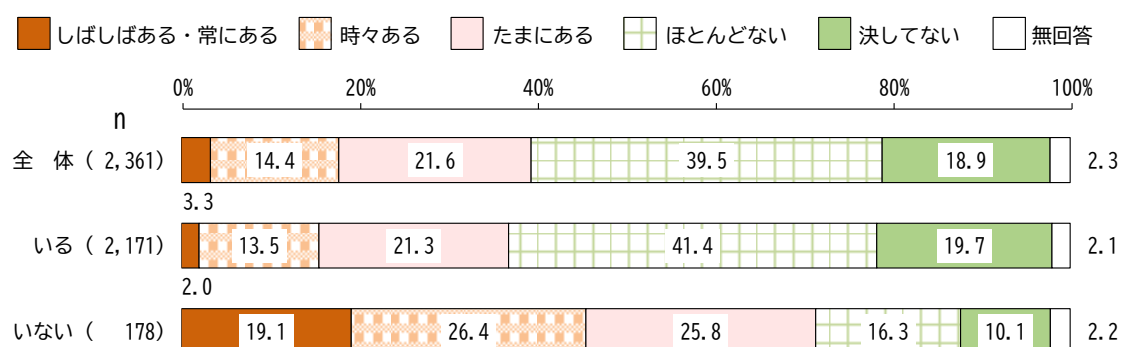
【図1-39】困った時に頼れる人の有無



(36) 困った時に頼れる人の有無別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、頼れる人が「いる」で2.0%、「いない」で19.1%となっている。

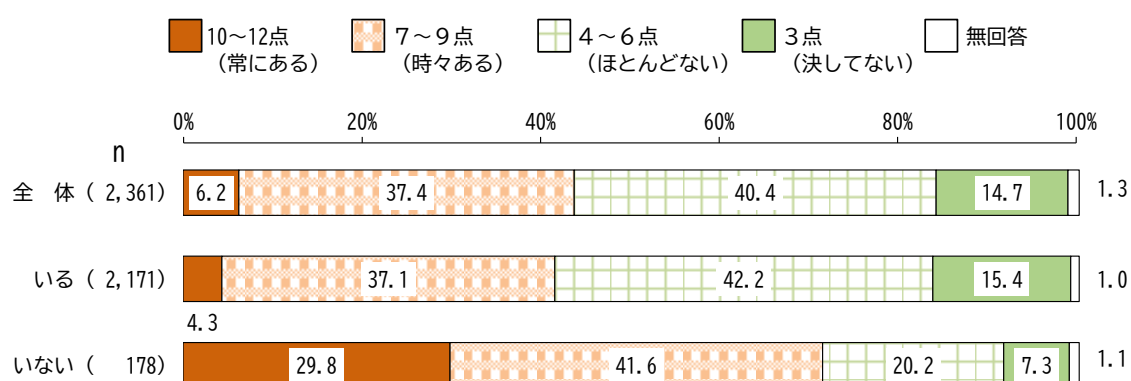
【図1-40】困った時に頼れる人の有無別孤独感（直接質問）



(37) 困った時に頼れる人の有無別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、頼れる人が「いる」で4.3%、「いない」で29.8%となっている。

【図1-41】困った時に頼れる人の有無別孤独感（間接質問）



(38) 男女、年齢階級別困った時に頼れる人の種類

困った時に頼れる人が「いる」と回答した人に対し、その相手を尋ねたところ、「家族・親族」と回答した割合が96.5%と最も高く、次いで、「友人・知人」(56.5%)、「仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)」(15.5%) などとなっている。

男女別にみると、「家族・親族」と回答した割合は、女性で高い。また、男女、年齢階級別にみると、「友人・知人」と回答した割合は、男女ともに16歳～19歳及び20歳代で高くなっている。

【図1-42】男女、年齢階級別困った時に頼れる人の種類【複数回答】

(%)

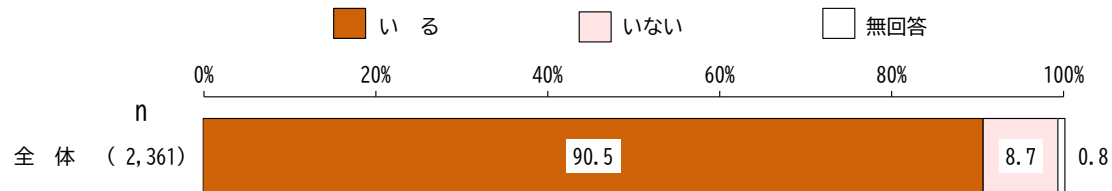
	n	家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)	行政機関(国や自治体)	NPO等の民間団体・ボランティア	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	その他	無回答
全 体	2,171	96.5	56.5	11.9	15.5	4.5	0.6	3.5	14.2	0.8	0.0
男性／全体	1,003	94.5	56.3	15.3	15.1	5.9	0.8	4.0	13.7	0.9	-
16～19歳	20	90.0	100.0	15.0	30.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-	-
20～29歳	41	80.5	73.2	-	22.0	2.4	2.4	2.4	4.9	-	-
30～39歳	66	97.0	39.4	4.5	10.6	9.1	-	-	6.1	3.0	-
40～49歳	102	96.1	65.7	2.0	28.4	4.9	-	2.0	-	-	-
50～59歳	131	93.1	67.2	17.6	17.6	6.9	1.5	1.5	6.9	0.8	-
60～69歳	280	96.8	52.9	22.5	14.3	6.8	0.7	2.9	15.0	-	-
70～79歳	308	94.5	52.9	15.9	12.0	5.5	0.6	6.5	22.4	1.3	-
80歳以上	49	91.8	42.9	20.4	-	2.0	-	12.2	20.4	4.1	-
女性／全体	1,157	98.2	56.9	9.1	16.1	3.2	0.4	3.0	14.5	0.8	0.1
16～19歳	31	93.5	87.1	-	22.6	-	3.2	-	3.2	3.2	-
20～29歳	65	100.0	83.1	1.5	16.9	-	-	-	4.6	-	-
30～39歳	103	98.1	65.0	1.9	22.3	7.8	1.9	-	11.7	3.9	-
40～49歳	160	100.0	62.5	4.4	28.8	1.3	-	-	3.8	1.3	-
50～59歳	171	98.8	59.1	7.0	31.0	3.5	-	4.7	16.4	-	-
60～69歳	281	97.5	52.7	16.0	11.0	3.6	-	3.2	16.7	-	0.4
70～79歳	292	97.3	49.0	10.3	5.1	2.4	0.7	2.7	18.8	0.7	-
80歳以上	41	100.0	29.3	14.6	-	9.8	-	24.4	29.3	-	-

(注) 集計対象：頼れる人が「いる」と回答したもの n=2,171 (P30 参照)。

(39) 不安や悩みの相談相手の有無

不安や悩みが生じた際の相談相手が「いる」と回答した人の割合は 90.5%、「いない」は 8.7%となっている。

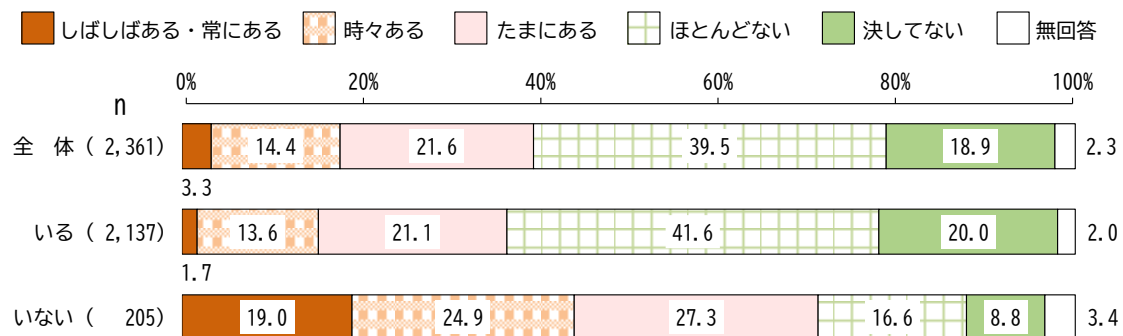
【図 1－43】 不安や悩みの相談相手の有無



(40) 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、相談相手が「いる」で 1.7%、「いない」で 19.0%となっている。

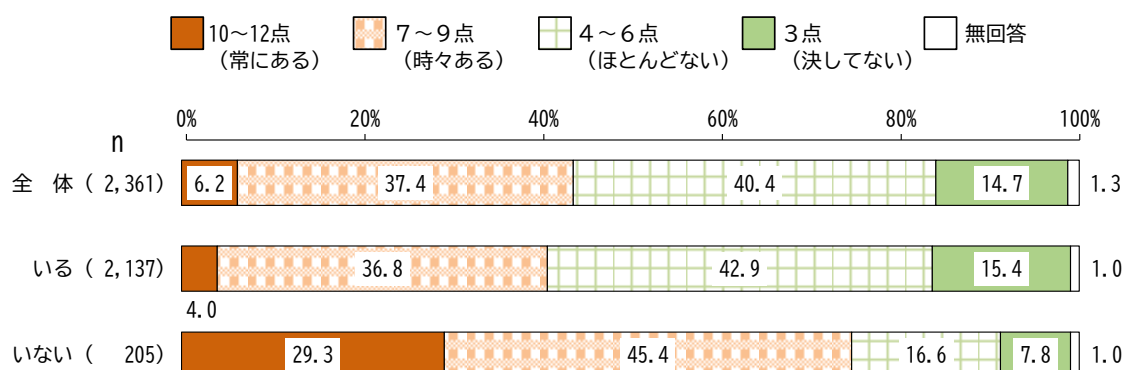
【図 1－44】 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感（直接質問）



(41) 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、相談相手が「いる」で 4.0%、「いない」で 29.3%となっている。

【図 1－45】 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感（間接質問）



(42) 男女、年齢階級別不安や悩みの相談相手の種類

不安や悩みが生じた場合の相談相手が「いる」と回答した人に対し、その相手を尋ねたところ、「家族・親族」と回答した割合が94.4%と最も高く、次いで、「友人・知人」(59.9%)、「仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)」(13.4%)などとなっている。

「家族・親族」と回答した割合を男女、年齢階級別にみると、男性では40歳代及び60歳代から80歳以上、女性では20歳代、40歳代及び60歳代から80歳以上で高くなっている。

「友人・知人」は、男性の16歳～19歳、女性の16歳～19歳及び20歳代で高くなっている。

【図1-46】男女、年齢階級別不安や悩みの相談相手の種類【複数回答】

(%)

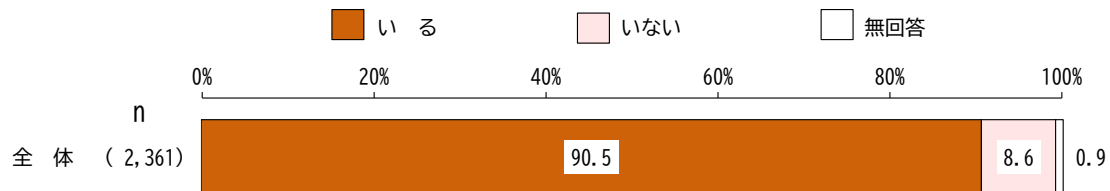
	n	家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	仕事・学校関係者 (職場の同僚・学校の先生等)	行政機関(国や自治体)	NPO等の民間団体・ボランティア団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	その他	無回答
全体	2,137	94.4	59.9	7.6	13.4	3.6	0.7	2.4	11.5	1.6	0.1
男性／全体	989	92.8	55.6	10.4	12.7	4.7	0.9	2.7	11.5	2.0	0.2
16～19歳	20	90.0	95.0	15.0	15.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-	-
20～29歳	42	85.7	69.0	-	11.9	-	-	-	4.8	4.8	-
30～39歳	65	81.5	55.4	4.6	13.8	6.2	-	-	6.2	9.2	-
40～49歳	102	94.1	67.6	-	23.5	2.0	-	2.0	-	-	-
50～59歳	129	86.0	57.4	9.3	13.2	1.6	-	-	3.9	0.8	1.6
60～69歳	278	95.7	49.3	13.7	14.0	5.4	1.4	0.7	10.1	1.4	-
70～79歳	299	95.7	52.5	11.7	9.0	7.0	1.3	6.0	22.1	1.7	-
80歳以上	47	95.7	53.2	25.5	4.3	2.1	-	8.5	17.0	4.3	-
女性／全体	1,139	95.9	63.7	5.2	14.1	2.6	0.5	2.2	11.4	1.3	-
16～19歳	31	80.6	93.5	-	22.6	-	3.2	3.2	6.5	9.7	-
20～29歳	63	100.0	87.3	-	15.9	-	-	-	4.8	-	-
30～39歳	104	93.3	69.2	1.9	17.3	5.8	-	-	7.7	3.8	-
40～49歳	162	96.3	67.9	3.1	27.2	-	-	-	3.7	1.2	-
50～59歳	170	94.1	70.6	4.7	27.1	3.5	-	4.7	11.8	1.2	-
60～69歳	269	97.0	60.2	7.4	7.8	1.9	0.4	2.2	10.8	0.7	-
70～79歳	286	96.5	56.6	6.3	4.5	3.8	0.7	2.1	17.5	0.7	-
80歳以上	41	100.0	24.4	14.6	-	4.9	4.9	9.8	19.5	-	-

(注) 集計対象：相談相手が「いる」と回答したもの n=2,137 (P32 参照)。

(43) 気軽に話せる相手の有無

ふだん気軽に話せる相手が「いる」と回答した人の割合は90.5%、「いない」は8.6%となっている。

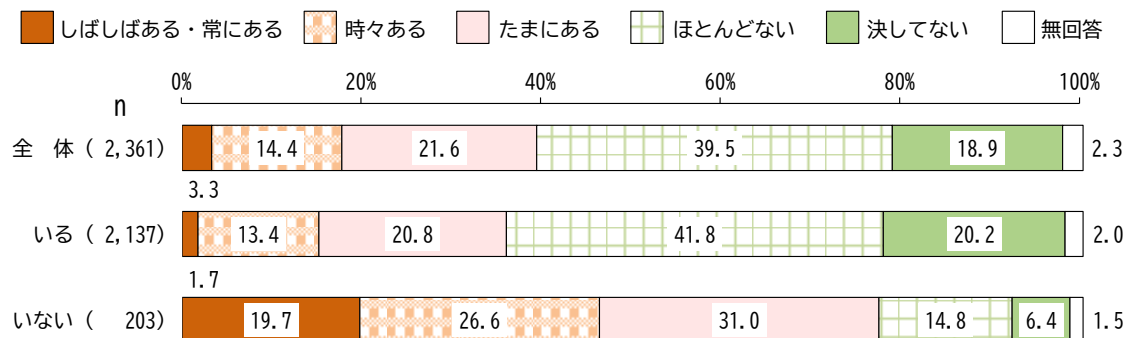
【図 1-47】 気軽に話せる相手の有無



(44) 気軽に話せる相手の有無別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、気軽に話せる相手が「いる」で1.7%、「いない」で19.7%となっている。

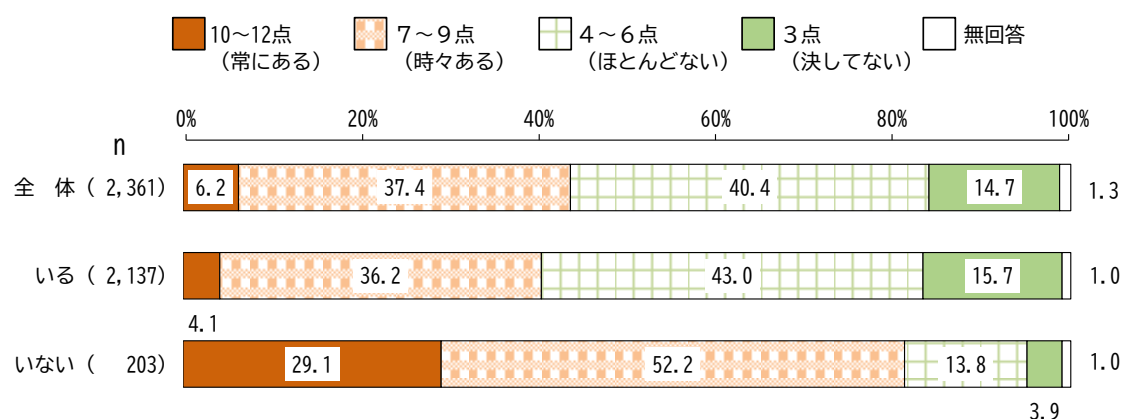
【図 1-48】 気軽に話せる相手の有無別孤独感（直接質問）



(45) 気軽に話せる相手の有無別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、気軽に話せる相手が「いる」で4.1%、「いない」で29.1%となっている。

【図 1-49】 気軽に話せる相手の有無別孤独感（間接質問）



(46) 孤独感（直接質問・間接質問）別不安や悩みを相談することへの感情

不安や悩みを相談することへの感情をみると、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」と回答した割合が 65.0%と最も高く、次いで、「相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる」（56.6%）などとなっている。

「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「たまにある」及び「ほとんどない」で、間接質問による孤独感スコアでは「7～9点（時々ある）」及び「4～6点（ほとんどない）」で高くなっている。

「相談しても無駄である（相談しても解決しない）」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「しばしばある・常にある」、間接質問による孤独感スコアでは「10～12点（常にある）」で高くなっている。

【図 1－50】孤独感（直接質問・間接質問）別不安や悩みを相談することへの感情

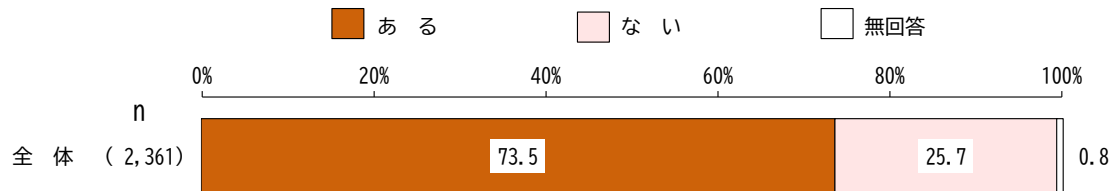
【複数回答】

		【複数回答】									(%)
		n	相談すること または解決の 手掛かりが得 られる	相談すること が楽しくなる	相談すること が面倒である	相談すること が恥ずかしい	相談すると相 手の負担にな る	相談しても無 駄である (相談しても 解決しない)	その他	無回 答	
全 体		2,361	56.6	65.0	6.4	4.0	6.9	6.4	2.8	1.1	
直接質問	しばしばある・常にある	77	33.8	42.9	23.4	10.4	22.1	32.5	9.1	—	
	時々ある	341	41.3	57.2	10.9	6.7	17.0	16.4	1.8	—	
	たまにある	511	53.8	67.5	8.0	6.7	7.2	6.5	1.6	1.2	
	ほとんどない	932	60.9	70.3	4.4	2.5	3.8	2.0	2.1	0.8	
	決してない	446	68.6	59.9	2.2	0.4	2.7	4.0	4.9	1.1	
間接質問	10～12点（常にある）	147	30.6	45.6	19.0	7.5	23.8	28.6	7.5	—	
	7～9点（時々ある）	883	48.5	66.6	9.1	5.5	11.0	6.9	2.2	0.7	
	4～6点（ほとんどない）	954	62.1	67.9	3.8	3.1	2.1	3.4	2.4	0.6	
	3点（決してない）	347	75.2	62.0	2.3	1.2	3.5	4.6	2.3	1.2	

(47) 不安や悩みの有無

不安や悩みが「ある」と回答した人の割合は73.5%、「ない」は25.7%となっている。

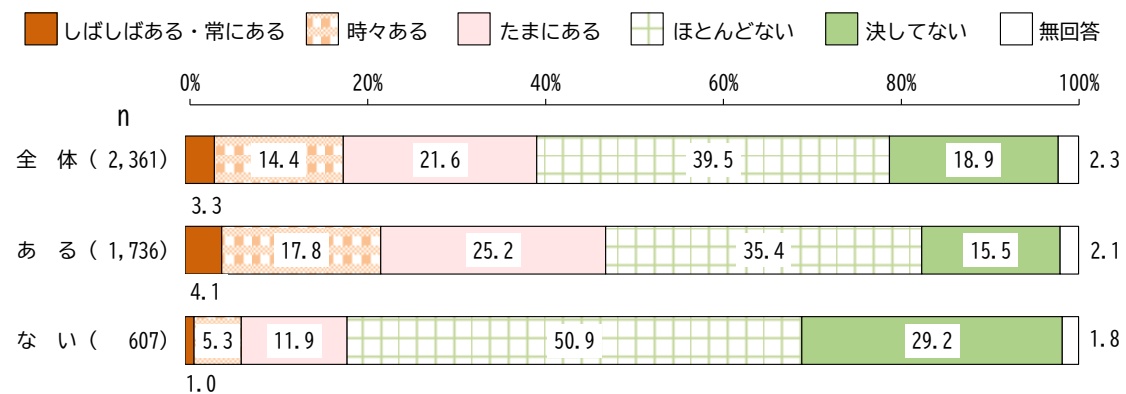
【図 1－51】 不安や悩みの有無



(48) 不安や悩みの有無別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、不安や悩みを感じていることが「ある」で4.1%、「ない」で1.0%となっている。

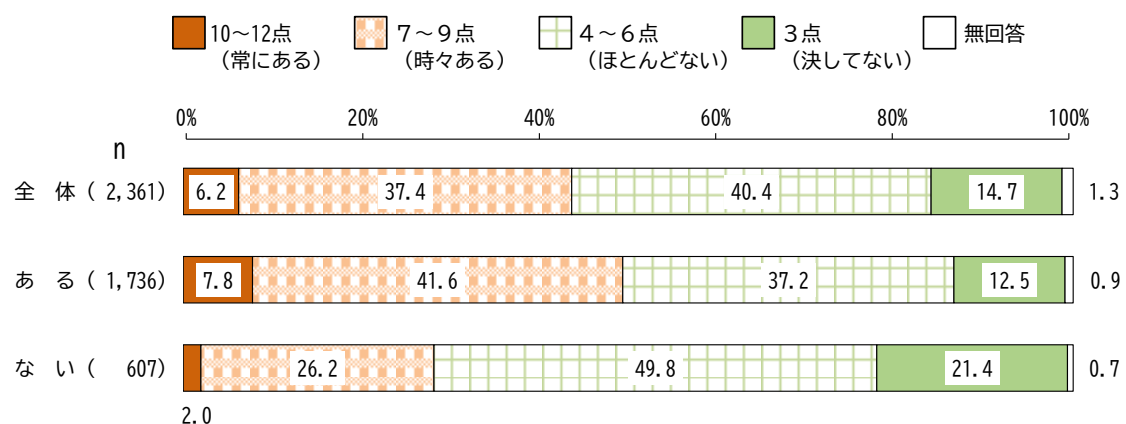
【図 1－52】 不安や悩みの有無別孤独感（直接質問）



(49) 不安や悩みの有無別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、不安や悩みを感じていることが「ある」で7.8%、「ない」で2.0%となっている。

【図 1－53】 不安や悩みの有無別孤独感（間接質問）



(50) 孤独感（直接質問・間接質問）別不安や悩みの内容

不安や悩みの内容は、「自分の健康」と回答した割合が 63.8%と最も高く、次いで、「収入や資産、老後の生活設計」(54.6%)、「家族の健康、介護」(48.7%) などとなっている。

「自分の健康」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「しばしばある・常にある」、「たまにある」及び「ほとんどない」で、間接質問による孤独感スコアでは「7～9点（時々ある）」及び「4～6点（ほとんどない）」で高くなっている。

「収入や資産、老後の生活設計」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「しばしばある・常にある」及び「時々ある」で、間接質問による孤独感スコアでは「10～12点（常にある）」及び「7～9点（時々ある）」で高くなっている。

「家族の健康、介護」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「ほとんどない」で、間接質問による孤独感スコアでは「7～9点（時々ある）」及び「4～6点（ほとんどない）」で高くなっている。

【図 1－54】孤独感（直接質問・間接質問）別不安や悩みの内容【複数回答】

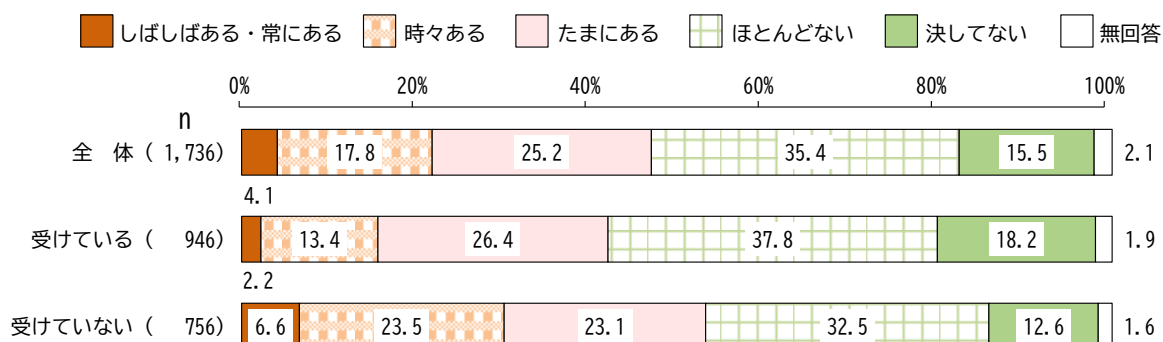
(%)																	
		n	自分の健康	家族の健康、介護	住まい	進学・就職・転職など、進路やキャリア上の問題	結婚・子育てなど、生活上の問題	収入や資産、老後の生活設計	家族・親族間の人間関係	近隣・地域との関係	学校や勤務先での人間関係	事業や家業の経営上の問題	金銭トラブル	自然災害や事故、事件などの被害	恋愛・性関係	その他	無回答
全 体		1,736	63.8	48.7	21.0	12.4	15.5	54.6	16.1	5.1	9.2	6.9	2.2	7.5	3.2	4.6	0.8
直接質問	しばしばある・常にある	71	67.6	43.7	45.1	35.2	16.9	76.1	40.8	11.3	18.3	5.6	7.0	22.5	9.9	23.9	-
	時々ある	309	60.2	48.5	25.9	16.5	15.9	61.5	25.9	8.7	16.2	7.8	2.6	9.1	5.2	4.9	1.0
	たまにある	437	65.4	45.3	23.8	10.8	18.5	54.2	18.8	4.6	8.5	6.2	1.8	6.6	4.6	2.3	2.1
	ほとんどない	614	65.5	53.6	17.8	10.4	14.0	52.0	9.0	3.9	6.8	7.2	1.5	6.4	0.7	3.7	0.3
	決してない	269	58.0	42.8	13.8	10.0	14.5	49.1	11.2	3.0	5.9	7.4	2.2	5.2	3.0	5.2	-
間接質問	10～12点（常にある）	135	54.8	41.5	31.9	22.2	15.6	60.7	26.7	7.4	17.8	5.9	4.4	12.6	6.7	14.8	0.7
	7～9点（時々ある）	722	65.9	51.1	23.7	13.9	17.5	58.2	19.8	5.7	9.4	6.8	2.2	8.3	3.6	4.0	1.0
	4～6点（ほとんどない）	646	63.9	49.2	18.1	9.1	12.8	52.8	11.3	4.2	7.3	7.6	1.7	5.7	1.5	2.8	0.6
	3点（決してない）	217	61.3	42.9	14.3	11.5	16.1	45.2	12.0	4.1	8.3	5.1	1.4	6.5	4.6	5.5	0.9

(注) 集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したもの n=1,736 (P36 参照)。

(51) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、家族・友人等からの手助けを「受けている」で2.2%、「受けていない」で6.6%となっている。

【図 1－55】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別孤独感（直接質問）

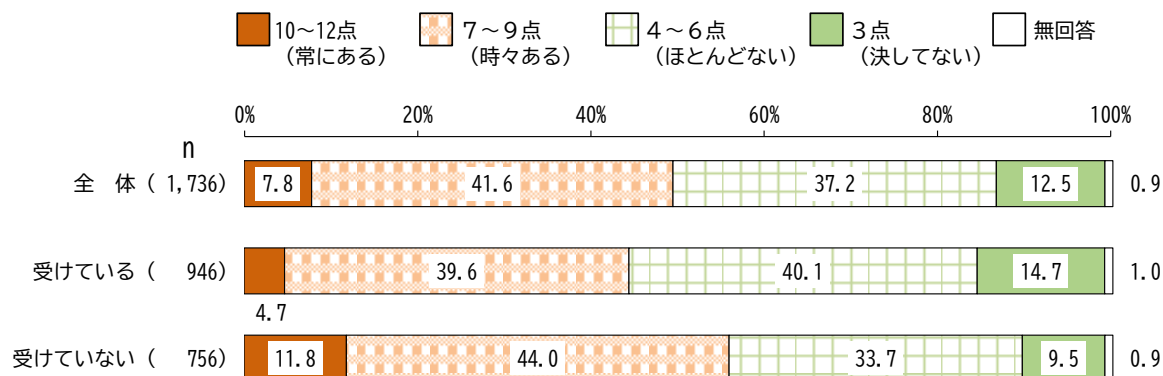


（注）集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したもの n=1,736（P36 参照）。

(52) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、家族・友人等からの手助けを「受けている」で4.7%、「受けていない」で11.8%となっている。

【図 1－56】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別孤独感（間接質問）

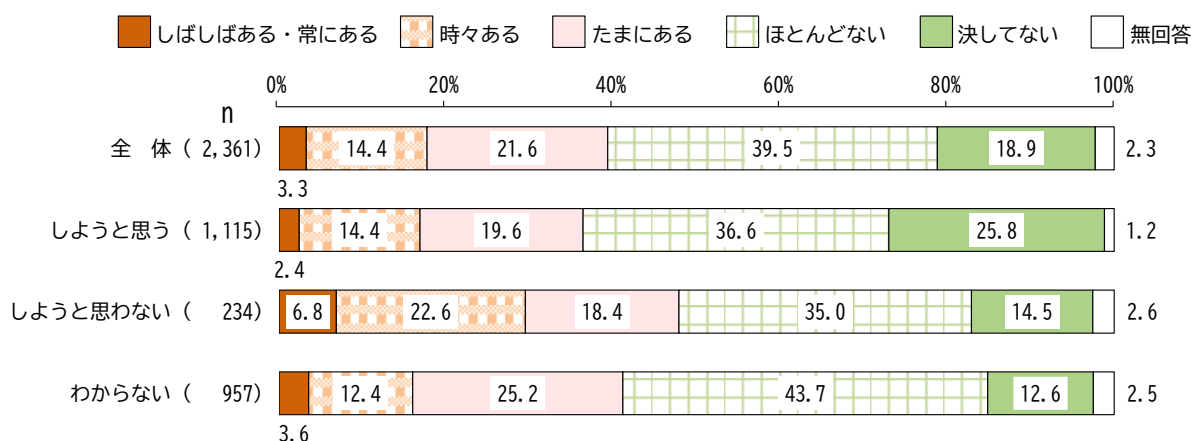


（注）集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したもの n=1,736（P36 参照）。

(53) 他者へのサポート意識別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、手助けを「しようと思う」で2.4%、「しようと思わない」で6.8%となっている。

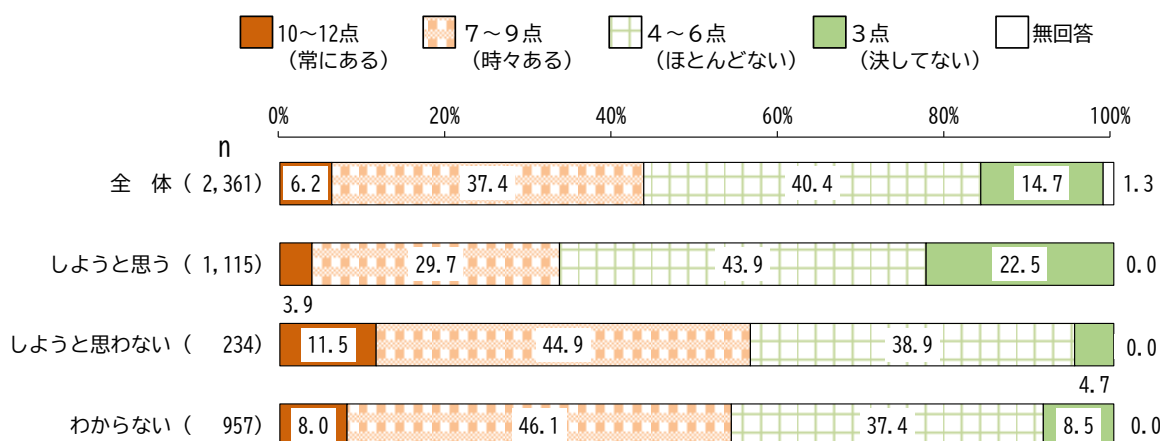
【図 1－57】 他者へのサポート意識別孤独感（直接質問）



(54) 他者へのサポート意識別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、手助けを「しようと思う」で3.9%、「しようと思わない」で11.5%となっている。

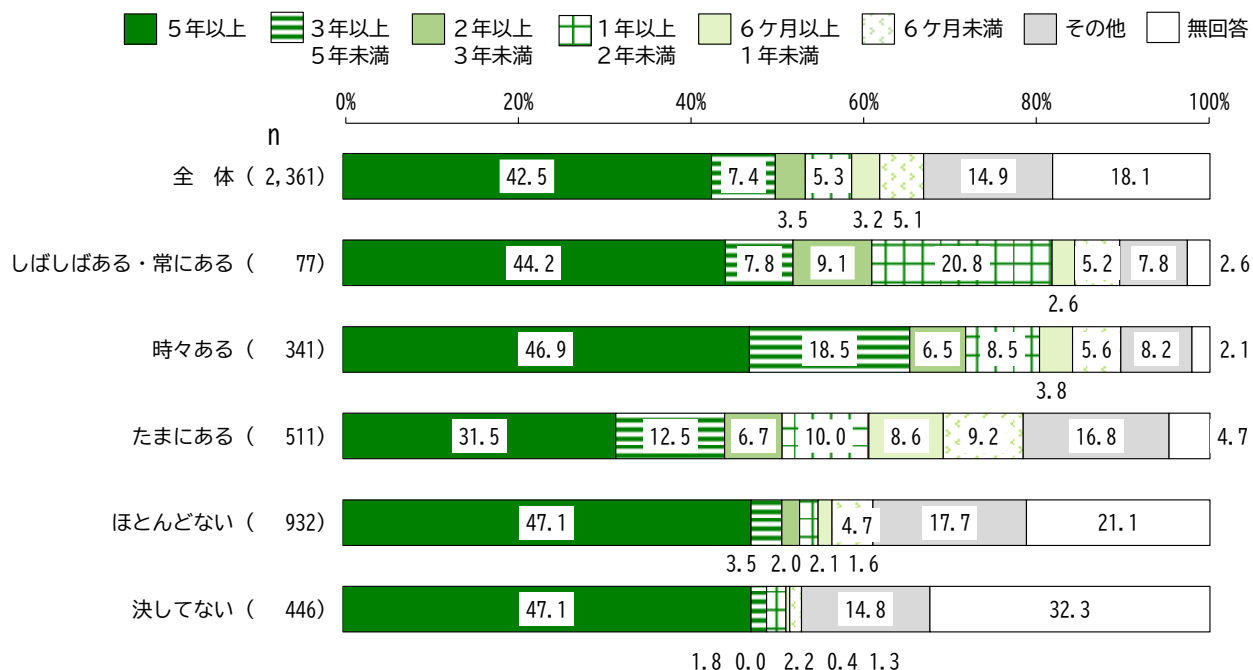
【図 1－58】 他者へのサポート意識別孤独感（間接質問）



(55) 孤独感（直接質問）別現在の孤独感の継続期間

現在の孤独感の継続期間をみると、全体的に「5年以上」と回答した割合が高く、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人では44.2%となっている。

【図1-59】孤独感（直接質問）別現在の孤独感の継続期間

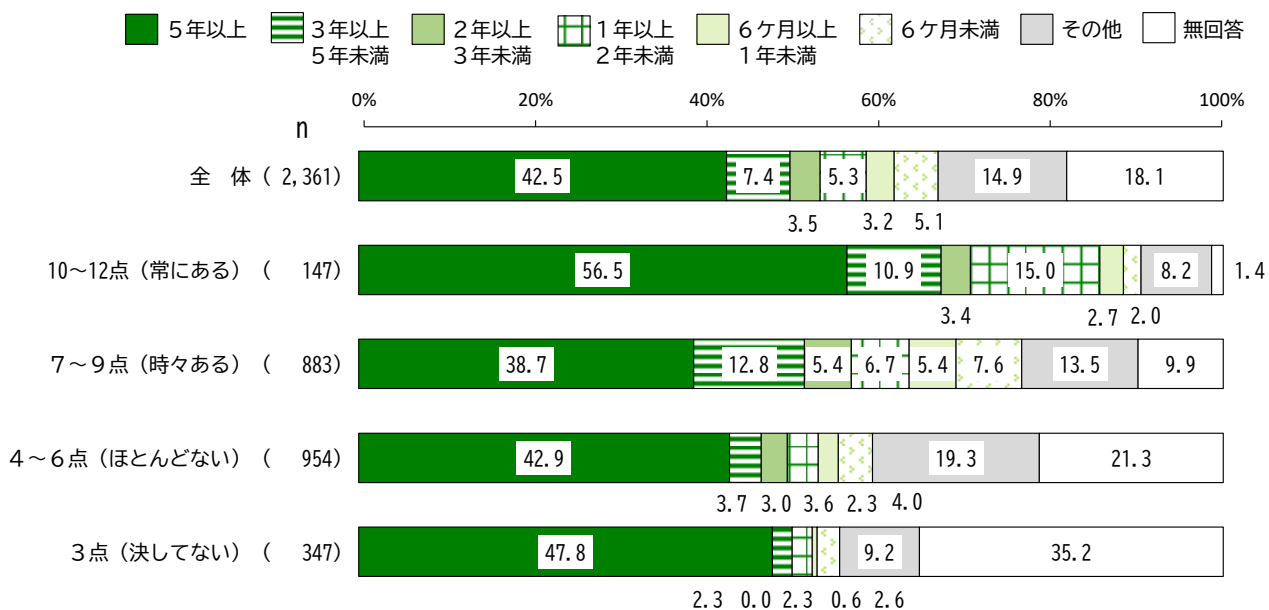


(注) 調査票 問 28 (あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。) への回答に関し、その状況がどの程度前から続いているのか、全ての回答者を対象として尋ねたもの (P86 参照)。

(56) 孤独感（間接質問）別現在の孤独感の継続期間

現在の孤独感の継続期間をみると、全体的に「5年以上」と回答した割合が高く、孤独感スコアが「10～12点 (常にある)」という人では56.5%となっている。

【図1-60】孤独感（間接質問）別現在の孤独感の継続期間



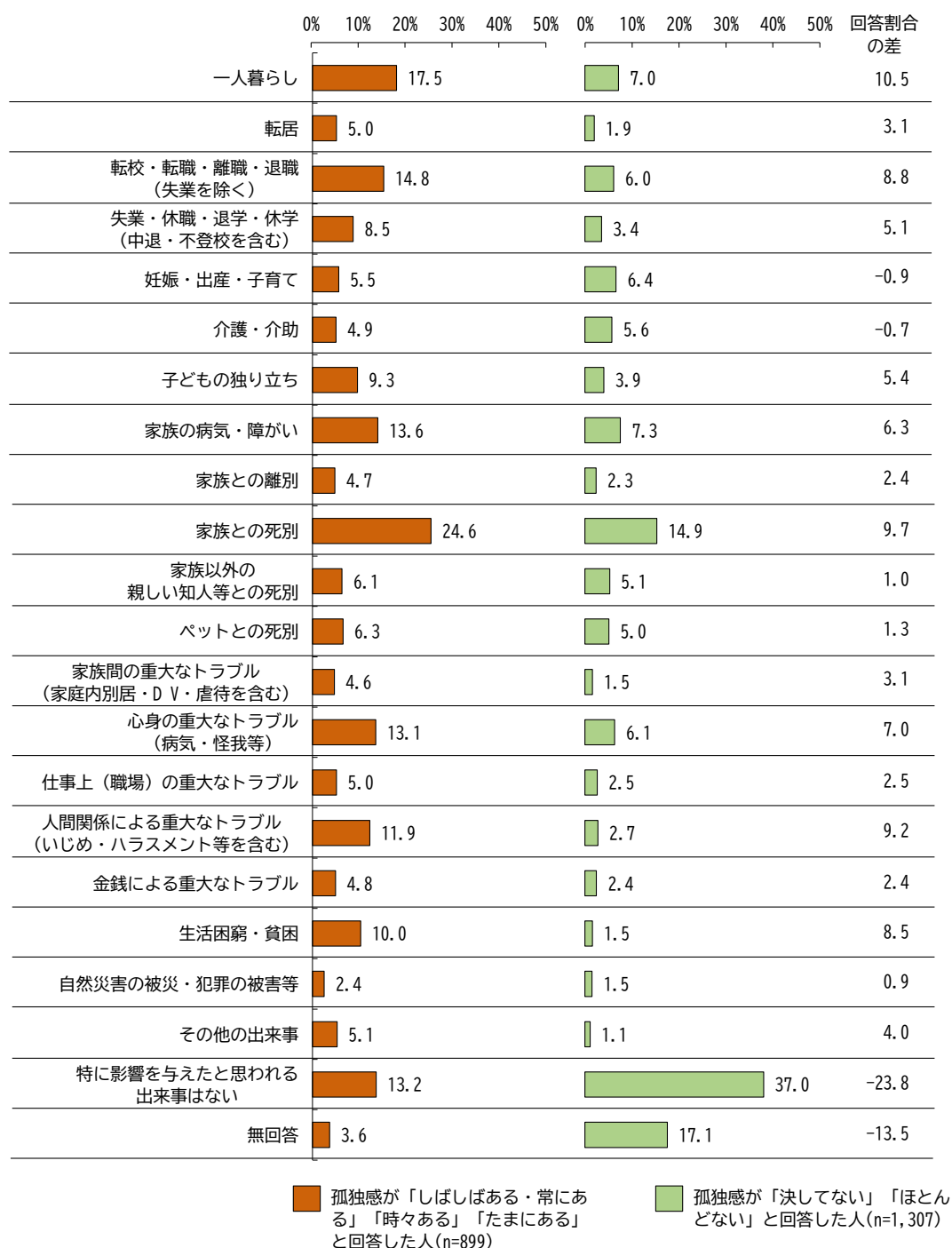
(注) 調査票 問 28 (あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。) への回答に関し、その状況がどの程度前から続いているのか、全ての回答者を対象として尋ねたもの (P86 参照)。

(57) 孤独感（直接質問／2区分）別孤独感に影響を与えたと思う出来事

孤独感が「しばしばある・常にある」、「時々ある」又は「たまにある」と回答した人では、「家族との死別」と回答した割合が24.6%と最も高く、次いで、「一人暮らし」が17.5%などとなっている。

孤独感が「決してない」又は「ほとんどない」と回答した人で、現在の孤独感に影響を与えたと思う出来事の回答割合の差をみると、「一人暮らし」が最も大きく、次いで、「家族との死別」、「人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）」、「転校・転職・離職・退職（失業を除く）」などとなっている。

【図1-61】孤独感（直接質問／2区分）別孤独感に影響を与えたと思う出来事【複数回答】



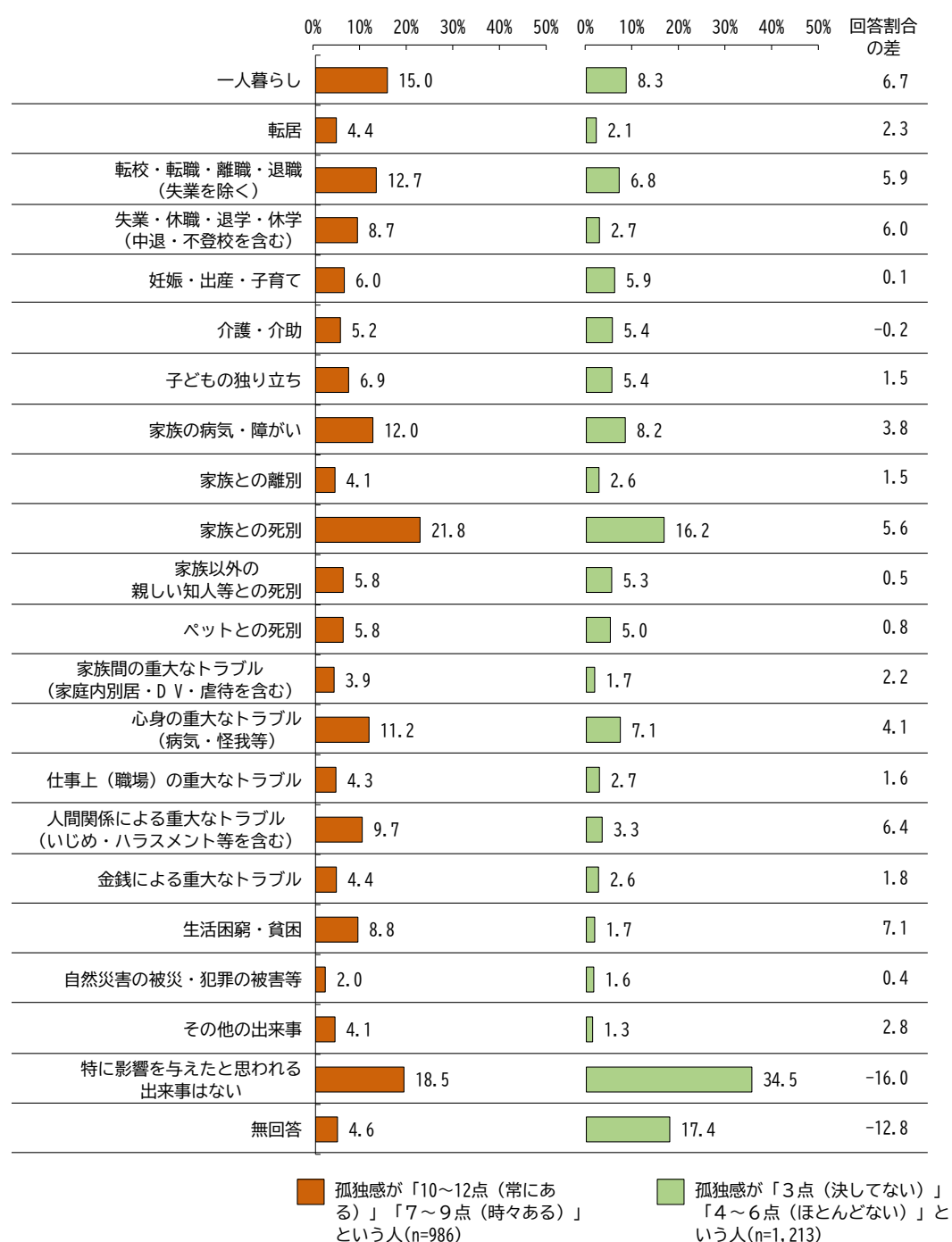
(注) 集計対象：これまでに経験したライフイベントで「いずれもない」以外を1つ以上回答したもの
n=2,224 (P86 問30 参照)。

(58) 孤独感（間接質問／2区分）別孤独感に影響を与えたと思う出来事

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」又は「7～9点（時々ある）」という人では、「家族との死別」と回答した割合が21.8%と最も高く、次いで、「一人暮らし」（15.0%）などとなっている。

孤独感スコアが「3点（決してない）」又は「4～6点（ほとんどない）」という人で、現在の孤独感に影響を与えたと思う出来事の回答割合の差をみると、「生活困窮・貧困」が最も大きく、次いで、「一人暮らし」、「人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）」、「失業・休職・退学・休学（中退・不登校を含む）」、「転校・転職・離職・退職（失業を除く）」などとなっている。

【図1-62】孤独感（間接質問／2区分）別孤独感に影響を与えたと思う出来事【複数回答】

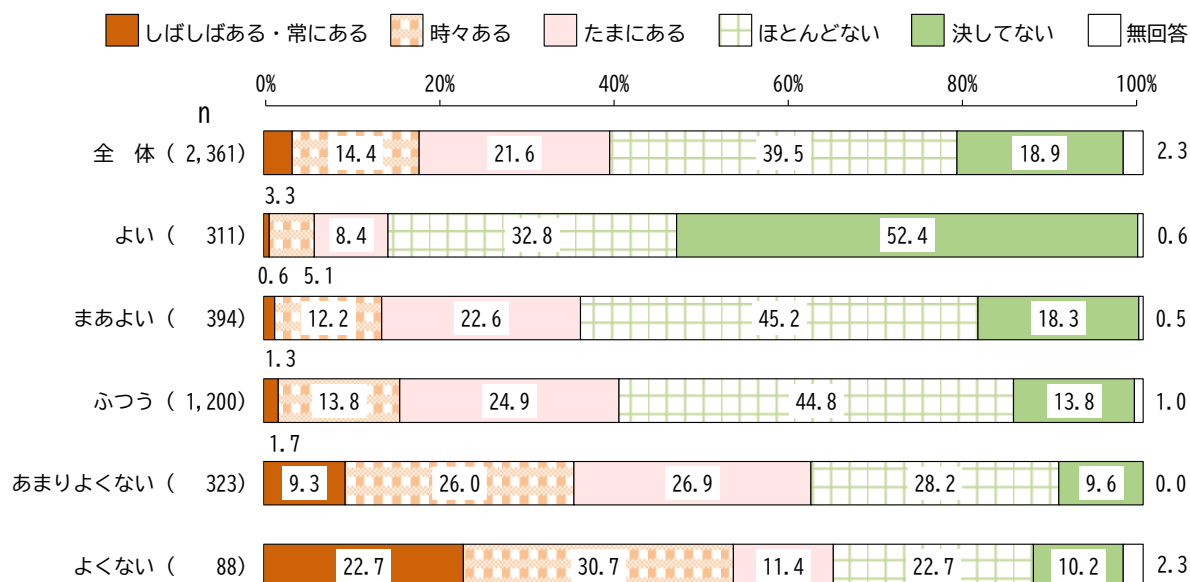


(注) 集計対象：これまでに経験したライフイベントで「いずれもない」以外を1つ以上回答したもの
n=2,224 (P86 問30 参照)。

(59) 心身の健康状態別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、心身の健康状態が「よくない」及び「あまりよくない」で高くなっている。

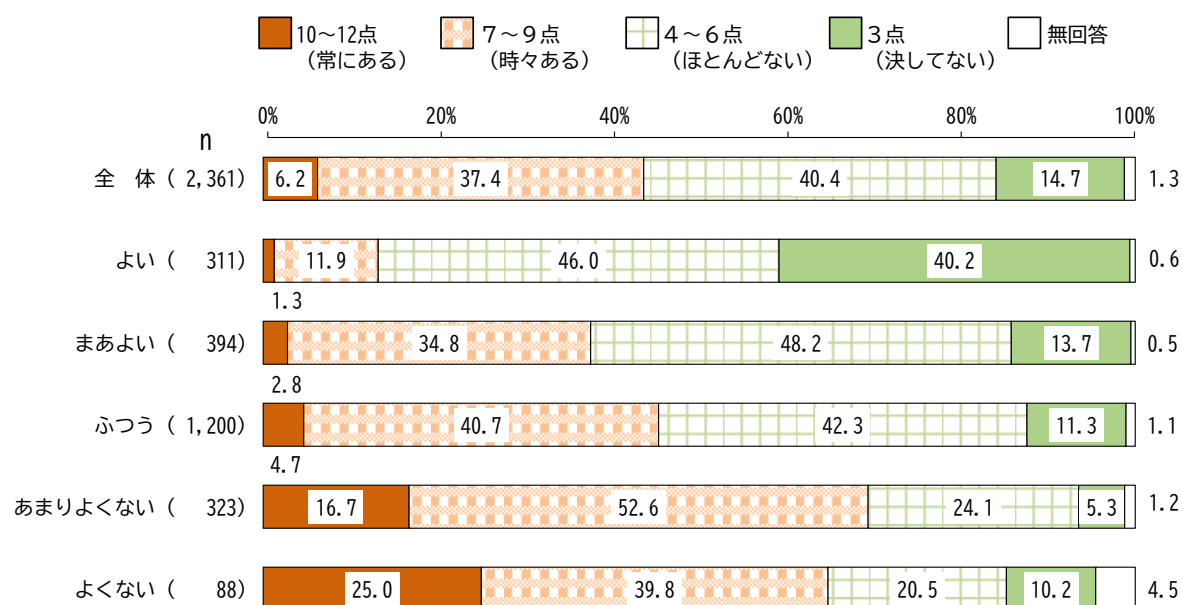
【図 1－63】心身の健康状態別孤独感（直接質問）



(60) 心身の健康状態別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、心身の健康状態が「よくない」及び「あまりよくない」で高くなっている。

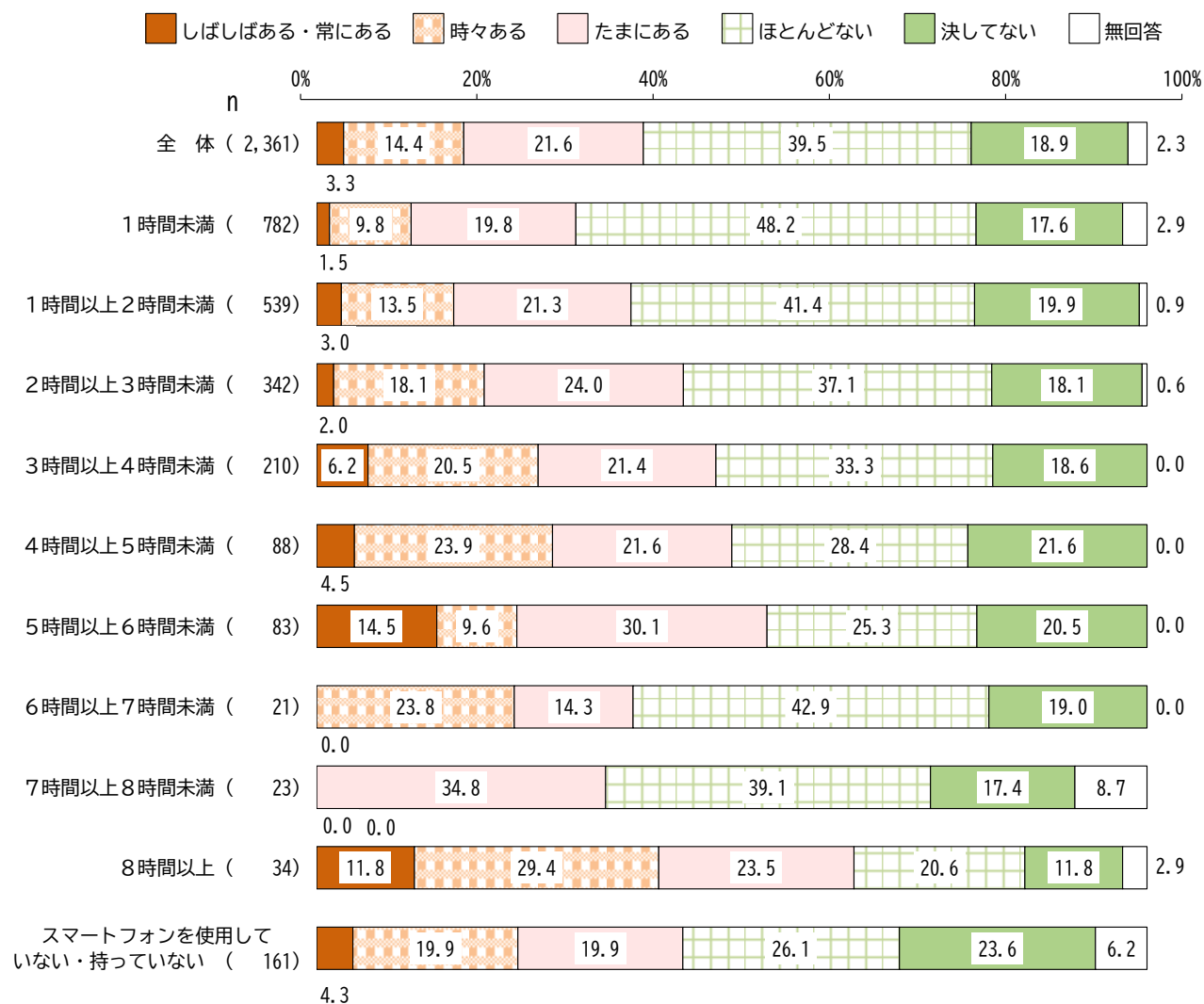
【図 1－64】心身の健康状態別孤独感（間接質問）



(61) スマートフォンの使用時間（画面を見る時間）別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「3時間以上4時間未満」、
「5時間以上6時間未満」及び「8時間以上」で高くなっている。

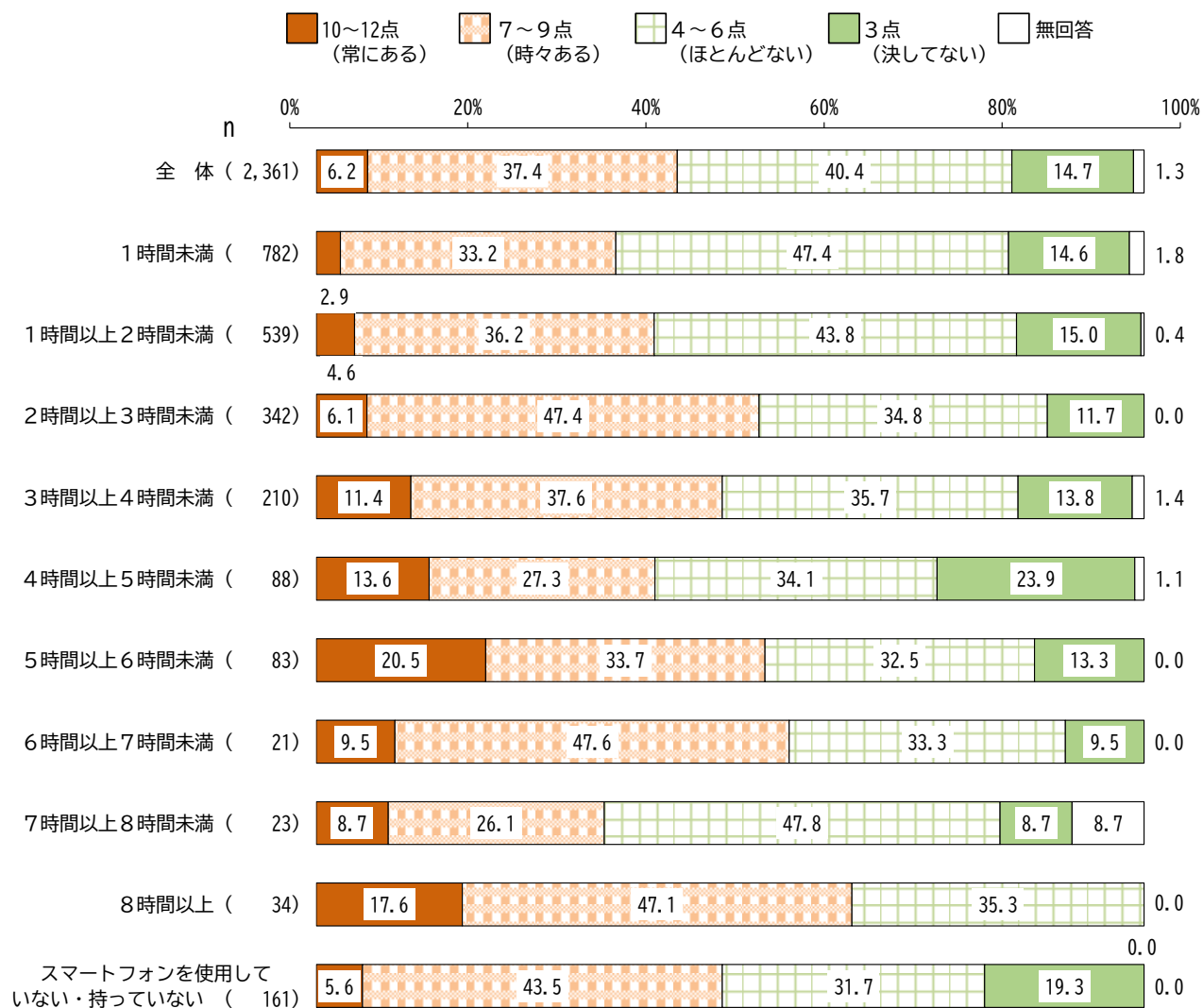
【図1-65】スマートフォンの使用時間（画面を見る時間）別孤独感（直接質問）



(62) スマートフォンの使用時間（画面を見る時間）別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「3時間以上4時間未満」、「4時間以上5時間未満」、「5時間以上6時間未満」、「6時間以上7時間未満」、「7時間以上8時間未満」及び「8時間以上」で高くなっている。

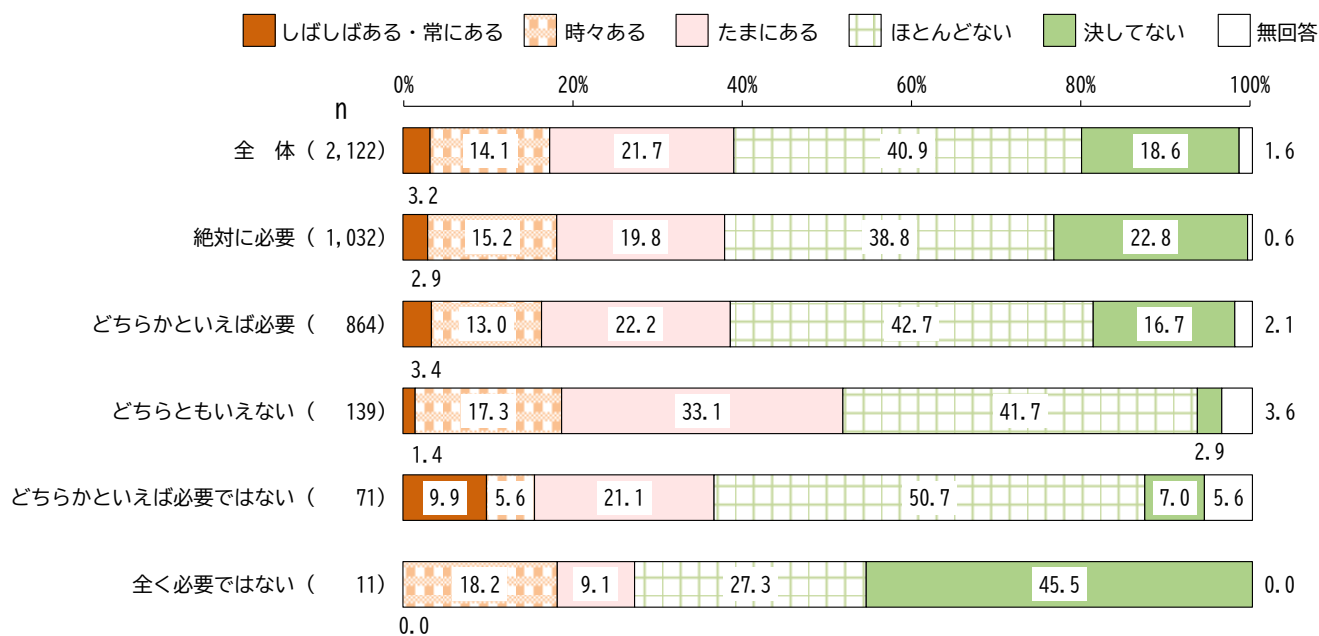
【図 1－66】 スマートフォンの使用時間（画面を見る時間）別孤独感（間接質問）



(63) 生活を送るうえでのスマートフォンの必要性別孤独感（直接質問）

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「どちらかといえば必要ではない」で高くなっている。一方、孤独感が「決してない」と回答した人の割合は、「絶対に必要」で高くなっている。

【図 1－67】 生活を送るうえでのスマートフォンの必要性別孤独感（直接質問）



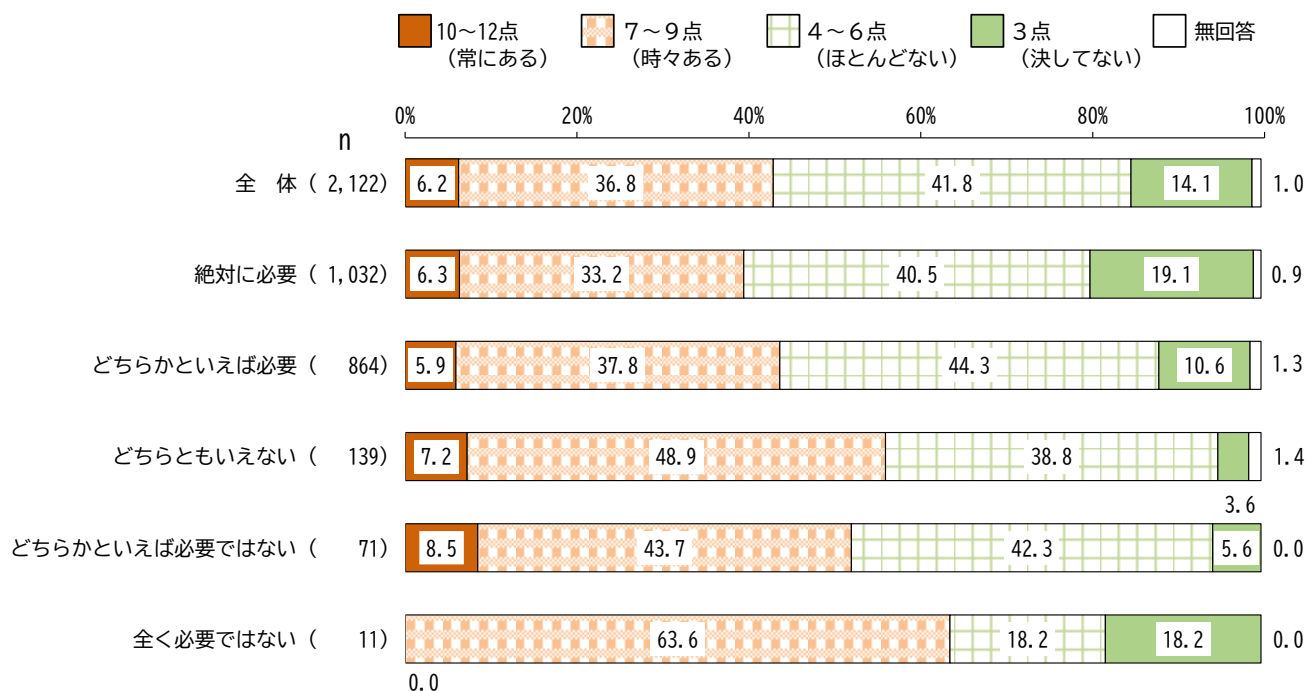
(注 1) 集計対象：スマートフォンの使用時間（画面を見る時間）を回答したもの n=2,122 (P44 参照)。

(注 2) 「全く必要ではない」については、回答者数が些少のため、参考値。

(64) 生活を送るうえでのスマートフォンの必要性別孤独感（間接質問）

孤独感スコアが「10～12点（常にある）」という人の割合は、「どちらかといえば必要ではない」及び「どちらともいえない」で高くなっている。一方、孤独感スコアが「3点（決してない）」という人の割合は、「絶対に必要」で高くなっている。

【図 1－68】生活を送るうえでのスマートフォンの必要性別孤独感（間接質問）



（注 1）集計対象：スマートフォンの使用時間（画面を見る時間）を回答したもの n=2,122（P45 参照）。

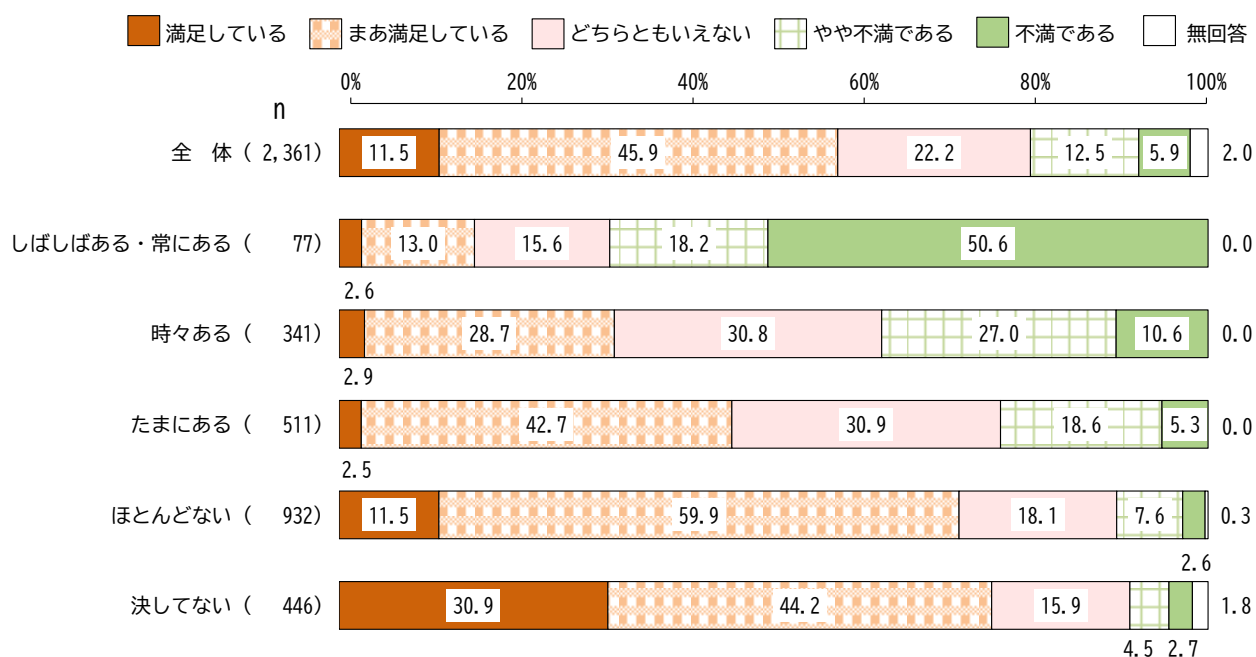
（注 2）「全く必要ではない」については、回答者数が些少のため、参考値。

(65) 孤独感（直接質問）別生活満足度

現在の生活に「満足している」と回答した人の割合は11.5%、「まあ満足している」が45.9%となっている。一方、「不満である」と回答した人の割合は5.9%、「やや不満である」が12.5%となっている。

現在の生活に「満足している」と回答した人の割合は、孤独感が「決してない」及び「ほとんどない」で高くなっている。一方、「不満である」と回答した人の割合は、孤独感が「しばしばある・常にある」及び「時々ある」で高くなっている。

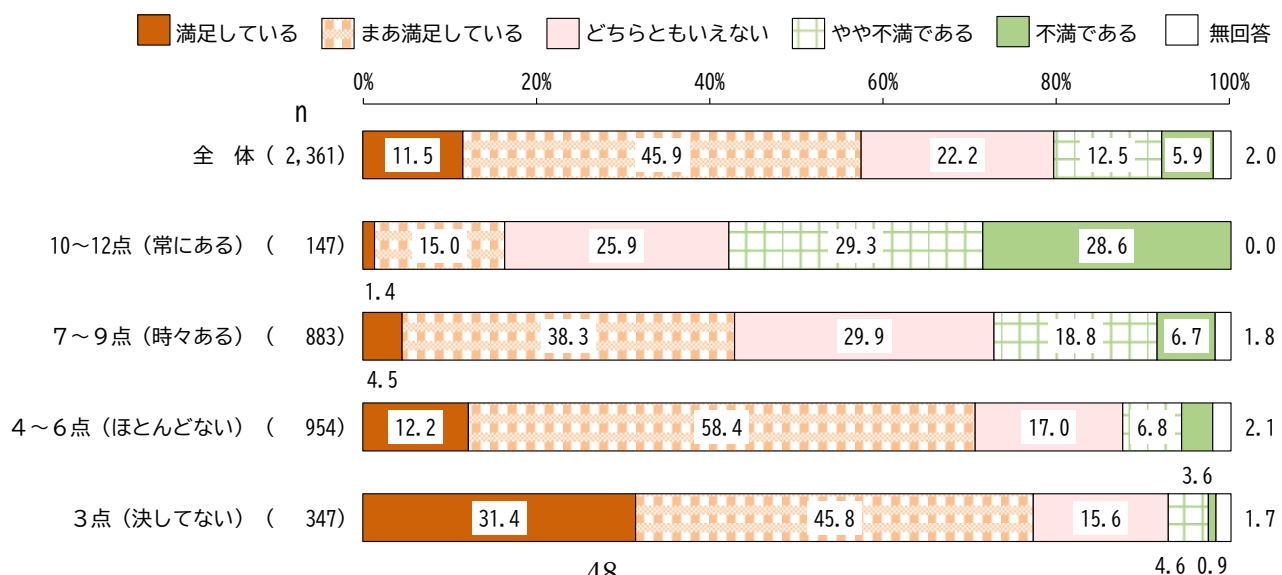
【図1-69】孤独感（直接質問）別生活満足度



(66) 孤独感（間接質問）別生活満足度

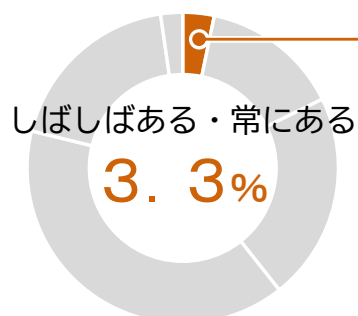
現在の生活に「満足している」と回答した人の割合は、孤独感スコアが「3点（決してない）」及び「4～6点（ほとんどない）」で高くなっている。一方、「不満である」と回答した人の割合は、孤独感スコアが「10～12点（常にある）」及び「7～9点（時々ある）」で高くなっている。

【図1-70】孤独感（間接質問）別生活満足度



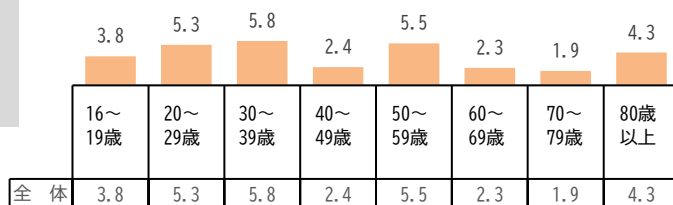
【参考】孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合に関する主な属性別結果

あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

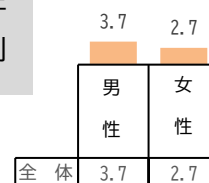


しばしばある・常にある	3.3%
時々ある	14.4%
たまにある	21.6%
ほとんどない	39.5%
決していない	18.9%
無回答	2.3%

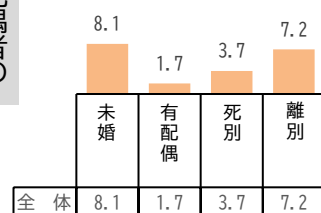
年
齢



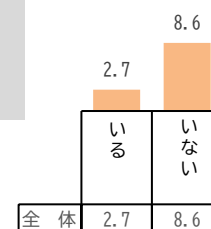
性
別



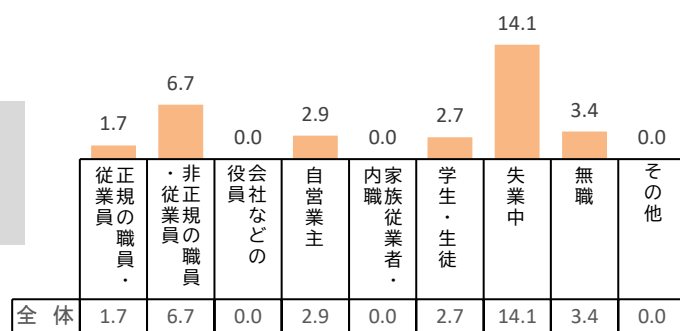
配偶者の
有無



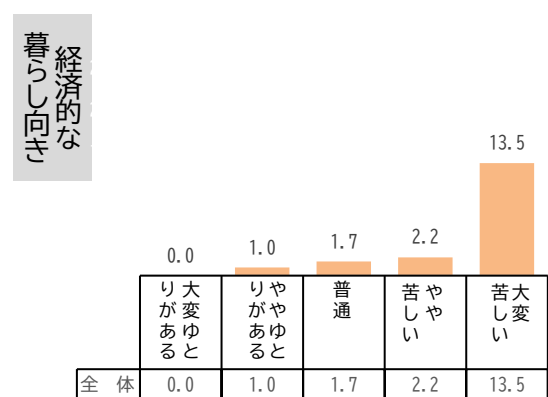
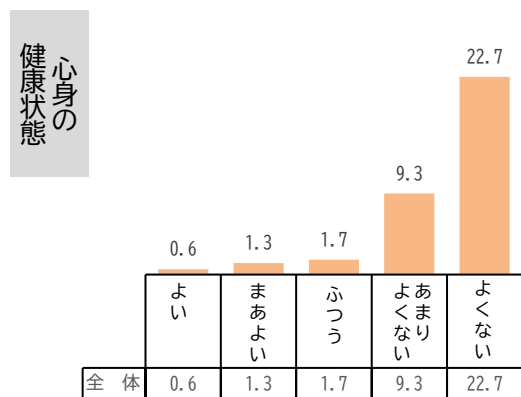
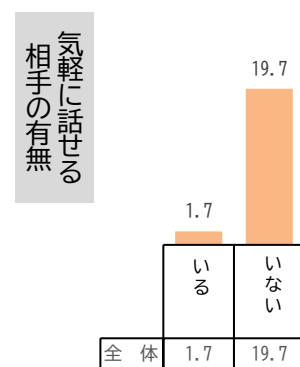
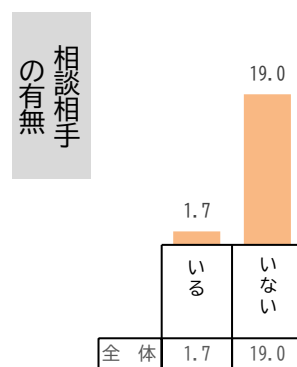
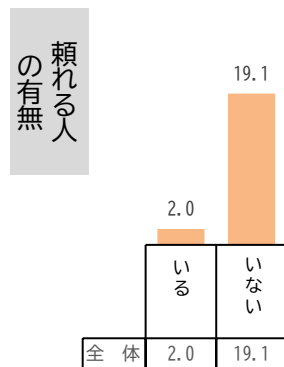
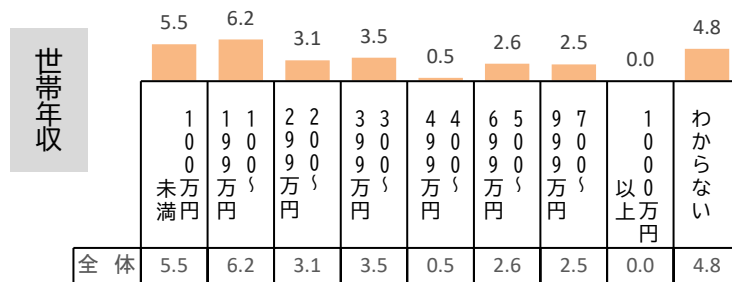
同居人



仕
事



【参考】孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合に関する主な属性別結果（続き）



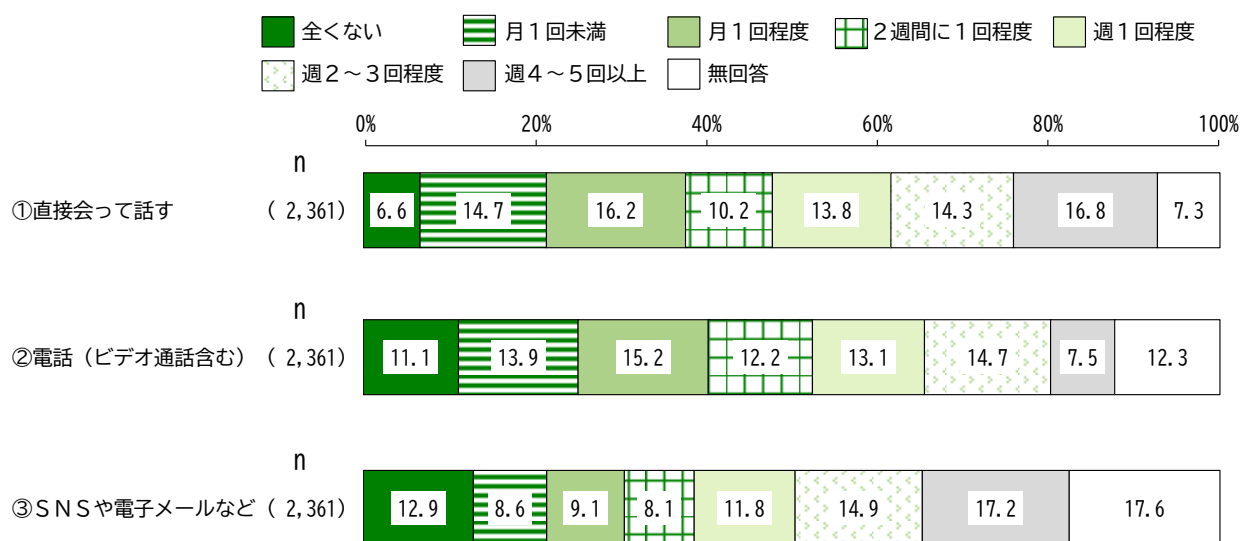
2 孤立の状況

本調査では、社会的交流（家族・友人等との接触状況等）、社会参加、社会的サポート（他者からの支援／他者への手助け）の状況から孤立の状態を把握した。

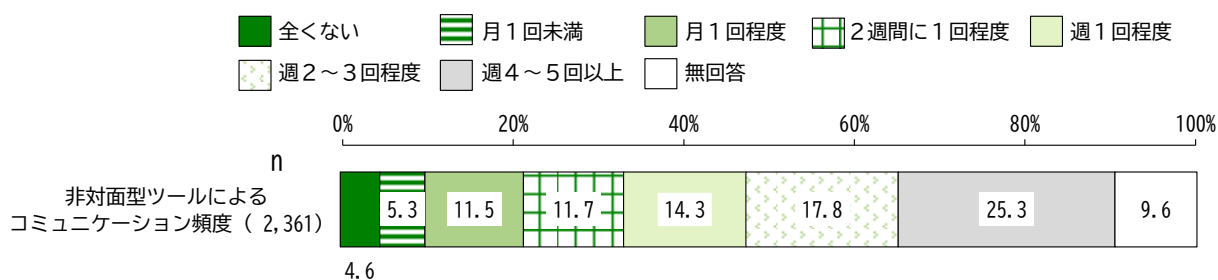
(1) 同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度（社会的交流）

コミュニケーション頻度が「全くない」と回答した人の割合は、「直接会って話す」で6.6%、「電話（ビデオ通話含む）」で11.1%、「SNS や電子メールなど」で12.9%となっている。

【図2-1】同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度



【図2-1 参考】同居していない家族や友人たちとの非対面型ツールによるコミュニケーション頻度



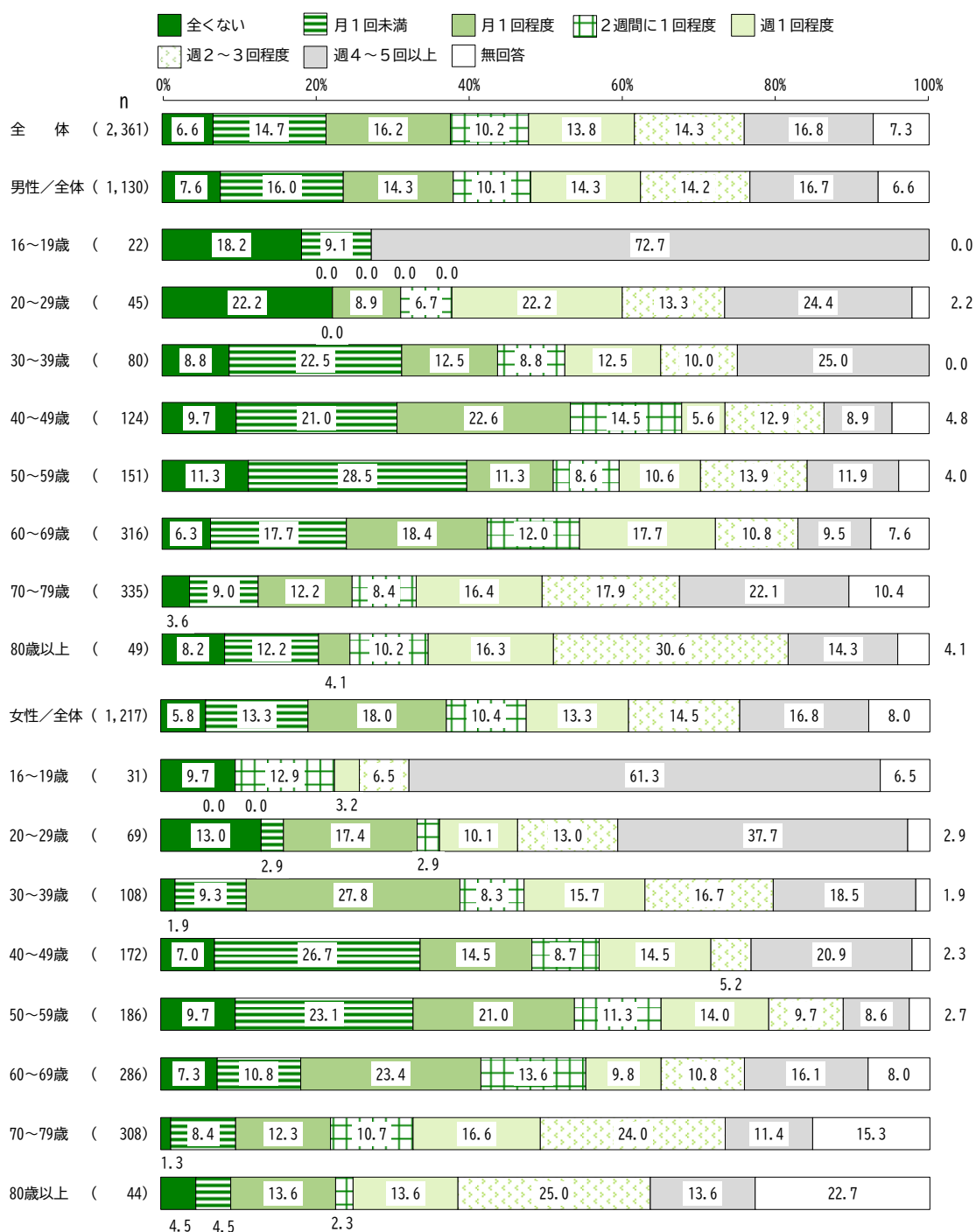
(注)「電話（ビデオ通話含む）」と「SNS や電子メールなど」へのそれぞれの回答を合算し、非対面型ツールの交流頻度として組み替えたもの。

(2) 男女、年齢階級別同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度（社会的交流）

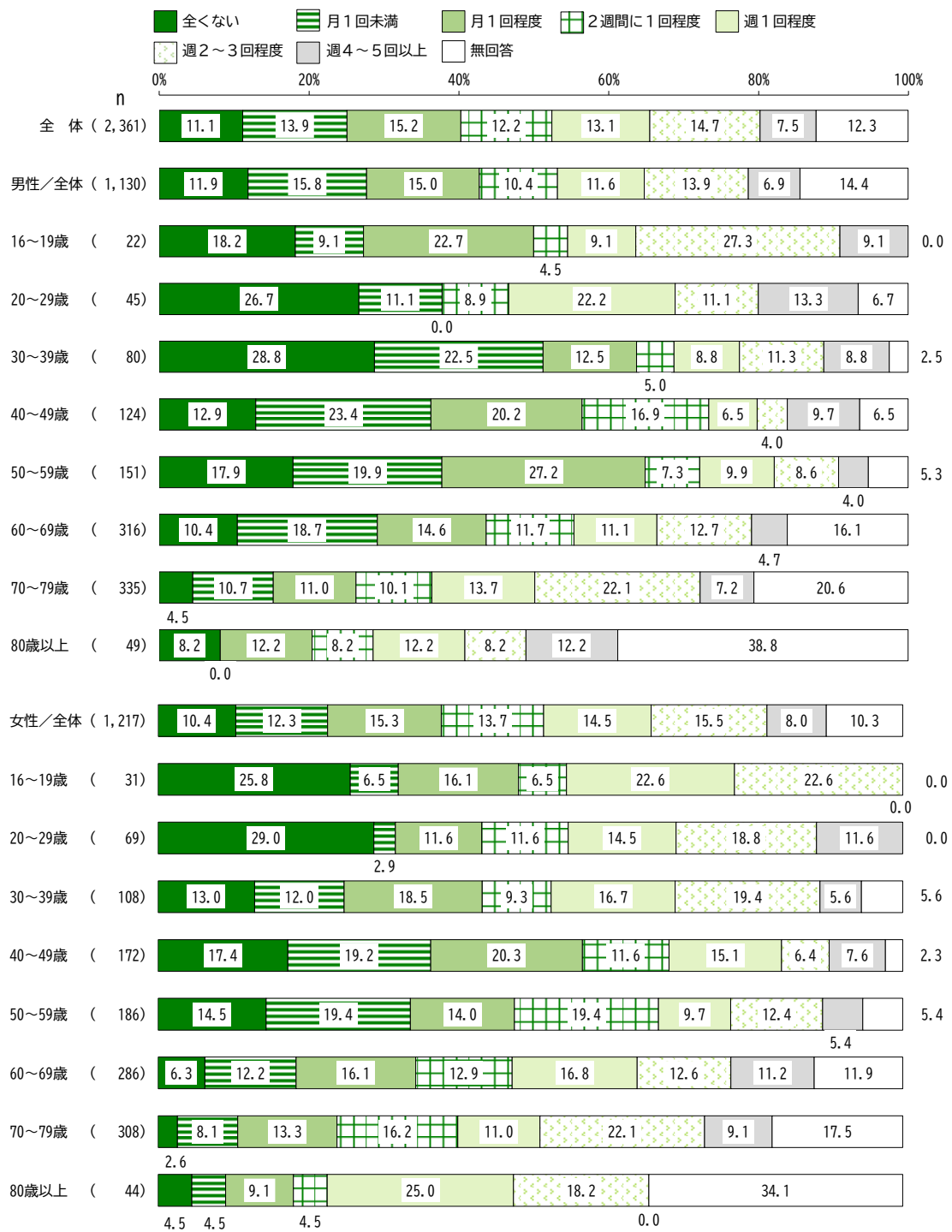
「図2-2」から「図2-4」までは、コミュニケーション手段、男女、年齢階級別の同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度を示している。

コミュニケーション頻度が「全くない」と回答した人の割合をみると、コミュニケーション手段「直接会って話す」では、男性の16～19歳及び20歳代、女性の16～19歳、20歳代及び50歳代で、「電話（ビデオ通話含む）」では、男性の20歳代及び30歳代、女性の16～19歳及び20歳代で、「SNSや電子メールなど」では、男性の30歳代、70歳代及び80歳以上、女性の70歳代及び80歳以上で高くなっている。

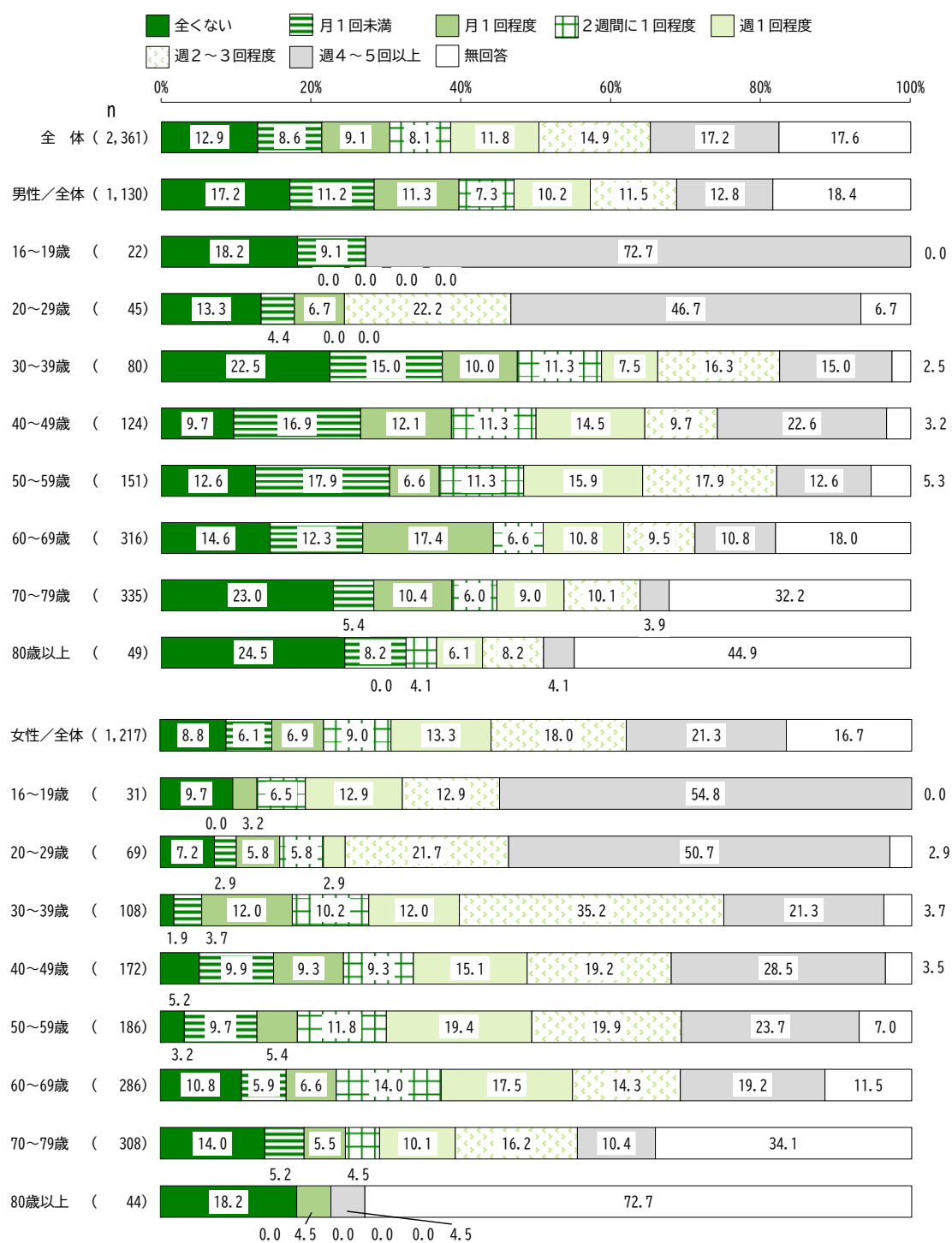
【図2-2】男女、年齢階級別「直接会って話す」頻度



【図 2－3】男女、年齢階級別「電話（ビデオ通話含む）する」頻度



【図 2－4】男女、年齢階級別「SNS や電子メールなどをする」頻度

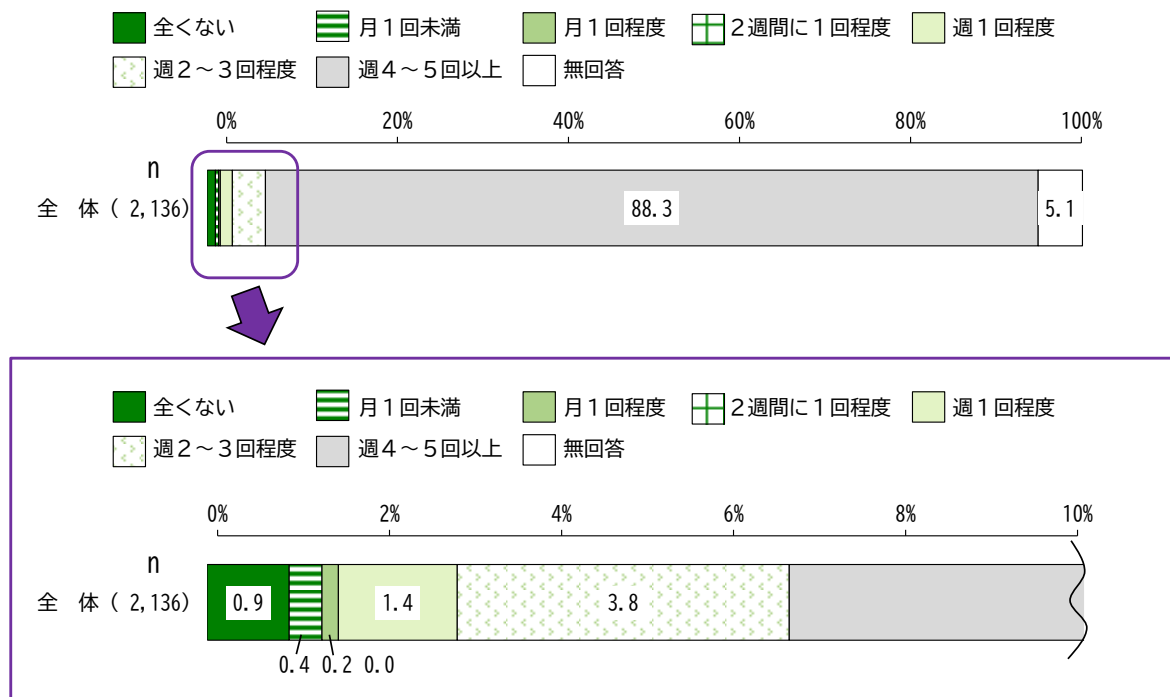


(3) 同居している人たちとの直接会話によるコミュニケーション頻度（社会的交流）

同居している人たちと直接会って話す頻度は、「週4～5回以上」と回答した人の割合が88.3%となっている。

直接会って話す頻度が「全くない」と回答した人の割合は、0.9%となっている。

【図2-5】同居している人たちとの直接会話によるコミュニケーション頻度



(注) 集計対象：同居人がいると判定したもの n=2,136 (P14～P15 参照)。

(4) 男女、年齢階級別同居している人たちとのコミュニケーション頻度（社会的交流）

同居している人たちと直接会って話す頻度が「全くない」と回答した人の割合は、男性が1.5%、女性が0.3%となっている。

【図2－6】男女、年齢階級別同居している人たちとの直接会話による
コミュニケーション頻度

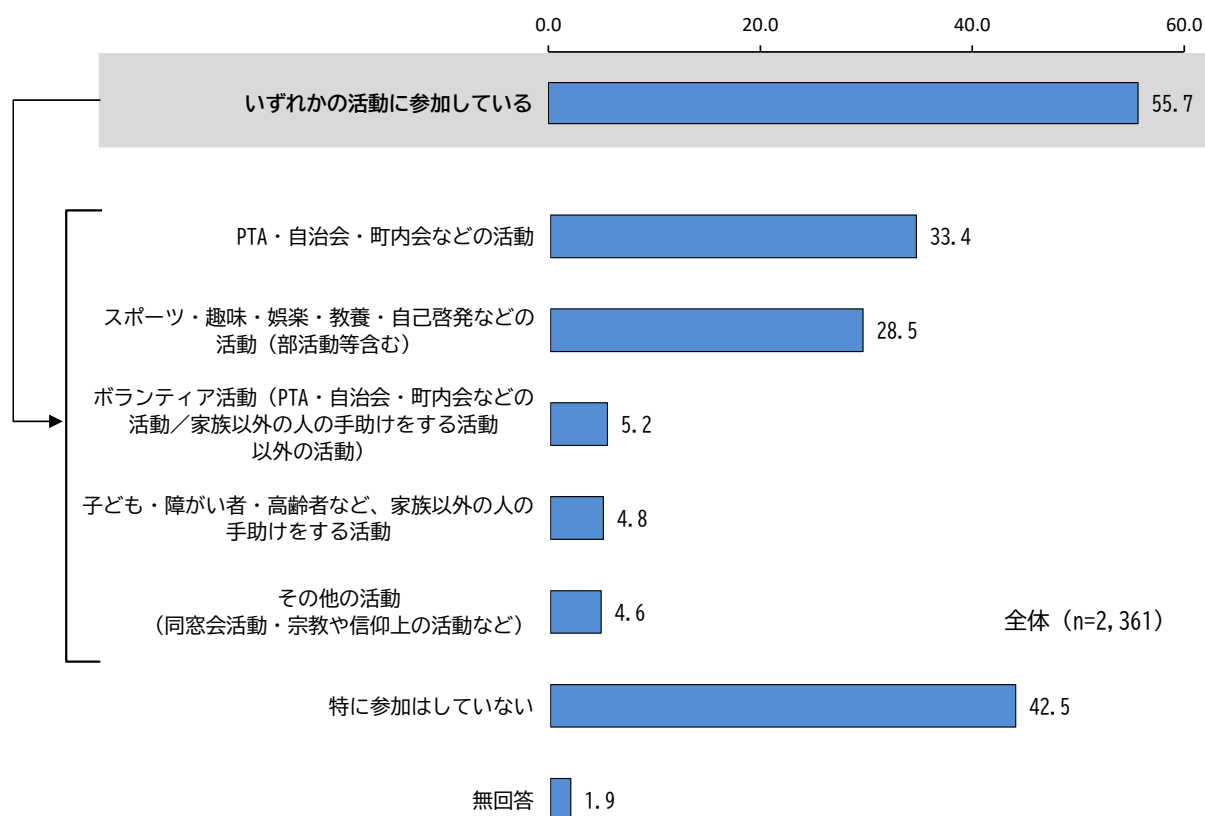
		(%)							
	n	全くない	月1回未満	月1回程度	2週間に1回程度	週1回程度	週2～3回程度	週4～5回以上	無回答
全 体	2,136	0.9	0.4	0.2	-	1.4	3.8	88.3	5.1
男性／全体	1,006	1.5	0.8	0.4	-	1.5	4.4	86.2	5.3
16～19歳	22	9.1	-	-	-	-	-	90.9	-
20～29歳	40	-	-	-	-	-	5.0	95.0	-
30～39歳	80	-	2.5	-	-	-	5.0	92.5	-
40～49歳	118	1.7	1.7	-	-	0.8	2.5	89.8	3.4
50～59歳	139	0.7	2.9	-	-	2.9	2.9	87.8	2.9
60～69歳	277	2.2	-	1.4	-	1.4	5.8	83.8	5.4
70～79歳	284	1.4	-	-	-	1.4	3.2	84.9	9.2
80歳以上	39	-	-	-	-	5.1	12.8	76.9	5.1
女性／全体	1,117	0.3	-	-	-	1.3	3.3	90.2	4.9
16～19歳	27	-	-	-	-	-	-	100.0	-
20～29歳	60	-	-	-	-	3.3	3.3	93.3	-
30～39歳	106	-	-	-	-	2.8	1.9	95.3	-
40～49歳	164	1.2	-	-	-	-	3.7	93.9	1.2
50～59歳	168	0.6	-	-	-	1.2	3.0	91.7	3.6
60～69歳	266	-	-	-	-	0.4	2.6	95.1	1.9
70～79歳	278	-	-	-	-	2.2	4.7	79.9	13.3
80歳以上	35	-	-	-	-	-	-	91.4	8.6

（注）集計対象：同居人がいると判定したもの n=2,136（P14～P15 参照）。

(5) 社会活動への参加状況（社会参加）

社会活動への参加状況をみると、「いずれかの活動に参加している」で 55.7%、「特に参加はしていない」で 42.5%となっている。

【図 2－7】社会活動への参加状況【複数回答】



（注）調査票 問 17 の回答選択肢「1 PTA・自治会・町内会などの活動」から「5 その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）」のいずれかに回答があったものを「いずれかの活動に参加している」として集計。

(6) 男女、年齢階級別社会活動への参加状況（社会参加）

社会活動への参加状況について、「特に参加はしていない」と回答した割合は、男性が35.2%、女性が49.2%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男性では16～19歳から30歳代及び80歳以上、女性では20歳代、30歳代、50歳代及び80歳以上で高くなっている。

【図2－8】男女、年齢階級別社会活動への参加状況【複数回答】

									(%)
	n	PTA・自治会・町内会などの活動	子ども・障がい者・高齢者などの家族以外の活動	ボランティア活動（PTA・自治会の町内会などの活動／家族以外の活動）	スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）	その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）	特に参加はしていない	無回答	いずれかの活動に参加している
全 体	2,361	33.4	4.8	5.2	28.5	4.6	42.5	1.9	55.7
男性／全体	1,130	42.0	3.6	6.4	30.6	6.7	35.2	1.3	63.5
16～19歳	22	-	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0
20～29歳	45	4.4	-	-	48.9	-	46.7	-	53.3
30～39歳	80	18.8	2.5	2.5	30.0	-	50.0	-	50.0
40～49歳	124	39.5	1.6	4.8	29.8	0.8	29.0	2.4	68.5
50～59歳	151	44.4	2.6	2.6	25.8	2.6	39.1	1.3	59.6
60～69歳	316	52.5	3.5	5.1	25.3	8.9	31.6	2.5	65.8
70～79歳	335	46.9	6.0	12.2	34.3	12.2	30.4	0.6	69.0
80歳以上	49	34.7	4.1	6.1	36.7	-	46.9	-	53.1
女性／全体	1,217	25.6	6.0	4.2	26.5	2.7	49.2	2.4	48.4
16～19歳	31	-	-	16.1	54.8	-	35.5	-	64.5
20～29歳	69	5.8	2.9	2.9	27.5	2.9	58.0	-	42.0
30～39歳	108	28.7	1.9	1.9	12.0	-	62.0	-	38.0
40～49歳	172	32.0	2.3	2.3	26.2	4.7	44.2	1.2	54.7
50～59歳	186	20.4	4.3	1.1	18.8	1.1	61.3	2.2	36.6
60～69歳	286	31.1	10.8	5.2	28.0	0.7	47.2	-	52.8
70～79歳	308	25.0	7.8	6.2	33.4	4.9	41.2	6.5	52.3
80歳以上	44	29.5	4.5	4.5	20.5	9.1	50.0	6.8	43.2

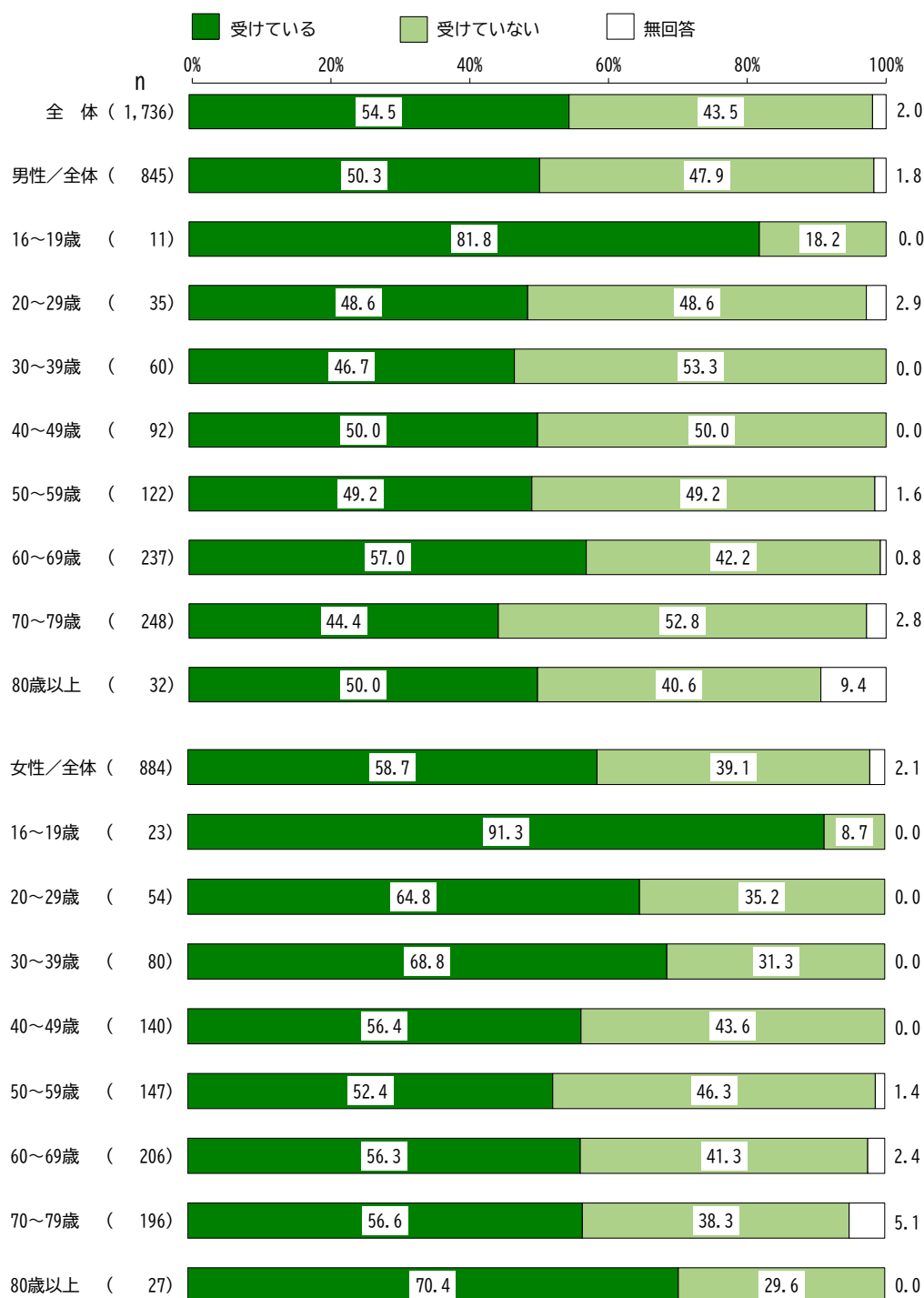
（注）調査票 問17の回答選択肢「1 PTA・自治会・町内会などの活動」から「5 その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）」のいずれかに回答があったものを「いずれかの活動に参加している」として集計。

(7) 男女、年齢階級別不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況（社会的サポート）

日常生活で感じている不安や悩みについて、家族・友人等からの手助けを「受けている」と回答した人の割合は54.5%、「受けていない」は43.5%となっている。

手助けを「受けていない」と回答した人の割合は、男性が47.9%、女性が39.1%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男性では30歳代及び70歳代で、女性では40歳代から60歳代で高くなっている。

【図2-9】男女、年齢階級別不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況



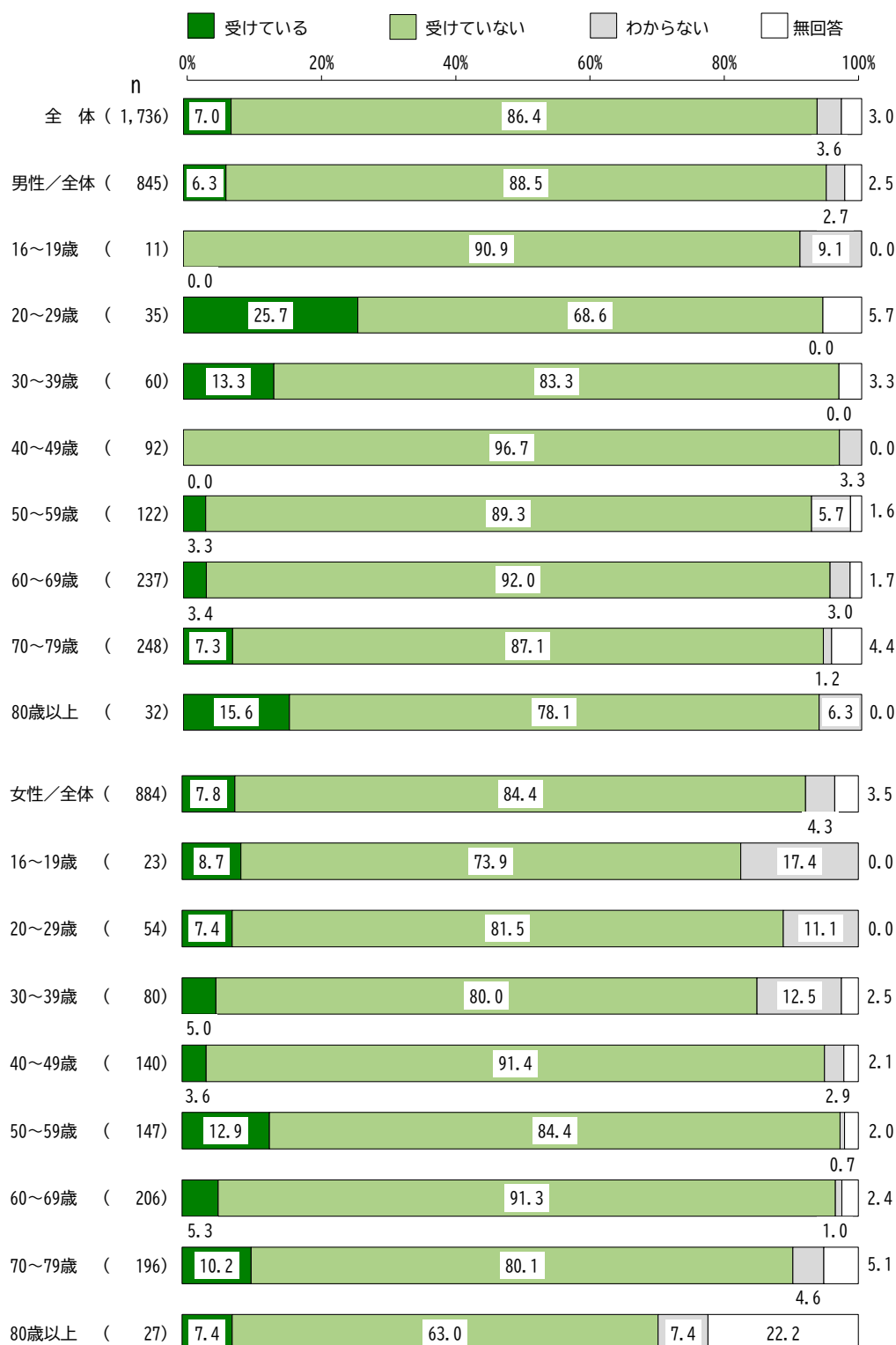
(注) 集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したもの n=1,736 (P36 参照)。

(8) 男女、年齢階級別不安や悩みに対する行政機関・NPO 等からの支援の状況（社会的サポート）

行政機関やNPO等の民間団体から不安や悩みに対する支援（対価を直接支払うものを除く。）を「受けている」と回答した人の割合は7.0%、「受けていない」は86.4%となっている。

支援を「受けていない」と回答した人の割合は、男性が88.5%、女性が84.4%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男女ともに40歳代及び60歳代で高くなっている。

【図2-10】男女、年齢階級別不安や悩みに対する行政機関・NPO等からの支援の状況

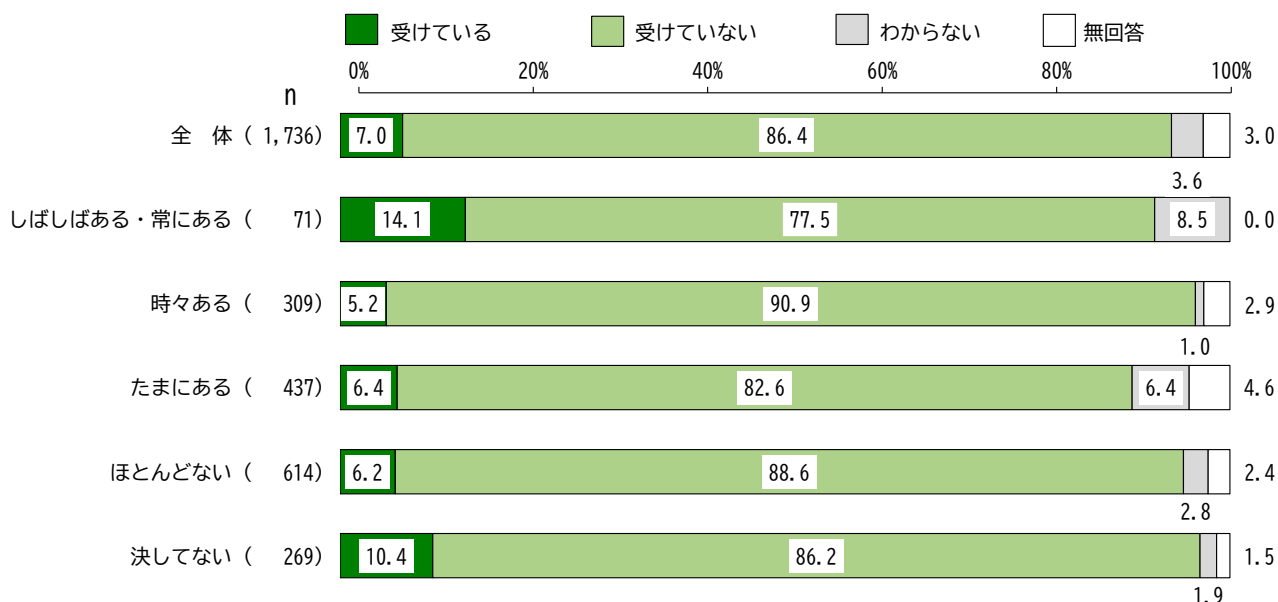


(注) 集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したもの n=1,736 (P36 参照)。

(9) 孤独感（直接質問）別不安や悩みに対する行政機関・NPO 等からの支援の状況（社会的サポート）

行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けていない」と回答した人の割合を孤独感（直接質問）別にみると、孤独感が「時々ある」及び「ほとんどない」で高くなっている。

【図2-11】孤独感（直接質問）別不安や悩みに対する行政機関・NPO等からの支援の状況

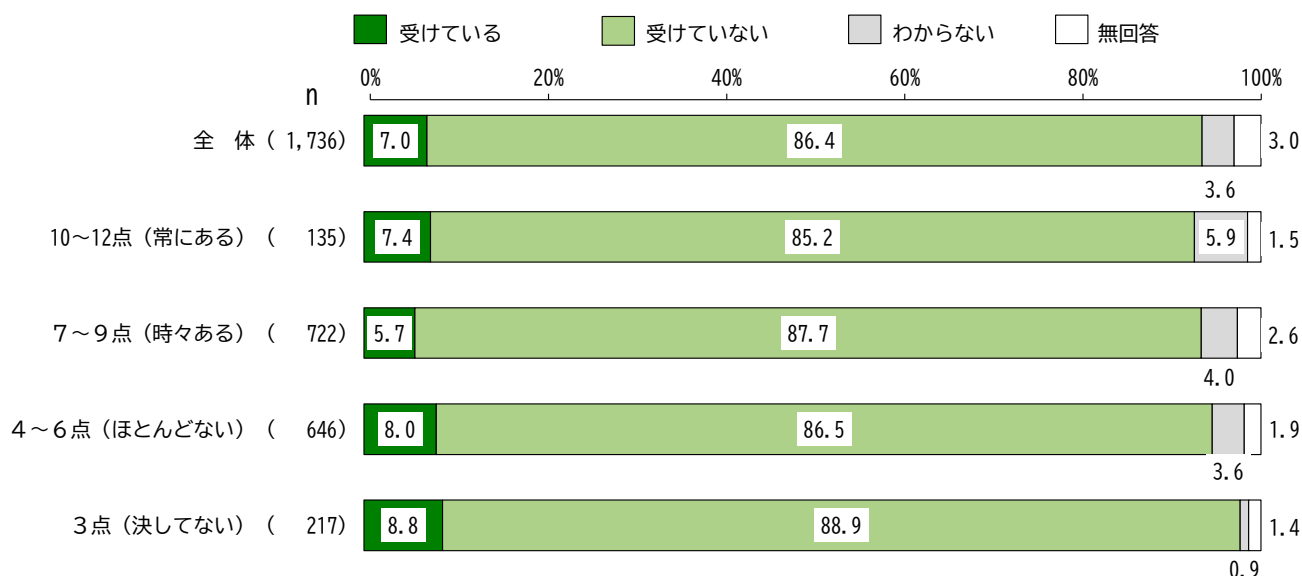


（注）集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したもの n=1,736（P36 参照）。

(10) 孤独感（間接質問）別不安や悩みに対する行政機関・NPO 等からの支援の状況（社会的サポート）

行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けていない」と回答した人の割合を孤独感（間接質問）別にみると、ほとんど差異はみられない。

【図2-12】孤独感（間接質問）別不安や悩みに対する行政機関・NPO等からの支援の状況

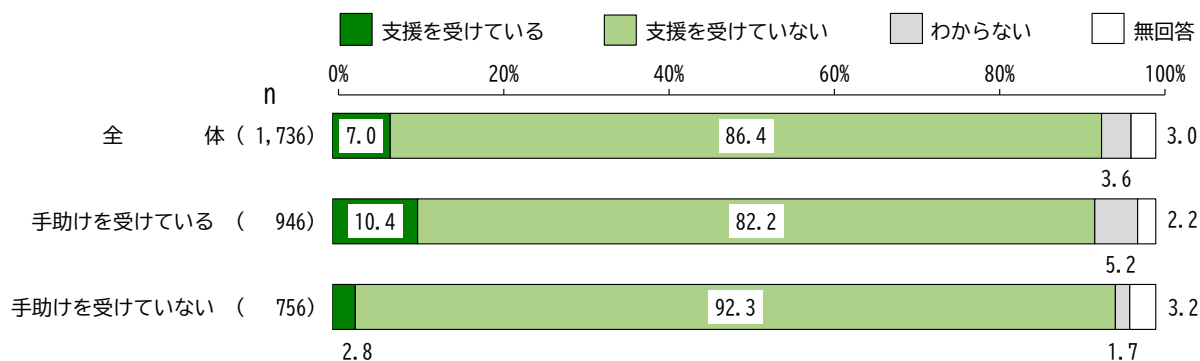


（注）集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したもの n=1,736（P36 参照）。

(11) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別行政機関・NPO 等からの支援の状況
(社会的サポート)

行政機関やNPO等の民間団体からの支援の状況を不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別にみると、支援を「受けている」と回答した人の割合は、手助けを「受けている」で10.4%、手助けを「受けていない」で2.8%となっている。

【図2-13】不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別行政機関・NPO等からの支援の状況



(注) 集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答したもの n=1,736 (P36 参照)。

(12) 孤独感（直接質問・間接質問）別支援を受けている人の支援者（社会的サポート）

行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した人に対し、その支援者を尋ねたところ、「行政機関（国や自治体）」と回答した割合が34.4%と最も高く、次いで、「社会福祉協議会」（30.3%）などとなっている。

【図2-14】孤独感（直接質問・間接質問）別支援を受けている人の支援者【複数回答】

(%)

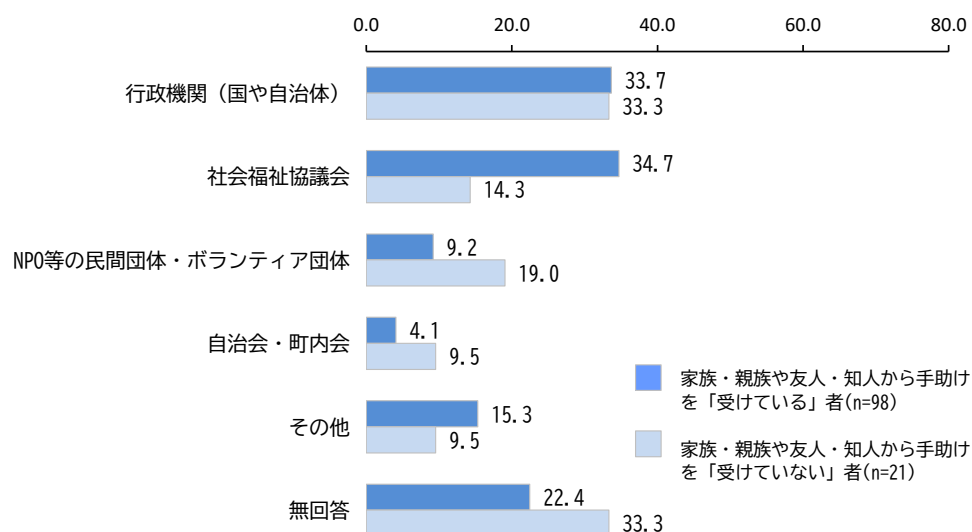
		n	行政機関 （国や自治体）	社会福祉協議会	NPO等の民間団体・ボランティア	自治会・町内会	その他	無回答
	全 体	122	34.4	30.3	12.3	4.9	14.8	23.8
直接質問	しばしばある・常にある	10	—	40.0	—	20.0	40.0	20.0
	時々ある	16	37.5	—	37.5	12.5	12.5	12.5
	たまにある	28	28.6	39.3	—	—	17.9	28.6
	ほとんどない	38	42.1	23.7	18.4	—	10.5	31.6
	決していない	28	42.9	39.3	7.1	7.1	10.7	17.9
間接質問	10～12点（常にある）	10	20.0	20.0	—	—	40.0	20.0
	7～9点（時々ある）	41	34.1	17.1	14.6	9.8	12.2	26.8
	4～6点（ほとんどない）	52	36.5	36.5	13.5	3.8	13.5	23.1
	3点（決していない）	19	36.8	47.4	10.5	—	10.5	21.1

（注）集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答し、かつ、調査票 問23の行政機関やNPO等の民間団体から支援を「受けている」と回答したもの n=122（P61 参照）。

(13) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援を受けている人の支援者
(社会的サポート)

支援者を不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別にみると、手助けを「受けている」と回答した人と「受けていない」と回答した人とで、「行政機関（国や自治体）」では差異はみられないが、「社会福祉協議会」では、「受けている」が 34.7%、「受けていない」が 14.3%と 20.4 ポイント差がある。

【図 2-15】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別
支援を受けている人の支援者【複数回答】



(注) 集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答し、かつ、調査票 問 23 の行政機関や NPO 等の民間団体から支援を「受けている」と回答したもの n=122 (P61 参照)。

(14) 孤独感（直接質問・間接質問）別受けている支援内容（社会的サポート）

行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した人に対し、その支援内容を尋ねたところ、「相談支援（助言や情報提供等）」と回答した割合が55.7%と最も高く、次いで、「人的な支援（世話や介護）」（20.5%）などとなっている。

支援内容を孤独感別にみると、「相談支援（助言や情報提供等）」と回答した割合は、直接質問による孤独感が「決してない」で、間接質問による孤独感スコアが「3点（決してない）」で高く、「人的な支援（世話や介護）」と回答した割合は、直接質問による孤独感が「ほとんどない」で、間接質問による孤独感スコアが「4～6点（ほとんどない）」で高くなっている。

【図2-16】孤独感（直接質問・間接質問）別受けている支援内容【複数回答】

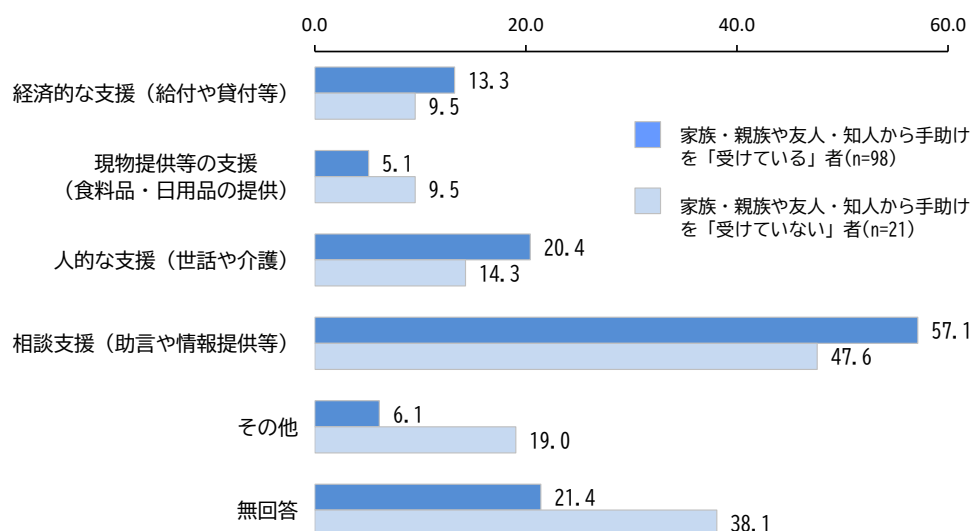
(%)								
		n	経済的な支援 （給付や貸付等）	現物提供等の支援 （食料品・日用品の提供）	人的な支援（世話や介護）	相談支援 （助言や情報提供等）	その他	無回答
全 体		122	12.3	5.7	20.5	55.7	9.0	23.8
直接質問	しばしばある・常にある	10	20.0	－	20.0	60.0	40.0	20.0
	時々ある	16	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5
	たまにある	28	17.9	－	14.3	50.0	10.7	25.0
	ほとんどない	38	10.5	5.3	34.2	63.2	－	23.7
	決してない	28	7.1	10.7	7.1	64.3	7.1	17.9
間接質問	10～12点（常にある）	10	－	－	－	40.0	40.0	20.0
	7～9点（時々ある）	41	17.1	9.8	19.5	43.9	7.3	24.4
	4～6点（ほとんどない）	52	13.5	5.8	28.8	59.6	3.8	28.8
	3点（決してない）	19	5.3	－	10.5	78.9	10.5	10.5

（注）集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答し、かつ、調査票 問23の行政機関やNPO等の民間団体から支援を「受けている」と回答したもの n=122（P61 参照）。

(15) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援内容（社会的サポート）

行政機関や NPO 等の民間団体からの支援内容を不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別にみると、「経済的な支援（給付や貸付等）」と回答した割合は、手助けを「受けている」で 13.3%、「受けていない」で 9.5%となっている。一方、「相談支援（助言や情報提供等）」と回答した割合は、手助けを「受けている」で 57.1%、「受けていない」で 47.6%となっている。

【図 2－17】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援内容【複数回答】



（注）集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答し、かつ、調査票 問 23 の行政機関や NPO 等の民間団体から支援を「受けている」と回答したもの n=122（P61 参照）。

(16) 孤独感（直接質問・間接質問）別支援を受けていない理由（社会的サポート）

行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けていない」と回答した人に対し、その理由を尋ねたところ、「支援が必要ではないため」と回答した割合が62.0%と最も高く、次いで、「どのような支援があるのか知らないため」（23.3%）、「支援が必要だが、我慢できる程度であるため」（15.3%）などとなっている。

支援を受けていない理由を孤独感別にみると、「支援が必要ではないため」と回答した人の割合は、直接質問による孤独感が「決してない」及び「ほとんどない」並びに間接質問による孤独感スコアが「3点（決してない）」及び「4～6点（ほとんどない）」で高くなっている。一方で、「どのような支援があるのか知らないため」と回答した人の割合は、直接質問による孤独感が「しばしばある・常にある」並びに間接質問による孤独感スコアが「10～12点（常にある）」で高くなっている。

また、「支援が必要だが、我慢できる程度であるため」と回答した人の割合は、直接質問による孤独感が「しばしばある・常にある」及び「時々ある」並びに間接質問による孤独感スコアが「10～12点（常にある）」及び「7～9点（時々ある）」で高くなっている。

なお、「支援が必要ではないため」と回答しなかったものについてみると、「どのような支援があるのか知らないため」が49.5%と最も高く、次いで、「支援が必要だが、我慢できる程度であるため」（33.5%）、「支援の受け方がわからないため」（28.6%）などとなっている。

【図2-18】孤独感（直接質問・間接質問）別支援を受けていない理由【複数回答】

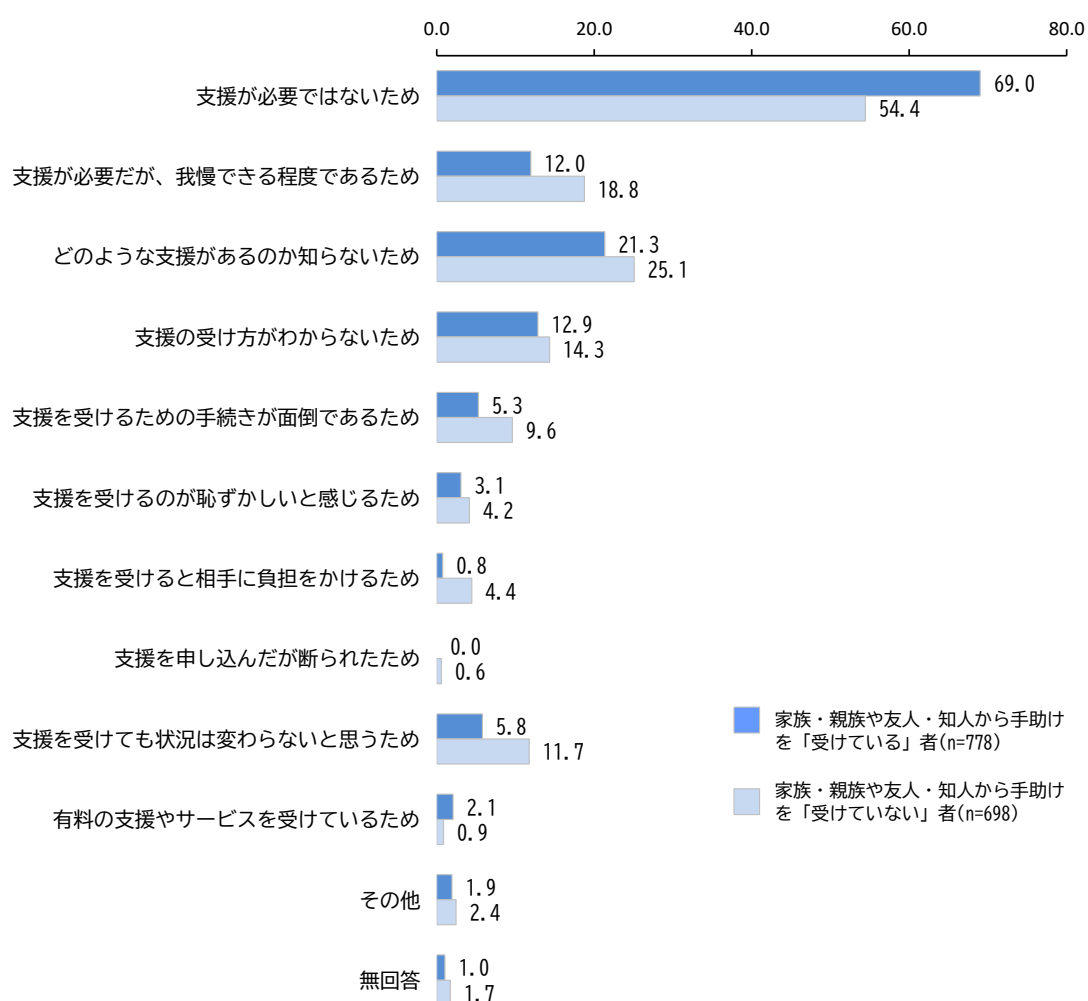
														(%)
		n	支援が必要ではないため	支援が必要だが、我慢できる程度であるため	どのような支援があるのか知らないため	支援の受け方がわからないため	支援を受けるための手続きが面倒であるため	支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	支援を受けると相手に負担をかけるため	支援を申し込んだが断られたため	支援を受けても状況は変わらないと思うため	有料の支援やサービスを受けているため	その他	無回答
全 体		1,500	62.0	15.3	23.3	13.6	7.2	3.7	2.5	0.3	8.6	1.5	2.1	1.3
直接質問	しばしばある・常にある	55	14.5	20.0	58.2	43.6	23.6	16.4	7.3	3.6	32.7	-	12.7	-
	時々ある	281	39.1	22.4	35.2	22.4	12.5	5.0	7.5	0.7	13.2	1.4	1.8	1.4
	たまにある	361	60.7	14.4	26.9	14.7	7.5	6.4	1.9	-	9.7	1.1	1.7	1.1
	ほとんどない	544	73.7	13.4	16.9	10.3	4.6	1.7	0.9	-	3.9	1.8	1.1	1.5
	決してない	232	75.0	8.6	9.9	3.0	2.6	-	-	-	6.5	1.7	3.4	0.9
間接質問	10～12点（常にある）	115	40.0	15.7	37.4	27.8	13.9	7.8	7.8	1.7	21.7	-	7.0	-
	7～9点（時々ある）	633	54.8	19.3	28.9	16.4	9.8	4.6	3.8	0.3	9.3	1.6	1.4	1.1
	4～6点（ほとんどない）	559	68.9	13.4	19.0	11.1	4.8	2.9	0.7	-	5.0	1.4	1.8	2.0
	3点（決してない）	193	78.8	7.8	9.3	3.1	1.6	0.5	-	-	8.8	2.1	2.6	1.0
「支援が必要ではないため」と回答しなかったもの		570	／	33.5%	49.5%	28.6%	15.3%	7.5%	6.0%	0.7%	19.6%	3.2%	5.3%	3.5%

（注）集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答し、かつ、調査票 問23の行政機関やNPO等の民間団体から支援を「受けていない」と回答したもの n=1,500（P61 参照）。

(17) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援を受けていない理由
(社会的サポート)

行政機関や NPO 等の民間団体からの支援を受けていない理由を不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別にみると、「支援が必要ではないため」及び「有料の支援やサービスを受けているため」と回答した割合は、手助けを「受けている」と回答した人が高くなっている。一方、他の理由については、手助けを「受けていない」と回答した人が高くなっている。

【図 2-19】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援を受けていない理由
【複数回答】



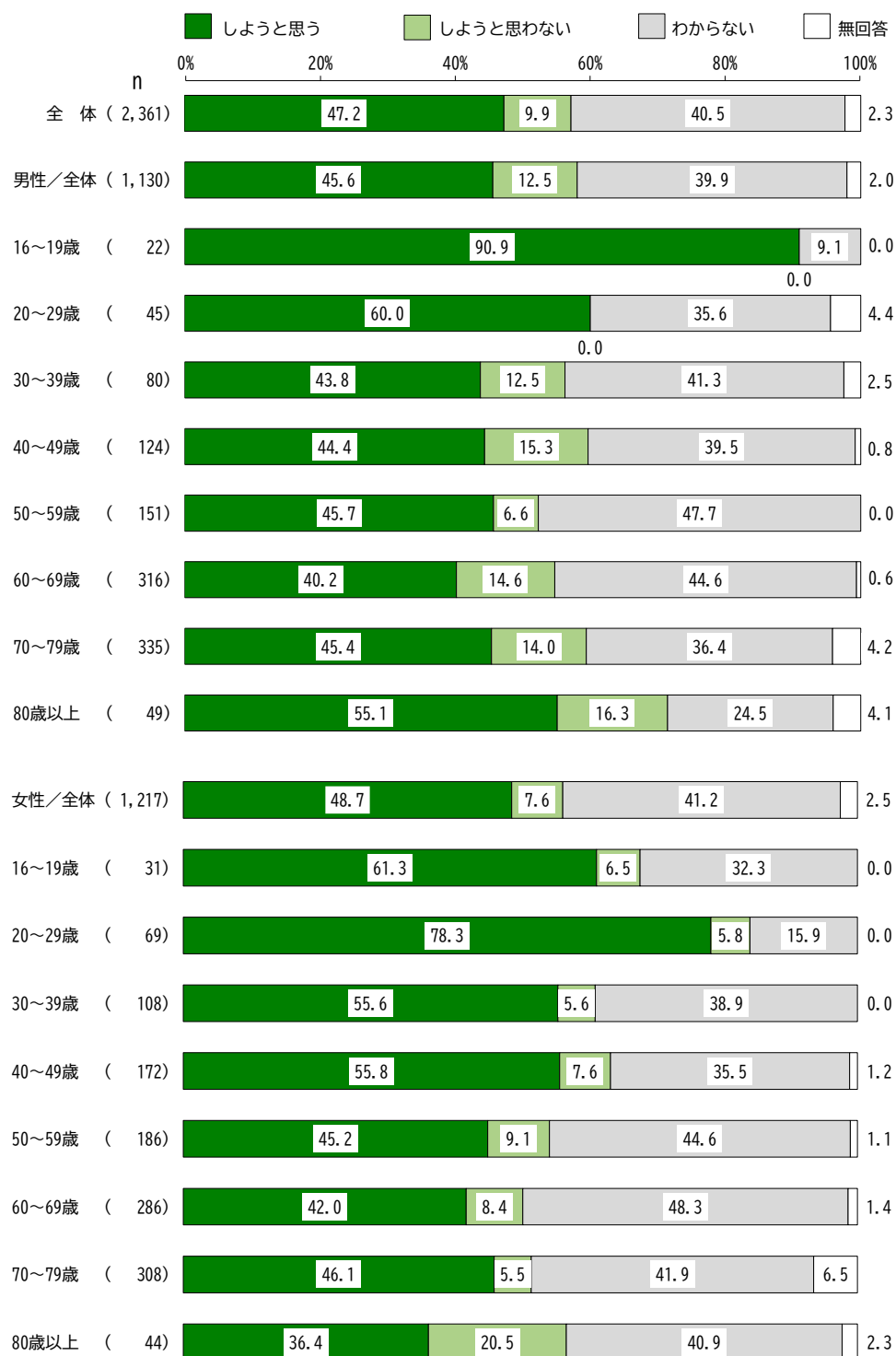
(注) 集計対象：日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答し、かつ、調査票 問 23 の行政機関や NPO 等の民間団体から支援を「受けていない」と回答したもの n=1,500 (P61 参照)。

(18) 男女、年齢階級別他者へのサポート意識（社会的サポート）

他者への手助けを「しようと思う」と回答した人の割合は47.2%、「しようと思わない」は9.9%、「わからない」は40.5%となっている。

手助けを「しようと思う」と回答した人の割合は、男性が45.6%、女性が48.7%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男女ともに16～19歳及び20歳代で高くなっている。

【図2-20】男女、年齢階級別他者へのサポート意識



孤立に関する指標（内閣府の研究会における試案を活用）

内閣府の孤独・孤立の実態把握に関する研究会では、前年度に引き続き、孤立に関する指標について検討を行った。本調査で把握している孤立に関する事項及び先行研究における孤立の類型及び操作的定義を踏まえ、社会的交流及び社会的サポート（受領）からみた孤立について、指標化（スコア化）を検討した。

ア 社会的交流：家族や友人たちとのコミュニケーション頻度からみた孤立

本調査では、社会的交流に関して、家族や友人たちとのコミュニケーション頻度（問 16）を把握している。同居していない家族や友人たちとは手段別（3 種）のコミュニケーション頻度、同居している人たちとは直接会って話す頻度について尋ねていることから、これらを合算した総合的なコミュニケーション頻度を求め、それが一定以下となっているものを、孤立状態にある可能性が高いと判定するものである。

具体的な算出手順は以下のとおり。

(ア) 合計スコアの算出

1 か月の平均が 4.3 週（ $365 \text{ 日} \div 12 \text{ か月} \div 7 \text{ 日}$ ）となることから、先行研究¹に倣い週 1 回＝4.3 回とし、これを基準として、コミュニケーション頻度別の換算ウェイトを次のとおり定めた。

頻度	換算ウェイト	備 考
全くない	0	
月 1 回未満	0.5	
月 1 回程度	1.0	
2 週間に 1 回程度	2.2	2 週に 1 回→週 0.5 回、 0.5×4.3
週 1 回程度	4.3	$365 \text{ 日} \div 12 \text{ か月} \div 7 \text{ 日} = 4.3$
週 2 ～ 3 回程度	10.8	週 2 ～ 3 回→週 2.5 回、 2.5×4.3
週 4 ～ 5 回以上	19.4	週 4 ～ 5 回→週 4.5 回、 4.5×4.3

同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション手段の問 16 (1) ①直接会って話す、②電話及び③SNS や電子メールなど並びに同居している人たちと直接会って話す頻度（同居人がいる場合）（問 16 (2)）のそれぞれについて、「全くない」を 0 点、「月 1 回未満」を 0.5 点、「月 1 回程度」を 1 点、「2 週間に 1 回程度」を 2.2 点、「週に 1 回程度」を 4.3 点、「週 2 ～ 3 回程度」を 10.8 点、「週 4 ～ 5 回以上」を 19.4 点としてスコア化し、合計した。

¹ 齊藤雅茂，近藤克則，他：健康指標との関連からみた高齢者の社会的孤立基準の検討：10 年間の AGES コホートより，日本公衆衛生雑誌．62(3)：95-105，2015.

孤立指標と健康との関連については、以下の論文も参考とした。

Saito M, Aida J, et al. : Cross-national comparison of social isolation and all-cause mortality among older adults: A 10-year follow-up study in England and Japan. *Geriatrics and Gerontology International*, 21(2):209-214. 2021.

合計スコア = 問 16 (1) ① (直接会って話す) のスコア (換算ウェイト)
 + 問 16 (1) ② (電話) のスコア
 + 問 16 (1) ③ (SNS や電子メールなど) のスコア
 + 問 16 (2) のスコア

※ 問 16 (2) は同居している人がいる場合のみ。問 16 (1) ①～③、問 16 (2) のいずれかに回答がある場合は合計スコアを算出するが、問 16 (1) ①～③、問 16 (2) の全てが無回答の場合は算出対象外とした。

(イ) 総合的なコミュニケーション頻度への換算

スコア合計値を基に、以下のとおり総合的なコミュニケーション頻度に換算し、家族や友人たちとのコミュニケーション頻度からみた孤立について検討した。先行研究における社会的孤立の操作的定義や本調査における質問内容などを踏まえ、交流頻度が「週に 1 回未満」となっているもの（「2 週間に 1 回程度」、「月 1 回程度」及び「月 1 回未満」のいずれかに該当するもの）を、孤立状態にある可能性が高いと考えられるものとした（注）。

頻度	スコア合計値		備 考
月 1 回未満	0 以上	1 未満	「全くない」を含む
月 1 回程度	1 以上	2 未満	月 1 回程度 = 2 未満
2 週間に 1 回程度	2 以上	4.3 未満	
週 1 ～ 2 回未満	4.3 以上	8.6 未満	週 1 = 4.3
週 2 ～ 3 回未満	8.6 以上	12.9 未満	週 2 = 4.3 × 2
週 3 ～ 4 回未満	12.9 以上	17.2 未満	週 3 = 4.3 × 3
週 4 ～ 6 回未満	17.2 以上	25.8 未満	週 4 = 4.3 × 4
1 日 1 回程度 (週 6 ～ 9 回未満)	25.8 以上	38.7 未満	週 6 = 4.6 × 6
毎日頻繁 (週 9 回以上)	38.7 以上		週 9 = 4.3 × 9

注) 先行研究²では、「同居者以外との対面・非対面交流をあわせて週に 1 回未満という状態までがその後の要介護状態や認知症と関連し、月 1 回未満になると早期死亡とも密接に関連する交流の乏しさであることから、これらが社会的孤立の妥当な操作的定義であることが示唆された。」としている。

² 先述の脚注 1 と同じ

【家族や友人たちとのコミュニケーション頻度からみた算出結果】

総合的なコミュニケーション頻度が「週に1回未満」となるものの割合は5.7%となっている。なお、参考までに、「週1回程度」以下となるものの割合をみると8.0%となっている。

(上段：実数、下段：%)

全 体	毎日頻繁 (週に9回以上)	1日1回程度 (週に6回～9回未満)	週4～6回未満	週3～4回未満	週2～3回未満	週1～2回程度 (週1～2回未満)	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満 (全くないを含む)	週に1回未満	【参考】
											週1回程度以下
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	8+9+10	7+8+9+10
2,361	792	486	788	34	49	55	61	38	35	134	189
100.0	33.5	20.6	33.4	1.4	2.1	2.3	2.6	1.6	1.5	5.7	8.0

参考：同居している人たちと直接会って話す頻度を除いた場合

2,361	303	243	377	166	238	334	287	235	127	649	983
100.0	12.8	10.3	16.0	7.0	10.1	14.1	12.2	10.0	5.4	27.5	41.6

参考：

先行研究では、同居していないものとの接触頻度を用いる事例が多い。これに倣い、同居している人たちと直接会って話す頻度を除いた場合の合計スコアを算出し

(注)、前記(イ)のとおり換算すると、コミュニケーション頻度が「週に1回未満」となるものの割合は27.5%、「週1回程度」以下となるものの割合は41.6%となる。

ただし、先行研究では交流相手に「近所の人」や「職場の人」などを含めるケースもあるのに対し、本調査では、交流相手を「家族や友人たち」としている点に留意が必要である。

注) この場合の合計スコアの算出式は以下のとおり。

$$\begin{aligned}
 \text{合計スコア} &= \text{問16(1)①(直接会って話す)のスコア} \\
 &+ \text{問16(1)②(電話)のスコア} \\
 &+ \text{問16(1)③(SNSや電子メールなど)のスコア}
 \end{aligned}$$

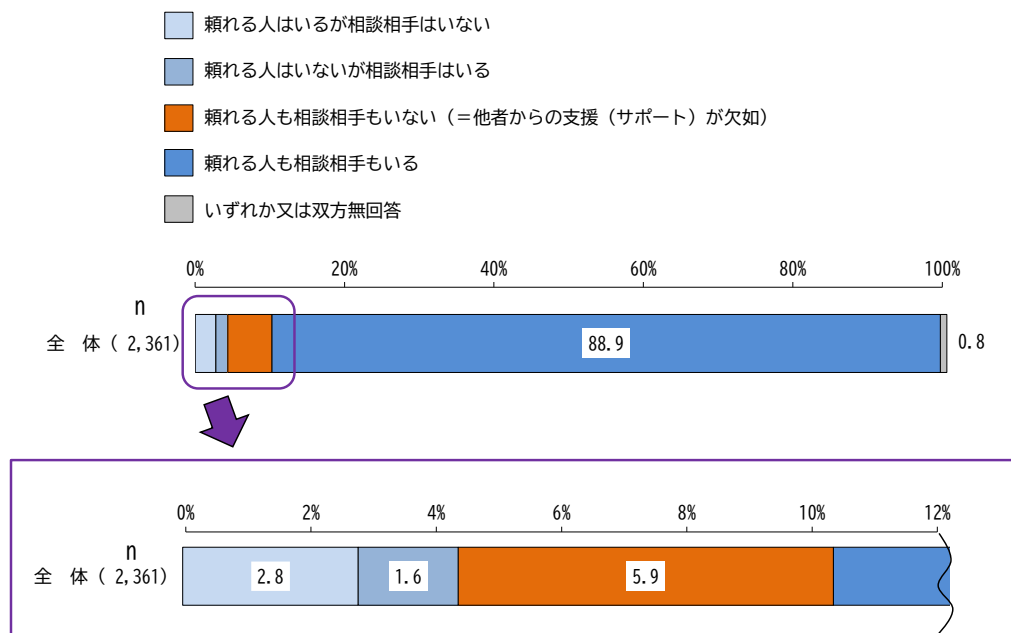
イ 社会的サポート（受領）：困った時に頼れる人の有無及び相談相手の有無からみた孤立

本調査では、孤独・孤立に関する事項の関連事項として、「困った時に頼れる人の有無（問 18）」や「不安や悩みの相談相手の有無（問 19）」を把握している。これらは他者からの支援（サポート）の受領状況を示しており、困った時に頼れる人及び相談相手の双方を持たないものを、孤立状態にある可能性が高いと判定するものである。

困った時に頼れる人の有無及び不安や悩みの相談相手の有無を以下のとおり組み合わせ集計し、「頼れる人も相談相手もない」に分類されるものを、孤立状態にある可能性が高いと考えられるものとした。

【困った時に頼れる人の有無 × 不安や悩みの相談相手の有無に関する集計結果】

「頼れる人も相談相手もない」に該当したもののうち、本調査への回答者（n=2,361）に占める割合は、5.9%となっている。



孤立状態にある可能性が高いと考えられるものの指標を属性別に分析すると次のとおりになっている。

		n	指標			
			家族や友人たちとの コミュニケーション頻度か ら測定した場合		他者からの支援の受領状況から 推測した場合 （頼れる人も相談相手もない）	【参考】気軽に話せる相手の 有無を加えて測定した場合
			週に1回未満	【参考】週に1回程度以下		
全 体		2,361	5.7	8.0	5.9	4.5
年 齢	16～19歳	53	3.8	3.8	3.8	3.8
	20～29歳	114	1.8	1.8	5.3	5.3
	30～39歳	190	2.1	2.1	5.3	4.2
	40～49歳	297	4.0	6.4	8.8	5.4
	50～59歳	343	3.5	6.4	8.5	6.7
	60～69歳	603	6.8	8.5	5.6	4.6
	70～79歳	643	7.9	11.8	4.4	3.1
	80歳以上	93	6.5	9.7	3.2	2.2
	（再掲）20～64歳	1,193	3.6	5.1	7.1	5.6
	（再掲）65～74歳	728	7.4	10.7	5.2	3.6
	（再掲）75歳以上	362	8.6	12.2	3.6	2.8
男 女	男性	1,130	7.8	9.6	8.6	6.8
	女性	1,217	3.5	6.3	3.3	2.2
性年齢	男性全体	1,130	7.8	9.6	8.6	6.8
	16～19歳	22	9.1	9.1	9.1	9.1
	20～29歳	45	0.0	0.0	17.8	17.8
	30～39歳	80	2.5	2.5	22.5	12.5
	40～49歳	124	6.5	8.9	12.9	9.7
	50～59歳	151	4.6	6.0	19.9	15.9
	60～69歳	316	10.4	11.7	6.3	5.7
	70～79歳	335	8.1	11.6	0.0	0.0
	80歳以上	49	12.2	12.2	2.0	2.0
	女性全体	1,217	3.5	6.3	3.3	2.2
	16～19歳	31	0.0	0.0	12.9	12.9
	20～29歳	69	2.9	2.9	2.9	0.0
	30～39歳	108	1.9	1.9	7.4	5.6
	40～49歳	172	2.3	4.7	6.4	5.2
	50～59歳	186	1.6	5.9	2.2	2.2
	60～69歳	286	2.8	4.9	2.8	0.7
	70～79歳	308	7.8	12.0	1.0	0.6
	80歳以上	44	0.0	6.8	0.0	0.0
配偶者の有無	未婚	405	11.9	16.0	10.9	9.4
	配偶者あり	1,643	3.2	4.9	5.1	3.6
	死別	162	9.9	12.3	1.9	1.2
	離別	139	10.1	14.4	5.0	3.6
同居人の有無	同居人がいる	2,136	2.8	4.4	5.5	4.2
	同居人がいない	222	33.3	42.3	9.5	7.2

		n	指標			
			家族や友人たちとの コミュニケーション頻度か ら測定した場合		他者からの支援の受領状況から 推測した場合 (頼れる人も相談相手もない)	【参考】気軽に話せる相手の 有無を加えて測定した場合
			週に 1回未満	【参考】週に1回程度以下		
全 体		2,361	5.7	8.0	5.9	4.5
現在の仕事	正規の職員・従業員	659	2.9	5.0	5.0	3.3
	非正規の職員・従業員	435	4.6	5.5	7.4	6.0
	会社などの役員	104	3.8	4.8	3.8	1.9
	自営業主	242	7.4	9.1	5.8	5.4
	家族従業者・内職	72	5.6	8.3	2.8	2.8
	学生・生徒	73	2.7	2.7	2.7	2.7
	失業中	78	14.1	15.4	11.5	11.5
	無職	495	8.5	12.3	5.7	4.4
	その他	167	6.6	10.2	6.6	3.6
世帯の年間収入	100円未満	165	13.9	15.2	10.9	6.7
	100～199万円	276	17.8	23.9	9.8	8.0
	200～299万円	326	6.1	8.6	6.1	3.7
	300～399万円	282	4.3	7.1	6.4	5.0
	400～499万円	208	2.9	6.3	1.4	1.0
	500～699万円	311	2.6	3.9	6.8	4.2
	700～999万円	243	1.6	4.1	2.5	2.5
	1,000～1,499万円	155	2.6	3.9	3.9	3.9
	1,500万円以上	47	4.3	4.3	0.0	0.0
経済的な暮らし向き	大変ゆとりがある	24	0.0	0.0	16.7	8.3
	ややゆとりがある	198	4.0	7.1	1.0	1.0
	普通	1,087	4.5	6.7	3.4	2.6
	やや苦しい	741	5.3	7.2	4.6	3.5
	大変苦しい	281	12.8	16.7	21.0	16.4
社会参加の状況	参加している	1,314	3.4	5.2	4.1	2.5
	特に参加していない	1,003	8.6	11.4	8.1	6.9
困った時に頼れる人の有無	いる	2,171	4.2	6.4	0.0	0.0
	いない	178	23.6	27.5	78.1	59.6
不安や悩みの相談相手の有無	いる	2,137	3.6	5.7	0.0	0.0
	いない	205	25.9	31.2	67.8	51.7
気軽に話せる相手の有無	いる	2,137	4.1	6.0	1.5	0.0
	いない	203	21.7	27.1	52.2	52.2
行政機関やNPO等からの支援の状況	受けている	122	6.6	9.8	4.1	2.5
	受けていない	1,500	5.7	7.7	6.7	5.1
心身の健康状態	よい	311	2.6	2.9	1.0	0.6
	まあよい	394	3.3	5.3	1.5	1.0
	ふつう	1,200	5.5	8.0	6.0	4.2
	あまりよくない	323	8.4	11.1	12.1	12.1
	よくない	88	15.9	22.7	14.8	12.5
現在の生活への満足度	満足している	272	2.9	2.9	1.1	1.1
	まあ満足している	1,083	3.5	6.3	2.5	2.0
	どちらともいえない	524	8.6	11.3	6.7	4.8
	やや不満である	294	4.8	6.8	10.9	8.2
	不満である	140	15.7	18.6	25.7	22.9
孤独感 (直接質問)	しばしばある・常にある	77	26.0	26.0	36.4	32.5
	時々ある	341	7.9	12.3	11.4	8.2
	たまにある	511	5.7	8.6	7.0	6.3
	ほとんどない	932	3.5	5.4	1.7	1.3
	決してない	446	3.8	5.4	3.6	2.0
孤独感 (間接質問)	10～12点(常にある)	147	15.6	15.6	29.3	26.5
	7～9点(時々ある)	883	5.8	9.9	6.9	5.3
	4～6点(ほとんどない)	954	4.0	5.3	2.1	1.0
	3点(決してない)	347	4.9	6.6	3.7	2.3

第3 単純集計結果付き調査票



山形県

「人々のつながりに関する基礎調査」

- この調査は、郵送又はインターネットによる回答のどちらかの方法で回答をお願いします。
- 封筒の宛名となっている方、ご本人がお答えください。
(ただし、ご本人様が長期不在などでお答えになれない場合は、ご家族の方などが代わってお答えください。)
- ご回答は、令和7年6月1日現在の状況でお願いします。
- この調査は無記名式です。お名前、ご住所をご記入いただく必要はありません。
- 黒か青のボールペン、または鉛筆で調査票に直接ご記入ください。
- ご回答は、あてはまる項目に“○”を記入してください。回答方法が個別に指定されている場合には、設問に従ってください。
- 設問によってご回答していただく方が限定されている場合がありますので、設問をよくお読みいただき、ご回答ください。
- 「その他」を選ばれた場合で、() が付されている場合は、具体的に内容をご記入ください。
- <郵送の場合>ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて、7月16日(水)までご返送ください。
- <インターネットの場合>7月16日(水)までご入力いただき、ご回答ください。
◆入力フォームURL：https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=15824

入力フォームはこちら →



【調査に関するお問い合わせ先】

山形県健康福祉部地域福祉推進課

地域福祉担当 電話：023-630-2269 (直通)

023-630-2268 (直通)

◆基本項目 お住いの地域をお答えください。(○はひとつだけ)

49.2 村山地域 6.5 最上地域 18.2 置賜地域 24.9 庄内地域 1.1 無回答

問1 あなたの年齢(令和7年(2025 年)6 月1日現在の年齢)を記入してください。

<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	歳	2.2 16～19 歳	12.6 40～49 歳	27.2 70～79 歳
		4.8 20～29 歳	14.5 50～59 歳	3.9 80 歳以上
		8.0 30～39 歳	25.5 60～69 歳	1.1 無回答

問2 あなたの性別をお答えください。(○はひとつだけ)

47.9 男性	0.4 その他 (どちらともいえない・わからない・答えたくない)
51.5 女性	0.2 無回答

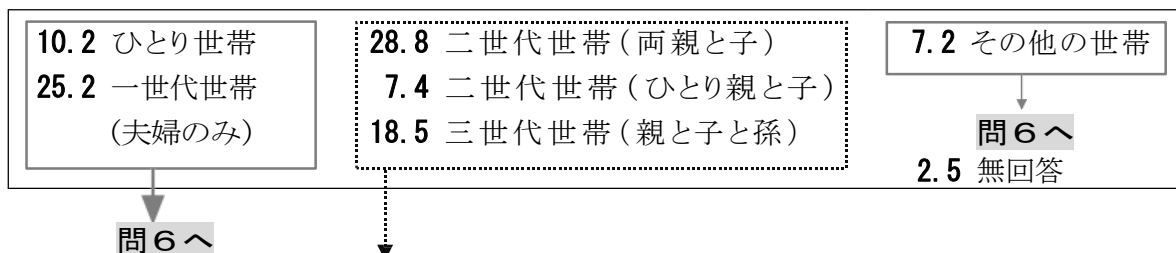
問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合や同性パートナーを含めます。(○はひとつだけ)

17.2 未婚 69.6 配偶者あり 6.9 死別 5.9 離別 0.5 無回答

問4 あなたは、現在、お子さんはいらっしゃいますか。離れてくらしているお子さんも含めてお答えください。(○はひとつだけ)

75.2 いる 23.9 いない 0.6 その他 (わからない・答えたくない) 0.4 無回答

問5 あなたの世帯(家族以外の同居人含む)構成をお答えください。なお、「夫婦」「両親」には婚姻届を提出していない場合や、同性パートナーを含めます。(○はひとつだけ)



【問5で「3」～「5」(二世代世帯又は三世代世帯)と回答した方へ】

問5-1 あなたは、どの世代に当たりますか。(○はひとつだけ) n=1,293

50.7 いちばん上の世代 (二世代世帯の親、三世代世帯の親)
20.3 真ん中の世代 (三世代世帯の子)
26.6 いちばん下の世代 (二世代世帯の子、三世代世帯の孫)
2.3 無回答

【問5-1で「1 いちばん上の世代」、「2 真ん中の世代」と回答した方 (世帯の中にあなたのお子さんがある方)へ】

問5-2 同居しているあなたのお子さんの一番若い方の年齢(令和7年(2025 年)6 月1日現在の年齢)を記入してください。 n=919

<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	歳	13.1 6 歳未満	4.9 無回答
		81.9 6 歳以上	

【再び、全員の方へ】

問6 あなたは現在、何人でお住まいですか。あなた自身を含めた人数を記入してください(ひとり暮らしの場合は1と記入)。

<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	人	9.4 1 人	24.0 3 人	22.7 5 人以上
		27.4 2 人	15.4 4 人	1.0 無回答

問7 あなたが最後に卒業した学校、または現在、在学している学校をお答えください。
(○はひとつだけ)

8.4 小学・中学	6.9 短大・高専	1.1 その他
52.3 高校(旧制中学校を含む)	14.7 大学	0.3 無回答
14.8 専門学校	1.4 大学院	

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。複数の仕事に従事している場合は、主な仕事についてお答えください。(○はひとつだけ)

※「主な仕事」とは一番長い時間した仕事を指します。

27.9 正規の職員・従業員
18.4 非正規の職員・従業員(派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト (学生アルバイトを除く))
4.4 会社などの役員
10.2 自営業主
3.0 家族従業者・内職
3.1 学生・生徒
3.3 収入をとまなう仕事をしていない(仕事を探している)
21.0 収入をとまなう仕事をしていない(仕事を探していない)
7.1 その他
1.5 無回答

問9 あなたは、ふだん家族・親族の介助や看病をしていますか。(○はひとつだけ)
※介助や看病とは、日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際に何らかの手助けを継続的にすることをいいます。

8.3 している	91.0 していない	0.7 無回答
----------	------------	---------

問10 あなたの現在の住まいをお答えください。(○はひとつだけ)

90.4 持ち家（一戸建）	
1.5 持ち家（マンションなどの共同住宅）	
5.5 民営の賃貸住宅	
0.5 都道府県・市区町村営の賃貸住宅・都市再生機構（UR）・公社	
0.6 給与住宅（社宅・公務員住宅など）・寮・寄宿舍	
1.1 その他・わからない	0.3 無回答

問11 あなたの世帯の令和5年(2023年)における年間収入(税・社会保険料込み)をお答えください。自営業の場合には営業利益(税込み)をお答えください。
なお、年金は収入に含みます。(○はひとつだけ)

7.0 100万円未満	13.2 500～699万円	1.6 無回答
11.7 100～199万円	10.3 700～999万円	
13.8 200～299万円	6.6 1,000～1,499万円	
11.9 300～399万円	2.0 1,500万円以上	
8.8 400～499万円	13.1 わからない	

問12 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。(○はひとつだけ)

1.0 大変ゆとりがある	31.4 やや苦しい
8.4 ややゆとりがある	11.9 大変苦しい
46.0 普通	1.3 無回答

問13 あなたは日頃どの程度、外出していますか。(○はひとつだけ)

54.9 週5日以上
19.9 週3～4日程度
16.1 週1～2日程度

5.5 週1日未満
1.6 外出しない
1.9 無回答

問14へ

【問13で「1」～「3」(週1日以上)と回答した方へ】

問13-1 最近1週間の外出の目的は何ですか。(○はいくつでも) n=2,147

57.8 仕事・学校	66.4 食事・買い物・日常の用事
22.4 人とのつきあい・交流	24.9 通院
27.7 趣味や娯楽、散歩や運動	4.6 その他
9.2 地域活動・ボランティア活動	1.3 無回答

【再び、全員の方へ】

問14 最近1週間の行動範囲に含まれているものを全て選んでください。
(○はいくつでも)

72.1 自宅(自室)
72.5 自宅(家族と共用の部屋)
22.9 親族・友人等の家
54.3 職場や学校等の拠点
23.3 趣味や活動等の拠点(職場・学校以外)
69.5 商業施設・娯楽施設(スーパーやショッピングセンター、映画館など)
36.6 公共施設・医療施設(公園、図書館、公民館、診療所など)
5.4 その他 0.8 無回答

問15 では、最近1ヶ月の行動範囲に含まれているものを全て選んでください。
(○はいくつでも)

74.1 自宅(自室)
73.8 自宅(家族と共用の部屋)
38.5 親族・友人等の家
54.3 職場や学校等の拠点
36.2 趣味や活動等の拠点(職場・学校以外)
80.1 商業施設・娯楽施設(スーパーやショッピングセンター、映画館など)
55.4 公共施設・医療施設(公園、図書館、公民館、診療所など)
7.4 その他 0.9 無回答

問16 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。

(1) 同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度

あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、①～③ごとにそれぞれお答えください。

(①～③について、それぞれ○はひとつだけ)

	週 4 ～ 5 回 以上	週 2 ～ 3 回 程度	週 1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	月 1 回 程度	月 1 回 未 満	全 く な い	無 回 答
① 直接会って話す	16.8	14.3	13.8	10.2	16.2	14.7	6.6	7.3
② 電話（ビデオ通話含む）	7.5	14.7	13.1	12.2	15.2	13.9	11.1	12.3
③ SNS や電子メールなど	17.2	14.9	11.8	8.1	9.1	8.6	12.9	17.6

※SNSでのコミュニケーションは、アプリケーションによるチャットなど、テキストベース（文字情報）でのやりとりを指します。また、電子メールには、SMS（ショートメッセージサービス）も含まれます。

(2) 同居している人たちとのコミュニケーション頻度

(同居している人がいる場合にお答えください。)

あなたと同居している人たちとのコミュニケーションについて、直接会って話す頻度をお答えください。(○はひとつだけ)

n=2,136

88.3	週 4 ～ 5 回以上	0.2	月 1 回程度
3.8	週 2 ～ 3 回程度	0.4	月 1 回未満
1.4	週 1 回程度	0.9	全 く ない
0.0	2 週 間 に 1 回 程度	5.1	無回答

問17 あなたは現在、どのような活動に参加をしていますか。人と交流する活動についてお答えください。(○はいくつでも)

33.4	PTA・自治会・町内会などの活動
4.8	子ども・障がい者・高齢者など、家族以外の人の手助けをする活動
5.2	上記以外のボランティア活動
28.5	スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）
4.6	その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）
42.5	特に参加はしていない
1.9	無回答

問 18 あなたには、困った時に頼れる人はいますか。(○はひとつだけ)

92.0 いる	7.5 いない	→ 問 19 へ	0.5 無回答
---------	---------	----------	---------

→【問 18で「1 いる」と回答した方へ】

問 18-1 あなたは誰を頼りますか。(○はいくつでも)

n=2, 171

96.5 家族・親族
56.5 友人・知人
11.9 自治会・町内会・近所の人
15.5 仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）
4.5 行政機関（国や自治体）
0.6 NPO等の民間団体・ボランティア団体
3.5 社会福祉協議会
14.2 病院・診療所の医師
0.8 その他
0.0 無回答

【再び、全員の方へ】

問 19 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。(○はひとつだけ)

90.5 いる	8.7 いない	→ 問 20 へ	0.8 無回答
---------	---------	----------	---------

→【問 19で「1 いる」と回答した方へ】

問 19-1 あなたは誰に相談をしますか。(○はいくつでも)

n=2, 137

94.4 家族・親族
59.9 友人・知人
7.6 自治会・町内会・近所の人
13.4 仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）
3.6 行政機関（国や自治体）
0.7 NPO等の民間団体・ボランティア団体
2.4 社会福祉協議会
11.5 病院・診療所の医師
1.6 その他
0.1 無回答

【再び、全員の方へ】

問 20 あなたには、ふだん気軽に話せる相手はいますか。(○はひとつだけ)

90.5 いる	8.6 いない	0.9 無回答
---------	---------	---------

問 21 あなたは不安や悩みを相談することについて、どのように感じますか。

(○はいくつでも)

- 56.6 相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる
- 65.0 相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる
- 6.4 相談することが面倒である
- 4.0 相談することが恥ずかしい
- 6.9 相談すると相手の負担になる
- 6.4 相談しても無駄である (相談しても解決しない)
- 2.8 その他
- 1.1 無回答

問 22 あなたは現在、日常生活において不安や悩みを感じていることはありますか。
(既に相談機関に繋がっている場合も含む)。(○はひとつだけ)

73.5 ある

25.7 ない

→ 9 ページの問 24 へ 0.8 無回答

▶ 【問 22 で「1 ある」と回答した方へ】

問 22-1 不安や悩みはどのような内容ですか。(○はいくつでも) n=1,736

- 63.8 自分の健康
- 48.7 家族の健康、介護
- 21.0 住まい
- 12.4 進学・就職・転職など、進路やキャリア上の問題
- 15.5 結婚・子育てなど、生活上の問題
- 54.6 収入や資産、老後の生活設計
- 16.1 家族・親族間の人間関係
- 5.1 近隣・地域との関係
- 9.2 学校や勤務先での人間関係
- 6.9 事業や家業の経営上の問題
- 2.2 金銭トラブル
- 7.5 自然災害や事故、事件などの被害
- 3.2 恋愛・性関係
- 4.6 その他
- 0.8 無回答

▶ 【問 22 で「1 ある」と回答した方へ】

問22-2 不安や悩みについて、家族・親族や友人・知人から、相談するなどの問題解決のための手助けを受けていますか。(○はひとつだけ) n=1,736

54.5 受けている

43.5 受けていない

2.0 無回答

↓
次ページの問 23 へ

【問22で「1 ある」と回答した方へ】

問23 あなたは、問22-1で回答した不安や悩みについて、行政機関やNPO等の民間団体から支援（対価を直接支払うものを除く。）を受けていますか。 n=1,736
（○はひとつだけ）

7.0 受けている		
86.4 受けていない	→	問23-3へ
3.6 わからない	→	次ページの問24へ
		3.0 無回答

▶【問23で「1 受けている」と回答した方へ】

n=122

問23-1 あなたはどのような支援を受けていますか。（○はいくつでも）

12.3 経済的な支援（給付や貸付等）	
5.7 現物提供等の支援（食料品・日用品の提供）	
20.5 人的な支援（世話や介護）	
55.7 相談支援（助言や情報提供等）	23.8 無回答
9.0 その他（支援内容：_____）	

▶【問23で「1 受けている」と回答した方へ】

n=122

問23-2 あなたはどこから支援を受けていますか。（○はいくつでも）

34.4 行政機関（国や自治体）	
30.3 社会福祉協議会	
12.3 NPO等の民間団体・ボランティア団体	
4.9 自治会・町内会	23.8 無回答
14.8 その他（支援者：_____）	

【問23で「2 受けていない」と回答した方へ】

問23-3 その理由をお答えください。（○はいくつでも）

n=1,500

62.0 支援が必要ではないため	
15.3 支援が必要だが、我慢できる程度であるため	
23.3 どのような支援があるのか知らないため	
13.6 支援の受け方がわからないため	
7.2 支援を受けるための手続きが面倒であるため	
3.7 支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	
2.5 支援を受けると相手に負担をかけるため	
0.3 支援を申し込んだが断られたため	
8.6 支援を受けても状況は変わらないと思うため	
1.5 有料の支援やサービスを受けているため	
2.1 その他	1.3 無回答
（理由：_____）	

【再び、全員の方へ】

問24 あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けとしようを思いますか。(○はひとつだけ)

47.2 しようと思う	→ 問 25 へ	2.3 無回答
9.9 しようと思わない		
40.5 わからない		

→【問 24 で「2 しようと思わない」、「3 わからない」と回答した方へ】

問 24-1 その理由をお答えください。(○はいくつでも)

n=1,191

23.6 自分は役に立てることがない	
44.8 自分が何をすればよいかわからない	
5.7 手間をかけたくない	
4.8 自分で解決すべきだと思う	
14.0 人に声をかけづらい	
27.7 どのように接したらよいかわからない	
46.2 不安や悩みの内容によると思う	
7.8 負担を感じる	
7.5 面倒である	
2.4 誰かがやってくれると思う	
2.3 興味・関心がない	
20.9 そのような余裕がない	
4.4 その他	0.8 無回答

【再び、全員の方へ】

問25 あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。

(○はひとつだけ)

20.3 決してない	34.6 時々ある	1.4 無回答
36.5 ほとんどない	7.2 常にある	

問26 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。

(○はひとつだけ)

22.0 決してない	27.1 時々ある	1.4 無回答
45.8 ほとんどない	3.7 常にある	

問27 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。

(○はひとつだけ)

24.6 決してない	25.5 時々ある	1.4 無回答
45.0 ほとんどない	3.5 常にある	

問28 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 18.9 決してない | 14.4 時々ある |
| 39.5 ほとんどない | 3.3 しばしばある・常にある |
| 21.6 たまにある | 2.3 無回答 |

問29 その状況(問28で回答した状況)はどの程度前から続いていますか。

(○はひとつだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 5.1 6ヶ月未満 | 7.4 3年以上5年未満 |
| 3.2 6ヶ月以上1年未満 | 42.5 5年以上 |
| 5.3 1年以上2年未満 | 14.9 その他 |
| 3.5 2年以上3年未満 | 18.1 無回答 |

問30 あなたがこれまでに経験した出来事をお答えください。(○はいくつでも)

- 42.0 一人暮らし
47.9 転居
55.3 転校・転職・離職・退職(失業を除く)
24.3 失業・休職・退学・休学(中退・不登校を含む)
46.4 妊娠・出産・子育て
33.0 介護・介助
34.1 子どもの独り立ち
49.3 家族の病気・障がい
16.9 家族との離別
63.1 家族との死別
34.3 家族以外の親しい知人等との死別
36.7 ペットとの死別
7.3 家族間の重大なトラブル(家庭内別居・DV・虐待を含む)
25.7 心身の重大なトラブル(病気・怪我等)
10.7 仕事上(職場)の重大なトラブル
13.9 人間関係による重大なトラブル(いじめ・ハラスメント等を含む)
9.7 金銭による重大なトラブル
9.6 生活困窮・貧困
5.0 自然災害の被災・犯罪の被害等
3.3 その他の出来事(その内容_____)

3.6 いずれもない

→ 次ページの問 31 へ

2.2 無回答

→ 次ページの問 30-1 へ

【問30で「1」～「20」のいずれかに○を付けた(経験した出来事がある)方へ】

問30-1 現在の孤独感(問28で回答した状況)に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。(○はいくつでも)

n=2, 224

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 11.2 一人暮らし | |
| 3.1 転居 | |
| 9.5 転校・転職・離職・退職(失業を除く) | |
| 5.4 失業・休職・退学・休学(中退・不登校を含む) | |
| 6.0 妊娠・出産・子育て | |
| 5.3 介護・介助 | |
| 6.1 子どもの独り立ち | |
| 10.0 家族の病気・障がい | |
| 3.2 家族との離別 | |
| 18.7 家族との死別 | |
| 5.5 家族以外の親しい知人等との死別 | |
| 5.5 ペットとの死別 | |
| 2.7 家族間の重大なトラブル(家庭内別居・DV・虐待を含む) | |
| 8.9 心身の重大なトラブル(病気・怪我等) | |
| 3.5 仕事上(職場)の重大なトラブル | |
| 6.4 人間関係による重大なトラブル(いじめ・ハラスメント等を含む) | |
| 3.4 金銭による重大なトラブル | |
| 4.9 生活困窮・貧困 | |
| 1.8 自然災害の被災・犯罪の被害等 | |
| 2.7 その他の出来事 | |
| 27.4 特に影響を与えたと思われる出来事はない | 11.9 無回答 |

【再び、全員の方へ】

問31 あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|-----------|--------------|----------|
| 13.2 よい | 50.8 ふつう | 3.7 よくない |
| 16.7 まあよい | 13.7 あまりよくない | 1.9 無回答 |

問32 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 11.5 満足している | 12.5 やや不満である |
| 45.9 まあ満足している | 5.9 不満である |
| 22.2 どちらともいえない | 2.0 無回答 |

問33 あなたのスマートフォンの使用時間(画面を見る時間)は、一日平均でどのくらいですか。(〇はひとつだけ)

※スマートフォンには、シニア向けスマートフォンを含みます。

- | | |
|-----------------|---------------------------------------|
| 33.1 1時間未満 | 3.5 5時間以上6時間未満 |
| 22.8 1時間以上2時間未満 | 0.9 6時間以上7時間未満 |
| 14.5 2時間以上3時間未満 | 1.0 7時間以上8時間未満 |
| 8.9 3時間以上4時間未満 | 1.4 8時間以上 |
| 3.7 4時間以上5時間未満 | 6.8 スマートフォンを使用していない
・持っていない → 問34へ |
| | 3.3 無回答 |

→【問33で「1」～「9」(スマートフォンを使用している)と回答した方へ】

問33-1 あなたは、生活するうえでどれくらいスマートフォンを必要としていますか。
(〇はひとつだけ) n=2,122

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 48.6 絶対に必要 | 3.3 どちらかといえば必要ではない |
| 40.7 どちらかといえば必要 | 0.5 全く必要ではない |
| 6.6 どちらともいえない | 0.2 無回答 |

【再び、全員の方へ】

問34 新型コロナウイルス感染拡大が始まった2020年3月頃より前と比べて、人とのコミュニケーションにどのような変化がありましたか。①及び②について、それぞれお答えください。

(①及び②について、それぞれ〇はひとつだけ)

	増えた	変わらない	減った	無回答
① 人と直接会ってコミュニケーションをとること	11.4	54.1	32.2	2.4
② 人と直接会わずにコミュニケーションをとること (例：手紙・電話・SNS・インターネットなど)	21.4	64.0	9.3	5.4

問35 新型コロナウイルス感染拡大が始まった2020年3月頃より前と比べて、日常生活にどのような変化がありましたか。①～⑥について、それぞれお答えください。

(①～⑥について、それぞれ〇はひとつだけ)

	良くなった	まあ良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答
① 生活全体	5.1	10.1	64.8	13.4	4.7	2.0
② 家族との関係	5.1	7.0	81.7	2.2	1.1	2.9
③ 家族以外の親しい人との関係	3.6	7.2	72.0	13.3	1.9	1.9
④ 地域・社会とのつながり	2.5	6.2	65.4	20.5	3.0	2.5
⑤ 学習環境・職場環境 (学び方・働き方を含む)	3.5	9.4	62.2	12.7	2.8	9.2
⑥ 心身の健康状態	2.9	7.1	70.4	13.9	3.9	1.9

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

